

目次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	重村 博美	1
現代経済の課題【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	安高 優司	5
暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	重村 博美	8
現代経済の課題【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	安高 優司	12
暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	重村 博美	15
心理と行動【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	中道 希容	19
心理と行動【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	風井 浩志	23
心理と行動【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	小原 宏基	27
心理と行動【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	風井 浩志	31
心理と行動【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	塩崎 麻里子	35
基礎数学【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	梶原 康史	39
基礎数学【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	梶原 康史	42
国際化と異文化理解【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	高橋 梓	45
日本語の技法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	森久 国雄	49
日本語の技法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	森久 国雄	52
日本語の技法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	藤井 和子	55
日本語の技法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	山王丸 有紀	58
日本語の技法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	藤井 和子	61
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	溝渕 昭二	64
国際化と異文化理解【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	阿部 慎太郎	69
国際化と異文化理解【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	阿部 慎太郎	73
国際化と異文化理解【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	高橋 梓	77
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	福井 太郎	81
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	谷口 智彦	86
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	森本 健志	91
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	宮原 克昇	96

目次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	大内 秀一	101
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	鈴木 拓也	106
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	保本 正芳	111
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	金澤 雄介	116
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	黒沢 宏和	121
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	鶴田 格	126
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	井田 泰人	131
暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	重村 博美	136
暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	重村 博美	140
暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	重村 博美	144
暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	重村 博美	148
心理と行動【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	小原 宏基	152
暮らしのなかの起業入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	文能 照之	156
心理と行動【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	中道 希容	160
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	谷口 智彦	164
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	(通信)メディア科目	井田 泰人	169
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	(通信)メディア科目	井田 泰人	174
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	(通信)メディア科目	福田 健太郎	179
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	(通信)メディア科目	福田 健太郎	180
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	森本 健志	181
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	宮原 克昇	186
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	鶴田 格	191
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	井田 泰人	196
暮らしのなかの起業入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	芝先 恵介	201
住みよい社会と福祉【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	馬淵 敦士	205
暮らしのなかの起業入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	文能 照之	209

目次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
住みよい社会と福祉【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	広瀬 美千代	213
住みよい社会と福祉【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	馬淵 敦士	217
暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	西塚 直之	221
暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	西塚 直之	225
心理と行動【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	佐藤 望	229
国際化と異文化理解【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	西村 英希	233
国際化と異文化理解【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	西村 英希	237
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	保本 正芳	241
暮らしのなかの起業入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	玉井 由樹	246
暮らしのなかの起業入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	玉井 由樹	250
暮らしのなかの起業入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	芝先 恵介	254

科目名 :	暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Constitution in Everyday Life				
担当者 :	重村 博美				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

「憲法」と聞いて、みなさんはどのような印象をおもちですか。私たちは普段、憲法の内容を意識して生活することは、ほとんどないかと思えます。しかし、その実、憲法は、国の最高法規として、一人ひとりのもつ大事な権利や自由を定め、そしてそれらを守る仕組みを定めている、私たちにはなくてはならない大切な法律です。

そこで本授業では、憲法の基本的な枠組みや考え方を理解していただけるよう、具体的事例（裁判例を含む）の検討を行います。とはいえ、本授業は、暗記中心の学習ではありません。現実に生じている様々な事象の検討を通じて、それら問題を法的にどのように解決すべきか、みなさんには、その法的解決に向けた考え方を習得していただくこととなります。

なお、メディア受講に際しては、受講前の教科書熟読が必須となります。そして受講時は、各自、必要に応じてノートをとってください。と同時に、必要に応じて、条文を参照してください。条文の参照方法は、第1回の授業で説明をしています。

ちなみに、みなさん方の受講に際しては、大学からの受講案内でも示されているように、予め一定の期間を設定して、受講確認がなされる予定です。レポート作成・提出においても、メディア受講は前提（必須）条件となります（単位取得に際しては、10回以上：10回を含む、受講をしていることが必要です。）。加えて、話者の話の内容が判別可能な速度で視聴してください。詳細は、各担当者の案内に従ってください。各自、受講計画を立て、自覚的に、受講いただくことを、切に希望しております。

* この授業はコンテンツ作成者重村が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

受講生は、この授業を受講することにより、①日本国憲法の基本的人権ならびに統治機構の概要を説明し、②憲法問題に対して自身の見解を示すことができるようになります。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー（問いながら学ぶ「学問」習慣を身に付け、専門領域における知識・技能を習得し、それらに裏打ちされた探究心と社会貢献への使命感に目覚めていること）の達成に寄与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題（全3回） 60%

学期末試験（レポート課題） 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784641228658 『目で見える憲法〔第6版〕』（初宿 正典, 有斐閣 : 2024)

■ 参考文献

[ISBN]9784842010885 『判例で学ぶ日本国憲法[第三版]』（西村裕三編, 有信堂高文社 : 2024)

[ISBN]9784865281132 『立憲主義について 成立過程と現代(放送大学叢書)』（佐藤 幸治, 左右社 : 2015)

[ISBN]9784000616072 『憲法 第八版』(芦部 信喜, 岩波書店: 2023)
[ISBN]9784641227613 『憲法学読本 第3版』(安西 文雄, 有斐閣: 2018)
[ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)
[ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

■ 関連科目

「現代社会と法」など

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

18号館南棟 shigemura@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日 2 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 概要 憲法とはなにか(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

法律の学習を始めるために必要となる法学・憲法の基礎的事項を学ぶ

セクション1 法とは何か セクション概要 法とは何かについて学ぶ

セクション2 憲法とは何か セクション概要 憲法とは何かについて学ぶ

セクション3 日本国憲法概説 セクション概要 憲法制定過程と基本原則を学ぶ

第2回 立法権と行政権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

三権分立のうち、立法権と行政権を学ぶ

セクション1 三権分立とは? セクション概要 三権分立の概説を学ぶ

セクション2 日本の統治機構・立法権 セクション概要 国会の組織と役割を学ぶ

セクション3 日本の統治機構・行政権 セクション概要 内閣の組織と役割を学ぶ

第3回 司法権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 三権分立のうち、司法権について学ぶ

セクション1 司法権とは? セクション概要 司法権の範囲と限界について学ぶ

セクション2 裁判所組織について セクション概要 裁判所組織と審級について学ぶ

セクション3 裁判官 セクション概要 裁判官の身分保障について学ぶ

第4回 司法審査権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 司法審査権について学ぶ

セクション1 司法審査権の目的と方法 セクション概要 司法審査権の目的と方法について学ぶ

セクション2 違憲審査基準 セクション概要 違憲審査基準について学ぶ

セクション3 司法積極主義・消極主義 セクション概要 司法積極主義・消極主義について学ぶ

第5回 基本的人権総論(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 基本的人権の総論部分を学ぶ

セクション1 人権の歴史 セクション概要 人権が確立していった過程を学ぶ

セクション2 人権の分類 セクション概要 日本国憲法の人権規定を概括的に学ぶ

セクション3 人権の限界 セクション概要 基本的人権の限界について学ぶ

第6回 幸福追求権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 幸福追求権を軸に主張される権利や自由について学ぶ

セクション1 幸福追求権とは？ セクション概要 幸福追求権の概説を学ぶ

セクション2 プライバシーの権利 セクション概要 プライバシーの権利について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 プライバシーの権利の判例から学ぶ

第7回 法の下での平等（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が意味する平等とは何かを学ぶ

セクション1 憲法の平等保障規定 セクション概要 日本国憲法が規定する平等規定について学ぶ

セクション2 平等とは？ セクション概要 憲法が示す「平等」の意味について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 平等権に関する基本事例から学ぶ

第8回 信教の自由・政教分離（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

概要 信教の自由が保障する範囲と政教分離について学ぶ

セクション1 信教の自由とは？ セクション概要 信教の自由が規定された背景を学ぶ

セクション2 政教分離 セクション概要 政教分離原則について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 政教分離の基本事例から学ぶ

第9回 表現の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 表現の自由がなぜ「優越的地位」にあるといわれるのか学ぶ

セクション1 表現の自由とは？ セクション概要 表現の自由の優越的地位の原則について学ぶ

セクション2 マス・メディアの取材・報道の自由 セクション概要 マス・メディアの取材・報道の自由について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 取材・報道の自由の基本事例から学ぶ

第10回 学問の自由・教育を受ける権利（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 大学における「学問」とはどういうものか学ぶ

セクション1 学問の自由とは？ セクション概要 学問の自由の保障の範囲と限界を学ぶ

セクション2 大学の自治 セクション概要 大学の自治について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 学問の自由の基本判例から学ぶ

第11回 経済活動の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 私有財産制度について憲法から学ぶ

セクション1 経済活動の自由とは？ セクション概要 経済活動の自由について内容を学ぶ

セクション2 財産権の保障 セクション概要 財産権の保障について学ぶ
セクション3 判例をみる セクション概要 財産権の保障の基本事例から学ぶ

第12回 人身の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 刑事疑義者・被告人の権利について学ぶ

セクション1 罪刑法定主義とは？ セクション概要 罪刑法定主義について学ぶ

セクション2 人身の自由 セクション概要 人身の自由の内容について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 人身の自由の基本事例から学ぶ

第13回 生存権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」とは何かを学ぶ

セクション1 生存権とは？ セクション概要 生存権の法的性格について学ぶ

セクション2 日本の社会保障制度 セクション概要 社会保障制度の種類と内容を概括的に学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 生存権の基本事例から学ぶ

第14回 労働基本権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 労働三権について学ぶ。ここでは特に、公務員の労働基本権について学ぶ

セクション1 勤労の権利とは？ セクション概要 労働三権について学ぶ

セクション2 公務員の労働基本権 セクション概要 公務員の労働基本権について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 公務員の労働基本権の基本事例から学ぶ

第15回 参政権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 選挙の基本原則について学ぶ

セクション1 参政権とは？ セクション概要 参政権の概要について学ぶ

セクション2 選挙制度の基本原則 セクション概要 選挙の5つの基本原則を学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 基本原則に関する基本事例から学ぶ

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	現代経済の課題【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Problems of Modern Economics				
担当者 :	安高 優司				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

「授業形態：オンデマンド」

初めて経済学を学ぶ人のために、経済学をわかりやすく解説します。また、日本や世界の経済がどのような課題を抱えているかを考えます。

この授業は、コンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

本授業の制作担当：安高優司・山内康弘（両者とも経済学部）

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

「学習・教育目標」

- ・経済の仕組みを理解すること
- ・現代の日本経済が抱えるさまざまな問題を把握すること

「到達目標」

- ・新聞やニュースに出る経済関連の話題が理解でき、自分の意見が述べられること。

■ ディプロマポリシーとの関連

この授業は経済学部の定めるディプロマポリシーの達成に関与しています。

この科目の修得は、経済学科の定めるディプロマポリシー 2、4、国際経済学科の定めるディプロマポリシー 4、総合経済政策学科の定めるディプロマポリシー 3、4、の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

GoogleClassroomなどのコミュニケーションツールを用いて解説や結果を通知します。

■ 教科書

[ISBN]9784087474077 『痛快! 経済学 (集英社文庫)』 (中谷 巖, 集英社 : 2002)

■ 参考文献

[ISBN]9784532353278 『佐和教授 はじめての経済講義』 (佐和 隆光, 日本経済新聞出版社 : 2008)

[ISBN]9784532110147 『はじめての経済学〈上〉 (日経文庫)』 (元重, 伊藤, 日本経済新聞出版 : 2004)

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

B館2階(2C) ataka@eco.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

水曜3限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

各回とも以下のとおり。

予習内容：予習：テーマに関する新聞記事やネット記事などを読んでおくこと

予習時間：30分

復習内容：復習：授業で出てきた概念や用語を教科書等の文献で再確認しておくこと

復習時間：60分

第1回 経済学とは何か(担当：安高優司)(授業形式：講義および演習)

概要 経済学とはどのような学問であるのかを概説する。

セクション1 経済学のめざすもの セクション概要 経済学という言葉の意味や目的を知る。

セクション2 一物一価の法則 セクション概要 一物一価という考え方を知る。

セクション3 代替品 セクション概要 代替品の重要性を考える。

第2回 需要と供給を学ぶ(担当：安高優司)(授業形式：講義および演習)

概要 経済学の基本である市場価格がどのようにして決まるかを理解する。

セクション1 市場とは何か セクション概要 市場の意味と機能を概説する。

セクション2 市場価格の決め方 セクション概要 需要曲線と供給曲線の意味を理解する。

セクション3 需要の価格弾力性 セクション概要 価格弾力性の意味と市場への影響を知る。

第3回 経済学の誕生(担当：安高優司)(授業形式：講義および演習)

概要 アダム・スミスから始まった経済学の成り立ちを学ぶ。

セクション1 古典派経済学 セクション概要 古典派経済学とその基本的考え方を知る。

セクション2 比較優位の原理 セクション概要 比較優位の考え方を学ぶ。

セクション3 社会主義経済 セクション概要 資本主義と社会主義の違いを理解する。

第4回 新古典派経済学への進化(担当：安高優司)(授業形式：講義および演習)

概要 古典派経済学から新古典派経済学へと科学として進化した経済学の発展を理解する。

セクション1 科学とは何か セクション概要 科学に進化するという意味を理解する。

セクション2 新古典派経済学と限界革命 セクション概要 新古典派の「限界」という考え方を理解する。

セクション3 新古典派の最大化問題 セクション概要 新古典派経済学の基本的な考え方を理解する。

第5回 ケインズの登場(担当：安高優司)(授業形式：講義および演習)

概要 市場を重視する新古典派経済学と、それを修正するケインズ経済学が誕生した背景を学ぶ。

セクション1 新古典派とケインズ セクション概要 新古典派に対するケインズの考え方を知る。

セクション2 マクロ経済学の概念 セクション概要 GDPの概念と計算方法を理解する。

セクション3 豊かさや幸せの関係 セクション概要 経済的豊かさの意味を考える。

第6回 市場は万能ではない(担当：安高優司)(授業形式：講義および演習)

概要 ケインズ経済学(マクロ経済学)の基本的な考え方を理解する。

セクション1 不況はなぜおこる セクション概要 実物経済における不況のメカニズムを理解する。

セクション2 財政政策による景気対策 セクション概要 財政政策の仕組みを学ぶ。

セクション3 金融政策と中央銀行 セクション概要 金融政策の仕組みを学ぶ。

第7回 政府にも限界がある(担当：安高優司)(授業形式：講義および演習)

概要 ケインズ経済学の限界と市場主義への揺り戻しの要因を把握する。

セクション1 税金の徴収 セクション概要 税金の種類と徴収方法を知る。

セクション2 国税と地方税 セクション概要 国税と地方税の違いを理解する。

セクション3 財政赤字と財政再建 セクション概要 財政赤字の現状と解消の可能性を考える。

第8回 効率性と改革(担当：安高優司)(授業形式：講義および演習)

概要 政府の関与が肥大化した経済に対して、効率化が求められるようになった状況を理解する。

セクション1 効率性とは何か セクション概要 経済学における「効率」の意味を考える。

セクション2 官から民へ セクション概要 国営企業民営化の経緯と目的を考える。

セクション3 構造改革とは何か セクション概要 構造改革は何を目指したのかを考える。

セクション4 パレート効率性と改革 セクション概要 経済学的な効率と現実の改革について考える。

第9回 雇用形態の多様化（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 低成長時代に入り、雇用のあり方や働き方が変化してきた状況を把握する。

セクション1 日本型雇用慣行 セクション概要 日本の雇用制度の特徴を知る。

セクション2 日本型雇用慣行の変化 セクション概要 従来の雇用慣行に生じている変化を理解する。

セクション3 ニート・フリーター現象 セクション概要 非正規雇用問題や働き方改革について考える。

第10回 高齢化と社会保障（担当：山内康弘）（授業形式：講義および演習）

概要 年金・医療・介護を中心に公的な社会保障の意義について理解する。

セクション1 社会保障とは何か セクション概要 社会保障の意義について考える。

セクション2 公的年金の概念 セクション概要 長生きのリスクとしての年金の意義を把握する。

セクション3 医療・介護の経済学 セクション概要 医療・介護の特徴と保険の意義を理解する。

第11回 少子化と子育て支援（担当：山内康弘）（授業形式：講義および演習）

概要 少子高齢化が進むなかでの子育て支援を考える。

セクション1 少子化と子育て支援 セクション概要 少子化の実態と子育て支援について考える。

セクション2 貧困と低所得層支援 セクション概要 貧困の実態と支援方法について考える。

セクション3 これからの社会保障 セクション概要 今後の社会保障のあり方について考える。

第12回 日本の地域経済問題（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 現代日本の地域経済が抱える問題を理解する。

セクション1 人口減少 セクション概要 人口減少の実態と問題点を把握する。

セクション2 東京への人口・経済力の集中 セクション概要 東京一極集中の実態と問題点を把握する。

セクション3 地方消滅・地方創生 セクション概要 地方の生き残り方策について考える。

セクション4 日本の産業構造と地域格差 セクション概要 地域の産業構造の違いと地域格差を考える。

第13回 戦後日本経済を振り返る①（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 戦後復興期から高度成長期にかけての日本経済の発展を概観する。

セクション1 戦後復興期～高度成長期 セクション概要 戦後の日本経済の高度成長までを概観する。

セクション2 安定成長期 セクション概要 ニクソンショック、オイルショックなどを振り返る。

セクション3 バブル経済とその崩壊 セクション概要 バブル景気とその崩壊の過程を理解する。

第14回 戦後日本経済を振り返る②（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 安定成長期からバブル崩壊を経て低成長に至る日本経済の推移を概観する。

セクション1 バブル崩壊の影響 セクション概要 バブル後の日本経済の変化を把握する。

セクション2 平成不況と金融危機 セクション概要 金融危機による平成不況の長期化を振り返る。

セクション3 平成不況からの脱却 セクション概要 平成不況からの脱却から最近までを振り返る。

第15回 日本経済のこれから（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 これからの日本経済がめざすべき方向を考える。

セクション1 人口急増と大量生産 セクション概要 人口増加による地球環境の悪化を認識する。

セクション2 持続可能な社会をめざして セクション概要 大量消費社会の見直しの必要性を考える。

セクション3 日本に期待される役割 セクション概要 これからの日本経済の目指す方向を考える。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Constitution in Everyday Life				
担当者 :	重村 博美				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

「憲法」と聞いて、みなさんはどのような印象をおもちですか。私たちは普段、憲法の内容を意識して生活することは、ほとんどないかと思えます。しかし、その実、憲法は、国の最高法規として、一人ひとりのもつ大事な権利や自由を定め、そしてそれらを守る仕組みを定めている、私たちにはなくてはならない大切な法律です。

そこで本授業では、憲法の基本的な枠組みや考え方を理解していただけるよう、具体的事例（裁判例を含む）の検討を行います。とはいえ、本授業は、暗記中心の学習ではありません。現実に生じている様々な事象の検討を通じて、それら問題を法的にどのように解決すべきか、みなさんには、その法的解決に向けた考え方を習得していただくこととなります。

なお、メディア受講に際しては、受講前の教科書熟読が必須となります。そして受講時は、各自、必要に応じてノートをとってください。と同時に、必要に応じて、条文を参照してください。条文の参照方法は、第1回の授業で説明をしています。

ちなみに、みなさん方の受講に際しては、大学からの受講案内でも示されているように、予め一定の期間を設定して、受講確認がなされる予定です。レポート作成・提出においても、メディア受講は前提（必須）条件となります（単位取得に際しては、10回以上：10回を含む、受講をしていることが必要です。）。加えて、話者の話の内容が判別可能な速度で視聴してください。詳細は、各担当者の案内に従ってください。各自、受講計画を立て、自覚的に、受講いただくことを、切に希望しております。

* この授業はコンテンツ作成者重村が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

受講生は、この授業を受講することにより、①日本国憲法の基本的人権ならびに統治機構の概要を説明し、②憲法問題に対して自身の見解を示すことができるようになります。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー（問いながら学ぶ「学問」習慣を身に付け、専門領域における知識・技能を習得し、それらに裏打ちされた探究心と社会貢献への使命感に目覚めていること）の達成に寄与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題（全3回） 60%

学期末試験（レポート課題） 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784641228658 『目で見える憲法〔第6版〕』（初宿 正典, 有斐閣 : 2024)

■ 参考文献

[ISBN]9784842010885 『判例で学ぶ日本国憲法[第三版]』（西村裕三編, 有信堂高文社 : 2024)

[ISBN]9784865281132 『立憲主義について 成立過程と現代(放送大学叢書)』（佐藤 幸治, 左右社 : 2015)

[ISBN]9784000616072 『憲法 第八版』(芦部 信喜, 岩波書店: 2023)
[ISBN]9784641227613 『憲法学読本 第3版』(安西 文雄, 有斐閣: 2018)
[ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)
[ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

■ 関連科目

「現代社会と法」など

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

18号館南棟 shigemura@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日 2 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 概要 憲法とはなにか(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

法律の学習を始めるために必要となる法学・憲法の基礎的事項を学ぶ

セクション1 法とは何か セクション概要 法とは何かについて学ぶ

セクション2 憲法とは何か セクション概要 憲法とは何かについて学ぶ

セクション3 日本国憲法概説 セクション概要 憲法制定過程と基本原則を学ぶ

第2回 立法権と行政権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

三権分立のうち、立法権と行政権を学ぶ

セクション1 三権分立とは? セクション概要 三権分立の概説を学ぶ

セクション2 日本の統治機構・立法権 セクション概要 国会の組織と役割を学ぶ

セクション3 日本の統治機構・行政権 セクション概要 内閣の組織と役割を学ぶ

第3回 司法権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 三権分立のうち、司法権について学ぶ

セクション1 司法権とは? セクション概要 司法権の範囲と限界について学ぶ

セクション2 裁判所組織について セクション概要 裁判所組織と審級について学ぶ

セクション3 裁判官 セクション概要 裁判官の身分保障について学ぶ

第4回 司法審査権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 司法審査権について学ぶ

セクション1 司法審査権の目的と方法 セクション概要 司法審査権の目的と方法について学ぶ

セクション2 違憲審査基準 セクション概要 違憲審査基準について学ぶ

セクション3 司法積極主義・消極主義 セクション概要 司法積極主義・消極主義について学ぶ

第5回 基本的人権総論(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 基本的人権の総論部分を学ぶ

セクション1 人権の歴史 セクション概要 人権が確立していった過程を学ぶ

セクション2 人権の分類 セクション概要 日本国憲法の人権規定を概括的に学ぶ

セクション3 人権の限界 セクション概要 基本的人権の限界について学ぶ

第6回 幸福追求権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 幸福追求権を軸に主張される権利や自由について学ぶ

セクション1 幸福追求権とは？ セクション概要 幸福追求権の概説を学ぶ

セクション2 プライバシーの権利 セクション概要 プライバシーの権利について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 プライバシーの権利の判例から学ぶ

第7回 法の下での平等（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が意味する平等とは何かを学ぶ

セクション1 憲法の平等保障規定 セクション概要 日本国憲法が規定する平等規定について学ぶ

セクション2 平等とは？ セクション概要 憲法が示す「平等」の意味について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 平等権に関する基本事例から学ぶ

第8回 信教の自由・政教分離（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

概要 信教の自由が保障する範囲と政教分離について学ぶ

セクション1 信教の自由とは？ セクション概要 信教の自由が規定された背景を学ぶ

セクション2 政教分離 セクション概要 政教分離原則について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 政教分離の基本事例から学ぶ

第9回 表現の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 表現の自由がなぜ「優越的地位」にあるといわれるのか学ぶ

セクション1 表現の自由とは？ セクション概要 表現の自由の優越的地位の原則について学ぶ

セクション2 マス・メディアの取材・報道の自由 セクション概要 マス・メディアの取材・報道の自由について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 取材・報道の自由の基本事例から学ぶ

第10回 学問の自由・教育を受ける権利（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 大学における「学問」とはどのようなものか学ぶ

セクション1 学問の自由とは？ セクション概要 学問の自由の保障の範囲と限界を学ぶ

セクション2 大学の自治 セクション概要 大学の自治について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 学問の自由の基本判例から学ぶ

第11回 経済活動の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 私有財産制度について憲法から学ぶ

セクション1 経済活動の自由とは？ セクション概要 経済活動の自由について内容を学ぶ

セクション2 財産権の保障 セクション概要 財産権の保障について学ぶ
セクション3 判例をみる セクション概要 財産権の保障の基本事例から学ぶ

第12回 人身の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 刑事疑義者・被告人の権利について学ぶ

セクション1 罪刑法定主義とは？ セクション概要 罪刑法定主義について学ぶ

セクション2 人身の自由 セクション概要 人身の自由の内容について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 人身の自由の基本事例から学ぶ

第13回 生存権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」とは何かを学ぶ

セクション1 生存権とは？ セクション概要 生存権の法的性格について学ぶ

セクション2 日本の社会保障制度 セクション概要 社会保障制度の種類と内容を概括的に学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 生存権の基本事例から学ぶ

第14回 労働基本権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 労働三権について学ぶ。ここでは特に、公務員の労働基本権について学ぶ

セクション1 勤労の権利とは？ セクション概要 労働三権について学ぶ

セクション2 公務員の労働基本権 セクション概要 公務員の労働基本権について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 公務員の労働基本権の基本事例から学ぶ

第15回 参政権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 選挙の基本原則について学ぶ

セクション1 参政権とは？ セクション概要 参政権の概要について学ぶ

セクション2 選挙制度の基本原則 セクション概要 選挙の5つの基本原則を学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 基本原則に関する基本事例から学ぶ

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	現代経済の課題【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Problems of Modern Economics				
担当者 :	安高 優司				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

「授業形態：オンデマンド」

初めて経済学を学ぶ人のために、経済学をわかりやすく解説します。また、日本や世界の経済がどのような課題を抱えているかを考えます。

この授業は、コンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

本授業の制作担当：安高優司・山内康弘（両者とも経済学部）

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

「学習・教育目標」

- ・経済の仕組みを理解すること
- ・現代の日本経済が抱えるさまざまな問題を把握すること

「到達目標」

- ・新聞やニュースに出る経済関連の話題が理解でき、自分の意見が述べられること。

■ ディプロマポリシーとの関連

この授業は経済学部の定めるディプロマポリシーの達成に関与しています。

この科目の修得は、経済学科の定めるディプロマポリシー 2、4、国際経済学科の定めるディプロマポリシー 4、総合経済政策学科の定めるディプロマポリシー 3、4、の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

GoogleClassroomなどのコミュニケーションツールを用いて解説や結果を通知します。

■ 教科書

[ISBN]9784087474077 『痛快! 経済学 (集英社文庫)』 (中谷 巖, 集英社 : 2002)

■ 参考文献

[ISBN]9784532353278 『佐和教授 はじめての経済講義』 (佐和 隆光, 日本経済新聞出版社 : 2008)

[ISBN]9784532110147 『はじめての経済学〈上〉 (日経文庫)』 (元重, 伊藤, 日本経済新聞出版 : 2004)

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

研究室：B館2階（2C） ataka@eco.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

水曜3限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

各回とも以下のとおり。

予習内容：予習：テーマに関する新聞記事やネット記事などを読んでおくこと

予習時間：30分

復習内容：復習：授業で出てきた概念や用語を教科書等の文献で再確認しておくこと

復習時間：60分

第1回 経済学とは何か（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 経済学とはどのような学問であるのかを概説する。

セクション1 経済学のめざすもの セクション概要 経済学という言葉の意味や目的を知る。

セクション2 一物一価の法則 セクション概要 一物一価という考え方を知る。

セクション3 代替品 セクション概要 代替品の重要性を考える。

第2回 需要と供給を学ぶ（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 経済学の基本である市場価格がどのようにして決まるかを理解する。

セクション1 市場とは何か セクション概要 市場の意味と機能を概説する。

セクション2 市場価格の決め方 セクション概要 需要曲線と供給曲線の意味を理解する。

セクション3 需要の価格弾力性 セクション概要 価格弾力性の意味と市場への影響を知る。

第3回 経済学の誕生（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 アダム・スミスから始まった経済学の成り立ちを学ぶ。

セクション1 古典派経済学 セクション概要 古典派経済学とその基本的考え方を知る。

セクション2 比較優位の原理 セクション概要 比較優位の考え方を学ぶ。

セクション3 社会主義経済 セクション概要 資本主義と社会主義の違いを理解する。

第4回 新古典派経済学への進化（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 古典派経済学から新古典派経済学へと科学として進化した経済学の発展を理解する。

セクション1 科学とは何か セクション概要 科学に進化するという意味を理解する。

セクション2 新古典派経済学と限界革命 セクション概要 新古典派の「限界」という考え方を理解する。

セクション3 新古典派の最大化問題 セクション概要 新古典派経済学の基本的な考え方を理解する。

第5回 ケインズの登場（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 市場を重視する新古典派経済学と、それを修正するケインズ経済学が誕生した背景を学ぶ。

セクション1 新古典派とケインズ セクション概要 新古典派に対するケインズの考え方を知る。

セクション2 マクロ経済学の概念 セクション概要 GDPの概念と計算方法を理解する。

セクション3 豊かさや幸せの関係 セクション概要 経済的豊かさの意味を考える。

第6回 市場は万能ではない（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 ケインズ経済学（マクロ経済学）の基本的な考え方を理解する。

セクション1 不況はなぜおこる セクション概要 実物経済における不況のメカニズムを理解する。

セクション2 財政政策による景気対策 セクション概要 財政政策の仕組みを学ぶ。

セクション3 金融政策と中央銀行 セクション概要 金融政策の仕組みを学ぶ。

第7回 政府にも限界がある（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 ケインズ経済学の限界と市場主義への揺り戻しの要因を把握する。

セクション1 税金の徴収 セクション概要 税金の種類と徴収方法を知る。

セクション2 国税と地方税 セクション概要 国税と地方税の違いを理解する。

セクション3 財政赤字と財政再建 セクション概要 財政赤字の現状と解消の可能性を考える。

第8回 効率性と改革（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 政府の関与が肥大化した経済に対して、効率化が求められるようになった状況を理解する。

セクション1 効率性とは何か セクション概要 経済学における「効率」の意味を考える。

セクション2 官から民へ セクション概要 国営企業民営化の経緯と目的を考える。

セクション3 構造改革とは何か セクション概要 構造改革は何を目指したのかを考える。

セクション4 パレート効率性と改革 セクション概要 経済学的な効率と現実の改革について考える。

第9回 雇用形態の多様化（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 低成長時代に入り、雇用のあり方や働き方が変化してきた状況を把握する。

セクション1 日本型雇用慣行 セクション概要 日本の雇用制度の特徴を知る。

セクション2 日本型雇用慣行の変化 セクション概要 従来の雇用慣行に生じている変化を理解する。

セクション3 ニート・フリーター現象 セクション概要 非正規雇用問題や働き方改革について考える。

第10回 高齢化と社会保障（担当：山内康弘）（授業形式：講義および演習）

概要 年金・医療・介護を中心に公的な社会保障の意義について理解する。

セクション1 社会保障とは何か セクション概要 社会保障の意義について考える。

セクション2 公的年金の概念 セクション概要 長生きのリスクとしての年金の意義を把握する。

セクション3 医療・介護の経済学 セクション概要 医療・介護の特徴と保険の意義を理解する。

第11回 少子化と子育て支援（担当：山内康弘）（授業形式：講義および演習）

概要 少子高齢化が進むなかでの子育て支援を考える。

セクション1 少子化と子育て支援 セクション概要 少子化の実態と子育て支援について考える。

セクション2 貧困と低所得層支援 セクション概要 貧困の実態と支援方法について考える。

セクション3 これからの社会保障 セクション概要 今後の社会保障のあり方について考える。

第12回 日本の地域経済問題（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 現代日本の地域経済が抱える問題を理解する。

セクション1 人口減少 セクション概要 人口減少の実態と問題点を把握する。

セクション2 東京への人口・経済力の集中 セクション概要 東京一極集中の実態と問題点を把握する。

セクション3 地方消滅・地方創生 セクション概要 地方の生き残り方策について考える。

セクション4 日本の産業構造と地域格差 セクション概要 地域の産業構造の違いと地域格差を考える。

第13回 戦後日本経済を振り返る①（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 戦後復興期から高度成長期にかけての日本経済の発展を概観する。

セクション1 戦後復興期～高度成長期 セクション概要 戦後の日本経済の高度成長までを概観する。

セクション2 安定成長期 セクション概要 ニクソンショック、オイルショックなどを振り返る。

セクション3 バブル経済とその崩壊 セクション概要 バブル景気とその崩壊の過程を理解する。

第14回 戦後日本経済を振り返る②（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 安定成長期からバブル崩壊を経て低成長に至る日本経済の推移を概観する。

セクション1 バブル崩壊の影響 セクション概要 バブル後の日本経済の変化を把握する。

セクション2 平成不況と金融危機 セクション概要 金融危機による平成不況の長期化を振り返る。

セクション3 平成不況からの脱却 セクション概要 平成不況からの脱却から最近までを振り返る。

第15回 日本経済のこれから（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 これからの日本経済がめざすべき方向を考える。

セクション1 人口急増と大量生産 セクション概要 人口増加による地球環境の悪化を認識する。

セクション2 持続可能な社会をめざして セクション概要 大量消費社会の見直しの必要性を考える。

セクション3 日本に期待される役割 セクション概要 これからの日本経済の目指す方向を考える。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Constitution in Everyday Life				
担当者 :	重村 博美				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

「憲法」と聞いて、みなさんはどのような印象をおもちですか。私たちは普段、憲法の実在を意識して生活することは、ほとんどないかと思えます。しかし、その実、憲法は、国の最高法規として、一人ひとりのもつ大事な権利や自由を定め、そしてそれらを守る仕組みを定めている、私たちにはなくてはならない大切な法律です。

そこで本授業では、憲法の基本的な枠組みや考え方を理解していただけるよう、具体的事例（裁判例を含む）の検討を行います。とはいえ、本授業は、暗記中心の学習ではありません。現実に生じている様々な事象の検討を通じて、それら問題を法的にどのように解決すべきか、みなさんには、その法的解決に向けた考え方を習得していただくこととなります。

なお、メディア受講に際しては、受講前の教科書熟読が必須となります。そして受講時は、各自、必要に応じてノートをとってください。と同時に、必要に応じて、条文を参照してください。条文の参照方法は、第1回の授業で説明をしています。

ちなみに、みなさん方の受講に際しては、大学からの受講案内でも示されているように、予め一定の期間を設定して、受講確認がなされる予定です。レポート作成・提出においても、メディア受講は前提（必須）条件となります（単位取得に際しては、10回以上：10回を含む、受講をしていることが必要です。）。加えて、話者の話の内容が判別可能な速度で視聴してください。詳細は、各担当者の案内に従ってください。各自、受講計画を立て、自覚的に、受講いただくことを、切に希望しております。

* この授業はコンテンツ作成者重村が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

受講生は、この授業を受講することにより、①日本国憲法の基本的人権ならびに統治機構の概要を説明し、②憲法問題に対して自身の見解を示すことができるようになります。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー（問いながら学ぶ「学問」習慣を身に付け、専門領域における知識・技能を習得し、それらに裏打ちされた探究心と社会貢献への使命感に目覚めていること）の達成に寄与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題（全3回） 60%

学期末試験（レポート課題） 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784641228658 『目で見える憲法〔第6版〕』（初宿 正典, 有斐閣 : 2024)

■ 参考文献

[ISBN]9784842010885 『判例で学ぶ日本国憲法[第三版]』（西村裕三編, 有信堂高文社 : 2024)

[ISBN]9784865281132 『立憲主義について 成立過程と現代(放送大学叢書)』（佐藤 幸治, 左右社 : 2015)

- [ISBN]9784000616072 『憲法 第八版』(芦部 信喜, 岩波書店: 2023)
[ISBN]9784641227613 『憲法学読本 第3版』(安西 文雄, 有斐閣: 2018)
[ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)
[ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

■ 関連科目

「現代社会と法」など

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

18号館南棟 shigemura@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日 2 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 概要 憲法とはなにか(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

法律の学習を始めるために必要となる法学・憲法の基礎的事項を学ぶ

セクション1 法とは何か セクション概要 法とは何かについて学ぶ

セクション2 憲法とは何か セクション概要 憲法とは何かについて学ぶ

セクション3 日本国憲法概説 セクション概要 憲法制定過程と基本原則を学ぶ

第2回 立法権と行政権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

三権分立のうち、立法権と行政権を学ぶ

セクション1 三権分立とは? セクション概要 三権分立の概説を学ぶ

セクション2 日本の統治機構・立法権 セクション概要 国会の組織と役割を学ぶ

セクション3 日本の統治機構・行政権 セクション概要 内閣の組織と役割を学ぶ

第3回 司法権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 三権分立のうち、司法権について学ぶ

セクション1 司法権とは? セクション概要 司法権の範囲と限界について学ぶ

セクション2 裁判所組織について セクション概要 裁判所組織と審級について学ぶ

セクション3 裁判官 セクション概要 裁判官の身分保障について学ぶ

第4回 司法審査権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 司法審査権について学ぶ

セクション1 司法審査権の目的と方法 セクション概要 司法審査権の目的と方法について学ぶ

セクション2 違憲審査基準 セクション概要 違憲審査基準について学ぶ

セクション3 司法積極主義・消極主義 セクション概要 司法積極主義・消極主義について学ぶ

第5回 基本的人権総論(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 基本的人権の総論部分を学ぶ

セクション1 人権の歴史 セクション概要 人権が確立していった過程を学ぶ

セクション2 人権の分類 セクション概要 日本国憲法の人権規定を概括的に学ぶ

セクション3 人権の限界 セクション概要 基本的人権の限界について学ぶ

第6回 幸福追求権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 幸福追求権を軸に主張される権利や自由について学ぶ

セクション1 幸福追求権とは？ セクション概要 幸福追求権の概説を学ぶ

セクション2 プライバシーの権利 セクション概要 プライバシーの権利について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 プライバシーの権利の判例から学ぶ

第7回 法の下での平等（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が意味する平等とは何かを学ぶ

セクション1 憲法の平等保障規定 セクション概要 日本国憲法が規定する平等規定について学ぶ

セクション2 平等とは？ セクション概要 憲法が示す「平等」の意味について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 平等権に関する基本事例から学ぶ

第8回 信教の自由・政教分離（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

概要 信教の自由が保障する範囲と政教分離について学ぶ

セクション1 信教の自由とは？ セクション概要 信教の自由が規定された背景を学ぶ

セクション2 政教分離 セクション概要 政教分離原則について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 政教分離の基本事例から学ぶ

第9回 表現の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 表現の自由がなぜ「優越的地位」にあるといわれるのか学ぶ

セクション1 表現の自由とは？ セクション概要 表現の自由の優越的地位の原則について学ぶ

セクション2 マス・メディアの取材・報道の自由 セクション概要 マス・メディアの取材・報道の自由について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 取材・報道の自由の基本事例から学ぶ

第10回 学問の自由・教育を受ける権利（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 大学における「学問」とはどういうものか学ぶ

セクション1 学問の自由とは？ セクション概要 学問の自由の保障の範囲と限界を学ぶ

セクション2 大学の自治 セクション概要 大学の自治について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 学問の自由の基本判例から学ぶ

第11回 経済活動の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 私有財産制度について憲法から学ぶ

セクション1 経済活動の自由とは？ セクション概要 経済活動の自由について内容を学ぶ

セクション2 財産権の保障 セクション概要 財産権の保障について学ぶ
セクション3 判例をみる セクション概要 財産権の保障の基本事例から学ぶ

第12回 人身の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 刑事疑義者・被告人の権利について学ぶ

セクション1 罪刑法定主義とは？ セクション概要 罪刑法定主義について学ぶ

セクション2 人身の自由 セクション概要 人身の自由の内容について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 人身の自由の基本事例から学ぶ

第13回 生存権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」とは何かを学ぶ

セクション1 生存権とは？ セクション概要 生存権の法的性格について学ぶ

セクション2 日本の社会保障制度 セクション概要 社会保障制度の種類と内容を概括的に学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 生存権の基本事例から学ぶ

第14回 労働基本権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 労働三権について学ぶ。ここでは特に、公務員の労働基本権について学ぶ

セクション1 勤労の権利とは？ セクション概要 労働三権について学ぶ

セクション2 公務員の労働基本権 セクション概要 公務員の労働基本権について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 公務員の労働基本権の基本事例から学ぶ

第15回 参政権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 選挙の基本原則について学ぶ

セクション1 参政権とは？ セクション概要 参政権の概要について学ぶ

セクション2 選挙制度の基本原則 セクション概要 選挙の5つの基本原則を学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 基本原則に関する基本事例から学ぶ

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	心理と行動【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Psychology and Action				
担当者 :	中道 希容				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本講義は、15回の授業のうち、心理系専攻の専任教員12名が1回ないしは2回の講義を担当して作成した動画を教材とします。それぞれの専門領域から、心理学の面白さを伝えます。

各回は、3つ程度のセクションに分かれており、それぞれのセクションについて簡単な確認テストがあります。また、中間期に2回のレポート課題があり、すべての回を視聴した後に、最終レポートの提出が課されています。

オンデマンドですので、配信された後は最終日までの間に、いつでも観ることは可能ですが、配信から2週間を期日に出席を取ります。本授業のルールとして、欠席5回以上で単位不認定としますので、週1回のペースで1回ずつ学びを進めることを強くお勧めします。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

心理学における多様な領域での研究知見について、理解すること。

それらの知見によって、自分自身の経験や社会でのできごとを新たな視点で眺めるようになること。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

第1回レポート課題 30%

第2回レポート課題 30%

第3回レポート課題 30%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

ClassroomまたはUNIPAを通して、フィードバックをします。

■ 教科書

特に指定しない。

■ 参考文献

[ISBN]9784641221451 『はじめて出会う心理学〔第3版〕(有斐閣アルマ)』(寿一, 長谷川, 有斐閣 : 2020)

[ISBN]9784641220034 『臨床心理学入門 -- 多様なアプローチを越境する(有斐閣アルマ)』(岩壁 茂, 有斐閣 : 2013)

[ISBN]9784781912431 『学習の心理—行動のメカニズムを探る(コンパクト新心理学ライブラリ)』(正子, 実森, サイエンス社 : 2019)

[ISBN]9784762830570 『発達心理学15講』(高橋 一公, 北大路書房 : 2019)

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

KICSルールに従う。

■ 研究室・メールアドレス

nakamichi@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

上記メールアドレス宛にご連絡ください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 心理学とは (担当: 堀田 美保)

予習内容: シラバスを見ておく。

予習時間: 30分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

心と行動に関する学問である, 心理学とは何をどのように研究するのかについて, 概要を説明します。

第2回 感覚・知覚・注意 (担当: 遠藤 信貴)

予習内容: 感覚・知覚心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの心と外界をつなぐ感覚, 外界を捉える知覚の仕組みについて概説します。

第3回 記憶 (担当: 遠藤 信貴)

予習内容: 認知心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの日常的な行動を根底で支える記憶について, その種類や役割について概説します。

第4回 学習 (担当: 漆原 宏次)

予習内容: 学習心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの行動がどのように変わるのか, なぜ変わるのか。経験による行動の変化=学習について概説します。

第5回 感情 (担当: 大対 香奈子)

予習内容: 感情心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

感情が心理学でどのように研究されてきたのか, また感情の働きやそのコントロールの方法について概説します。

第6回 神経・生理 (担当: 佐藤 望)

予習内容: 神経・生理心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

こころの働きをつかさどる仕組みについて, 生物学的観点から解説します。

第7回 遺伝・進化 (担当: 上野 将敬)

予習内容: 遺伝・進化心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

人の生物学的側面に注目し, 人や人以外の動物の行動における遺伝子や進化の影響について紹介します。

第8回 対人 (担当: 堀田 美保)

予習内容：対人心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

人と人の中で起こっているやりとり（相互作用）うち、対人行動についての心理を紹介します。

第9回 集団（担当：中川 知宏）

予習内容：集団心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

一人でいる時と集団にいる時では、私たちの行動が変化します。これに関する社会心理学的研究を紹介します。

第10回 生涯発達1（担当：奥野 洋子）

予習内容：発達心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

生涯発達の概要と乳児期から児童期の発達の特徴を説明します。

第11回 生涯発達2（担当：塩崎 麻里子）

予習内容：生涯発達心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

青年期から老年期のこころの発達について紹介します。

第12回 パーソナリティ（担当：小泉 隆平）

予習内容：パーソナリティ心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

パーソナリティ・知能がどのように理解されてきたか、その理解がどのように役立っているか説明します。

第13回 健康（担当：直井 愛里）

予習内容：健康心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

健康行動に関連する要因を説明し、生活習慣と心身の健康について紹介します。

第14回 臨床（担当：本岡 寛子）

予習内容：臨床心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

こころの問題の理解と解決を助けるためのアセスメントとアプローチについて紹介します。

第15回 産業（担当：佐藤 望）

予習内容：産業心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

心理学で得られている知見を産業場面に応用する例について紹介します。

最終レポート

15回の授業から、数問を出題するので、選択して解答のこと。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	心理と行動【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Psychology and Action				
担当者 :	風井 浩志				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本講義は、15回の授業のうち、心理系専攻の専任教員12名が1回ないしは2回の講義を担当して作成した動画を教材とします。それぞれの専門領域から、心理学の面白さを伝えます。

各回は、3つ程度のセクションに分かれており、それぞれのセクションについて簡単な確認テストがあります。また、中間期に2回のレポート課題があり、すべての回を視聴した後に、最終レポートの提出が課されています。

オンデマンドですので、配信された後は最終日までの間に、いつでも観ることは可能ですが、配信から2週間を期日に出席を取ります。本授業のルールとして、欠席5回以上で単位不認定としますので、週1回のペースで1回ずつ学びを進めることを強くお勧めします。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

心理学における多様な領域での研究知見について、理解すること。

それらの知見によって、自分自身の経験や社会でのできごとを新たな視点で眺めるようになること。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

第1回レポート課題 30%

第2回レポート課題 30%

第3回レポート課題 30%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

ClassroomまたはUNIPAを通して、フィードバックをします。

■ 教科書

特に指定しない。

■ 参考文献

[ISBN]9784641221451 『はじめて出会う心理学〔第3版〕(有斐閣アルマ)』(寿一, 長谷川, 有斐閣 : 2020)

[ISBN]9784641220034 『臨床心理学入門 -- 多様なアプローチを越境する(有斐閣アルマ)』(岩壁 茂, 有斐閣 : 2013)

[ISBN]9784781912431 『学習の心理—行動のメカニズムを探る(コンパクト新心理学ライブラリ)』(正子, 実森, サイエンス社 : 2019)

[ISBN]9784762830570 『発達心理学15講』(高橋 一公, 北大路書房 : 2019)

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

KICSルールに従う。

■ 研究室・メールアドレス

1511p5@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

上記メールアドレス宛に御連絡ください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 心理学とは (担当: 堀田 美保)

予習内容: シラバスを見ておく。

予習時間: 30分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

心と行動に関する学問である, 心理学とは何をどのように研究するのかについて, 概要を説明します。

第2回 感覚・知覚・注意 (担当: 遠藤 信貴)

予習内容: 感覚・知覚心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの心と外界をつなぐ感覚, 外界を捉える知覚の仕組みについて概説します。

第3回 記憶 (担当: 遠藤 信貴)

予習内容: 認知心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの日常的な行動を根底で支える記憶について, その種類や役割について概説します。

第4回 学習 (担当: 漆原 宏次)

予習内容: 学習心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの行動がどのように変わるのか, なぜ変わるのか。経験による行動の変化=学習について概説します。

第5回 感情 (担当: 大対 香奈子)

予習内容: 感情心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

感情が心理学でどのように研究されてきたのか, また感情の働きやそのコントロールの方法について概説します。

第6回 神経・生理 (担当: 佐藤 望)

予習内容: 神経・生理心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

こころの働きをつかさどる仕組みについて, 生物学的観点から解説します。

第7回 遺伝・進化 (担当: 上野 将敬)

予習内容: 遺伝・進化心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

人の生物学的側面に注目し, 人や人以外の動物の行動における遺伝子や進化の影響について紹介します。

第8回 対人 (担当: 堀田 美保)

予習内容：対人心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

人と人の中で起こっているやりとり（相互作用）うち、対人行動についての心理を紹介します。

第9回 集団（担当：中川 知宏）

予習内容：集団心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

一人でいる時と集団にいる時では、私たちの行動が変化します。これに関する社会心理学的研究を紹介します。

第10回 生涯発達1（担当：奥野 洋子）

予習内容：発達心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

生涯発達の概要と乳児期から児童期の発達の特徴を説明します。

第11回 生涯発達2（担当：塩崎 麻里子）

予習内容：生涯発達心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

青年期から老年期のこころの発達について紹介します。

第12回 パーソナリティ（担当：小泉 隆平）

予習内容：パーソナリティ心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

パーソナリティ・知能がどのように理解されてきたか、その理解がどのように役立っているか説明します。

第13回 健康（担当：直井 愛里）

予習内容：健康心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

健康行動に関連する要因を説明し、生活習慣と心身の健康について紹介します。

第14回 臨床（担当：本岡 寛子）

予習内容：臨床心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

こころの問題の理解と解決を助けるためのアセスメントとアプローチについて紹介します。

第15回 産業（担当：佐藤 望）

予習内容：産業心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

心理学で得られている知見を産業場面に応用する例について紹介します。

最終レポート

15回の授業から、数問を出題するので、選択して解答のこと。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	心理と行動【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Psychology and Action				
担当者 :	小原 宏基				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本講義は、15回の授業のうち、心理系専攻の専任教員12名が1回ないしは2回の講義を担当して作成した動画を教材とします。それぞれの専門領域から、心理学の面白さを伝えます。

各回は、3つ程度のセクションに分かれており、それぞれのセクションについて簡単な確認テストがあります。また、中間期に2回のレポート課題があり、すべての回を視聴した後に、最終レポートの提出が課されています。

オンデマンドですので、配信された後は最終日までの間に、いつでも観ることは可能ですが、配信から2週間を期日に出席を取ります。本授業のルールとして、欠席5回以上で単位不認定としますので、週1回のペースで1回ずつ学びを進めることを強くお勧めします。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

心理学における多様な領域での研究知見について、理解すること。

それらの知見によって、自分自身の経験や社会でのできごとを新たな視点で眺めるようになること。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

第1回レポート課題 30%

第2回レポート課題 30%

第3回レポート課題 30%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

ClassroomまたはUNIPAを通して、フィードバックをします。

■ 教科書

特に指定しない。

■ 参考文献

[ISBN]9784641221451 『はじめて出会う心理学〔第3版〕(有斐閣アルマ)』(寿一, 長谷川, 有斐閣 : 2020)

[ISBN]9784641220034 『臨床心理学入門 -- 多様なアプローチを越境する(有斐閣アルマ)』(岩壁 茂, 有斐閣 : 2013)

[ISBN]9784781912431 『学習の心理—行動のメカニズムを探る(コンパクト新心理学ライブラリ)』(正子, 実森, サイエンス社 : 2019)

[ISBN]9784762830570 『発達心理学15講』(高橋 一公, 北大路書房 : 2019)

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

KICSルールに従う。

■ 研究室・メールアドレス

総合社会学部6階H研究室
shiozaki@socio.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜日5限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 心理学とは (担当:堀田 美保)

予習内容: シラバスを見ておく。

予習時間: 30分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

心と行動に関する学問である, 心理学とは何をどのように研究するのかについて, 概要を説明します。

第2回 感覚・知覚・注意 (担当:遠藤 信貴)

予習内容: 感覚・知覚心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの心と外界をつなぐ感覚, 外界を捉える知覚の仕組みについて概説します。

第3回 記憶 (担当:遠藤 信貴)

予習内容: 認知心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの日常的な行動を根底で支える記憶について, その種類や役割について概説します。

第4回 学習 (担当:漆原 宏次)

予習内容: 学習心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの行動がどのように変わるのか, なぜ変わるのか。経験による行動の変化=学習について概説します。

第5回 感情 (担当:大対 香奈子)

予習内容: 感情心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

感情が心理学でどのように研究されてきたのか, また感情の働きやそのコントロールの方法について概説します。

第6回 神経・生理 (担当:佐藤 望)

予習内容: 神経・生理心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

こころの働きをつかさどる仕組みについて, 生物学的観点から解説します。

第7回 遺伝・進化 (担当:上野 将敬)

予習内容: 遺伝・進化心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

人の生物学的側面に注目し, 人や人以外の動物の行動における遺伝子や進化の影響について紹介します。

第8回 対人 (担当:堀田 美保)

予習内容:対人心理学について調べておく.

予習時間:60分

復習内容:確認テストをして,大事な部分をまとめておく.

復習時間:60分

人と人の中で起こっているやりとり(相互作用)うち,対人行動についての心理を紹介します.

第9回 集団 (担当:中川 知宏)

予習内容:集団心理学について調べておく.

予習時間:60分

復習内容:確認テストをして,大事な部分をまとめておく.

復習時間:60分

一人である時と集団にいる時では,私たちの行動が変化します.これに関する社会心理学的研究を紹介します.

第10回 生涯発達1 (担当:奥野 洋子)

予習内容:発達心理学について調べておく.

予習時間:60分

復習内容:確認テストをして,大事な部分をまとめておく.

復習時間:60分

生涯発達の概要と乳児期から児童期の発達の特徴を説明します.

第11回 生涯発達2 (担当:塩崎 麻里子)

予習内容:生涯発達心理学について調べておく.

予習時間:60分

復習内容:確認テストをして,大事な部分をまとめておく.

復習時間:60分

青年期から老年期のこころの発達について紹介します.

第12回 パーソナリティ (担当:小泉 隆平)

予習内容:パーソナリティ心理学について調べておく.

予習時間:60分

復習内容:確認テストをして,大事な部分をまとめておく.

復習時間:60分

パーソナリティ・知能がどのように理解されてきたか,その理解がどのように役立っているか説明します.

第13回 健康 (担当:直井 愛里)

予習内容:健康心理学について調べておく.

予習時間:60分

復習内容:確認テストをして,大事な部分をまとめておく.

復習時間:60分

健康行動に関連する要因を説明し,生活習慣と心身の健康について紹介します.

第14回 臨床 (担当:本岡 寛子)

予習内容:臨床心理学について調べておく.

予習時間:60分

復習内容:確認テストをして,大事な部分をまとめておく.

復習時間:60分

こころの問題の理解と解決を助けるためのアセスメントとアプローチについて紹介します.

第15回 産業 (担当:佐藤 望)

予習内容:産業心理学について調べておく.

予習時間:60分

復習内容:確認テストをして,大事な部分をまとめておく.

復習時間:60分

心理学で得られている知見を産業場面に応用する例について紹介します.

最終レポート

15回の授業から,数問を出題するので,選択して解答のこと.

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	心理と行動【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Psychology and Action				
担当者 :	風井 浩志				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本講義は、15回の授業のうち、心理系専攻の専任教員12名が1回ないしは2回の講義を担当して作成した動画を教材とします。それぞれの専門領域から、心理学の面白さを伝えます。

各回は、3つ程度のセクションに分かれており、それぞれのセクションについて簡単な確認テストがあります。また、中間期に2回のレポート課題があり、すべての回を視聴した後に、最終レポートの提出が課されています。

オンデマンドですので、配信された後は最終日までの間に、いつでも観ることは可能ですが、配信から2週間を期日に出席を取ります。本授業のルールとして、欠席5回以上で単位不認定としますので、週1回のペースで1回ずつ学びを進めることを強くお勧めします。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

心理学における多様な領域での研究知見について、理解すること。

それらの知見によって、自分自身の経験や社会でのできごとを新たな視点で眺めるようになること。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

第1回レポート課題 30%

第2回レポート課題 30%

第3回レポート課題 30%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

ClassroomまたはUNIPAを通して、フィードバックをします。

■ 教科書

特に指定しない。

■ 参考文献

[ISBN]9784641221451 『はじめて出会う心理学〔第3版〕(有斐閣アルマ)』(寿一, 長谷川, 有斐閣 : 2020)

[ISBN]9784641220034 『臨床心理学入門 -- 多様なアプローチを越境する(有斐閣アルマ)』(岩壁 茂, 有斐閣 : 2013)

[ISBN]9784781912431 『学習の心理—行動のメカニズムを探る(コンパクト新心理学ライブラリ)』(正子, 実森, サイエンス社 : 2019)

[ISBN]9784762830570 『発達心理学15講』(高橋 一公, 北大路書房 : 2019)

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

KICSルールに従う。

■ 研究室・メールアドレス

1511p5@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

上記メールアドレス宛に御連絡ください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 心理学とは (担当:堀田 美保)

予習内容: シラバスを見ておく。

予習時間: 30分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

心と行動に関する学問である, 心理学とは何をどのように研究するのかについて, 概要を説明します。

第2回 感覚・知覚・注意 (担当:遠藤 信貴)

予習内容: 感覚・知覚心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの心と外界をつなぐ感覚, 外界を捉える知覚の仕組みについて概説します。

第3回 記憶 (担当:遠藤 信貴)

予習内容: 認知心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの日常的な行動を根底で支える記憶について, その種類や役割について概説します。

第4回 学習 (担当:漆原 宏次)

予習内容: 学習心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの行動がどのように変わるのか, なぜ変わるのか。経験による行動の変化=学習について概説します。

第5回 感情 (担当:大対 香奈子)

予習内容: 感情心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

感情が心理学でどのように研究されてきたのか, また感情の働きやそのコントロールの方法について概説します。

第6回 神経・生理 (担当:佐藤 望)

予習内容: 神経・生理心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

こころの働きをつかさどる仕組みについて, 生物学的観点から解説します。

第7回 遺伝・進化 (担当:上野 将敬)

予習内容: 遺伝・進化心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

人の生物学的側面に注目し, 人や人以外の動物の行動における遺伝子や進化の影響について紹介します。

第8回 対人 (担当:堀田 美保)

予習内容：対人心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

人と人の中で起こっているやりとり（相互作用）うち、対人行動についての心理を紹介します。

第9回 集団（担当：中川 知宏）

予習内容：集団心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

一人でいる時と集団にいる時では、私たちの行動が変化します。これに関する社会心理学的研究を紹介します。

第10回 生涯発達1（担当：奥野 洋子）

予習内容：発達心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

生涯発達の概要と乳児期から児童期の発達の特徴を説明します。

第11回 生涯発達2（担当：塩崎 麻里子）

予習内容：生涯発達心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

青年期から老年期のこころの発達について紹介します。

第12回 パーソナリティ（担当：小泉 隆平）

予習内容：パーソナリティ心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

パーソナリティ・知能がどのように理解されてきたか、その理解がどのように役立っているか説明します。

第13回 健康（担当：直井 愛里）

予習内容：健康心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

健康行動に関連する要因を説明し、生活習慣と心身の健康について紹介します。

第14回 臨床（担当：本岡 寛子）

予習内容：臨床心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

こころの問題の理解と解決を助けるためのアセスメントとアプローチについて紹介します。

第15回 産業（担当：佐藤 望）

予習内容：産業心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

心理学で得られている知見を産業場面に応用する例について紹介します。

最終レポート

15回の授業から、数問を出題するので、選択して解答のこと。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	心理と行動【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Psychology and Action				
担当者 :	塩崎 麻里子				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本講義は、15回の授業のうち、心理系専攻の専任教員12名が1回ないしは2回の講義を担当して作成した動画を教材とします。それぞれの専門領域から、心理学の面白さを伝えます。

各回は、3つ程度のセクションに分かれており、それぞれのセクションについて簡単な確認テストがあります。また、中間期に2回のレポート課題があり、すべての回を視聴した後に、最終レポートの提出が課されています。

オンデマンドですので、配信された後は最終日までの間に、いつでも観ることは可能ですが、配信から2週間を期日に出席を取ります。本授業のルールとして、欠席5回以上で単位不認定としますので、週1回のペースで1回ずつ学びを進めることを強くお勧めします。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

心理学における多様な領域での研究知見について、理解すること。

それらの知見によって、自分自身の経験や社会でのできごとを新たな視点で眺めるようになること。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

第1回レポート課題 30%

第2回レポート課題 30%

第3回レポート課題 30%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

ClassroomまたはUNIPAを通して、フィードバックをします。

■ 教科書

特に指定しない。

■ 参考文献

[ISBN]9784641221451 『はじめて出会う心理学〔第3版〕(有斐閣アルマ)』(寿一, 長谷川, 有斐閣 : 2020)

[ISBN]9784641220034 『臨床心理学入門 -- 多様なアプローチを越境する(有斐閣アルマ)』(岩壁 茂, 有斐閣 : 2013)

[ISBN]9784781912431 『学習の心理—行動のメカニズムを探る(コンパクト新心理学ライブラリ)』(正子, 実森, サイエンス社 : 2019)

[ISBN]9784762830570 『発達心理学15講』(高橋 一公, 北大路書房 : 2019)

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

KICSルールに従う。

■ 研究室・メールアドレス

総合社会学部6階H研究室
shiozaki@socio.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜日5限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 心理学とは (担当:堀田 美保)

予習内容: シラバスを見ておく。

予習時間: 30分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

心と行動に関する学問である, 心理学とは何をどのように研究するのかについて, 概要を説明します。

第2回 感覚・知覚・注意 (担当:遠藤 信貴)

予習内容: 感覚・知覚心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの心と外界をつなぐ感覚, 外界を捉える知覚の仕組みについて概説します。

第3回 記憶 (担当:遠藤 信貴)

予習内容: 認知心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの日常的な行動を根底で支える記憶について, その種類や役割について概説します。

第4回 学習 (担当:漆原 宏次)

予習内容: 学習心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの行動がどのように変わるのか, なぜ変わるのか。経験による行動の変化=学習について概説します。

第5回 感情 (担当:大対 香奈子)

予習内容: 感情心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

感情が心理学でどのように研究されてきたのか, また感情の働きやそのコントロールの方法について概説します。

第6回 神経・生理 (担当:佐藤 望)

予習内容: 神経・生理心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

こころの働きをつかさどる仕組みについて, 生物学的観点から解説します。

第7回 遺伝・進化 (担当:上野 将敬)

予習内容: 遺伝・進化心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

人の生物学的側面に注目し, 人や人以外の動物の行動における遺伝子や進化の影響について紹介します。

第8回 対人 (担当:堀田 美保)

予習内容: 対人心理学について調べておく.

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく.

復習時間: 60分

人と人の中で起こっているやりとり (相互作用) うち, 対人行動についての心理を紹介します.

第9回 集団 (担当:中川 知宏)

予習内容: 集団心理学について調べておく.

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく.

復習時間: 60分

一人である時と集団にいる時では, 私たちの行動が変化します. これに関する社会心理学的研究を紹介します.

第10回 生涯発達1 (担当:奥野 洋子)

予習内容: 発達心理学について調べておく.

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく.

復習時間: 60分

生涯発達の概要と乳児期から児童期の発達の特徴を説明します.

第11回 生涯発達2 (担当:塩崎 麻里子)

予習内容: 生涯発達心理学について調べておく.

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく.

復習時間: 60分

青年期から老年期のこころの発達について紹介します.

第12回 パーソナリティ (担当:小泉 隆平)

予習内容: パーソナリティ心理学について調べておく.

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく.

復習時間: 60分

パーソナリティ・知能がどのように理解されてきたか, その理解がどのように役立っているか説明します.

第13回 健康 (担当:直井 愛里)

予習内容: 健康心理学について調べておく.

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく.

復習時間: 60分

健康行動に関連する要因を説明し, 生活習慣と心身の健康について紹介します.

第14回 臨床 (担当:本岡 寛子)

予習内容: 臨床心理学について調べておく.

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく.

復習時間: 60分

こころの問題の理解と解決を助けるためのアセスメントとアプローチについて紹介します.

第15回 産業 (担当:佐藤 望)

予習内容: 産業心理学について調べておく.

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく.

復習時間: 60分

心理学で得られている知見を産業場面に応用する例について紹介します.

最終レポート

15回の授業から, 数問を出題するので, 選択して解答のこと.

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	基礎数学【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Fundamental Mathematics				
担当者 :	梶原 康史				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

様々な大量のデータを収集・分析し、その理論的背景を明らかにするデータ解析は、工学や経済学など様々な分野において重要な役割を果たしている。この授業では、データ解析の基礎について学び、実際に社会においてどのように役立つかを知る。また、そのために必要となる数学の知識や計算力を習得する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

関数の微分や積分を計算することができ、関数の特性や図形の面積などを計算することができる。データの平均と分散を計算できる。2変数のデータに対して相関係数等を使って関連性を見い出せる。二項分布や正規分布における確率を計算することができる。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー2の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

レポート（3回） 90%

ディスカッション 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

特に指定しない

■ 参考文献

高校等で利用した教科書、参考書等を折りに触れて参照してください。

■ 関連科目

なし

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

■ オフィスアワー

事前にメールで問い合わせして下さい。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 関数（授業形式：講義および演習）

予習内容：関数について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

関数の定義やそのグラフの意味について学ぶ。さらに、多項式や有理式で定義される関数について学ぶ。

第2回 三角関数（授業形式：講義および演習）

予習内容：三角関数について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

三角比とそれによって定義される三角関数について学ぶ。さらに、三角関数の周期性や加法定理について学ぶ。

第3回 指数・対数関数（授業形式：講義および演習）

予習内容：指数関数と対数関数について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

指数関数とその逆関数である対数関数について学ぶ。さらに、常用対数や自然対数の底について学ぶ。

第4回 関数の極限（授業形式：講義および演習）

予習内容：関数の極限について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

関数の極限について学ぶ。さらに、極限と代入の関係や、有理式で定義される関数の極限の計算例について知る。

第5回 微分係数と導関数（授業形式：講義および演習）

予習内容：微分係数や導関数について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

接線の傾きと微分係数との関係について知る。また、導関数の定義と、多項式によって定義される関数の導関数について学ぶ。

第6回 導関数の性質（授業形式：講義および演習）

予習内容：様々な関数の導関数について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

導関数の満たす性質について学び、それらを用いた計算方法を身に付ける。さらに、様々な関数の導関数について学ぶ。

第7回 導関数の応用（授業形式：講義および演習）

予習内容：増減表とグラフについて調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

関数の増減や極値について学ぶ。さらに、関数の増減表とグラフの書き方を身に付ける。

第8回 不定積分（授業形式：講義および演習）

予習内容：不定積分について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

原始関数や不定積分について学び、その具体的な計算方法を身に付ける。

第9回 定積分（授業形式：講義および演習）

予習内容：定積分について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

定積分について学び、その具体的な計算方法を身に付ける。さらに、定積分と面積の関係について知る。

第10回 1変量データの要約（授業形式：講義および演習）

予習内容：度数分布表・平均・分散について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

(1)データの尺度を区別できるようになる。さらに、度数分布表・ヒストグラムについて学ぶ。(2)代表値と散布度の意味を理解し、計算できるようになる。(3)標準化の計算が出来るようになる。標準化がどのように用いられているか理解する。

第11回 2変量データの要約（授業形式：講義および演習）

予習内容：2変数によって表されるデータについて調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

(1)2変数の関係を見出せるようになる。散布図の問題点を知る。(2)2変数の関係を数値化する方法について学ぶ。共分散の問題点について知る。(3)共分散の標準化する方法について学ぶ。相関係数の性質を知る。

第12回 確率の定義と計算（授業形式：講義および演習）

予習内容：確率の定義について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

(1)試行と事象に関する用語について学ぶ。確率の定義について知る。(2)和事象の確率の計算方法について学ぶ。余事象の確率の計算方法について学ぶ。(3)試行の独立について学ぶ。独立な試行の確率の計算方法について学ぶ。

第13回 反復試行の確率と条件付き確率（授業形式：講義および演習）

予習内容：モンティ・ホール問題について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

(1)反復試行がどのような試行であるのか、さらに、その性質について知る。反復試行の確率の求め方について学ぶ。(2)条件付き確率の定義およびその計算方法について学ぶ。事象の独立とは何かを知る。(3)ベイズの定理について学ぶ。ベイズの定理の応用について学ぶ。

第14回 確率分布（授業形式：講義および演習）

予習内容：確率分布について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

(1)確率変数と確率分布の定義について学ぶ。確率変数の期待値と分散について学ぶ。(2)二項分布の定義について学ぶ。二項分布が適用できる例について知る。(3)ポアソン分布の定義について学ぶ。ポアソン分布が適用できる例について知る。

第15回 正規分布（授業形式：講義および演習）

予習内容：正規分布について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

(1)正規分布の定義について学ぶ。正規分布の特徴について知る。(2)標準正規分布について学ぶ。正規分布における確率の計算方法を知る。(3)二項分布と正規分布の関係について知る。二項分布における確率を正規分布近似で求める。

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	基礎数学【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Fundamental Mathematics				
担当者 :	梶原 康史				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

様々な大量のデータを収集・分析し、その理論的背景を明らかにするデータ解析は、工学や経済学など様々な分野において重要な役割を果たしている。この授業では、データ解析の基礎について学び、実際に社会においてどのように役立つかを知る。また、そのために必要となる数学の知識や計算力を習得する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

関数の微分や積分を計算することができ、関数の特性や図形の面積などを計算することができる。データの平均と分散を計算できる。2変数のデータに対して相関係数等を使って関連性を見い出せる。二項分布や正規分布における確率を計算することができる。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー2の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

レポート（3回） 90%

ディスカッション 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

特に指定しない

■ 参考文献

高校等で利用した教科書、参考書等を折りに触れて参照してください。

■ 関連科目

なし

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

■ オフィスアワー

事前にメールで問い合わせして下さい。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 関数（授業形式：講義および演習）

予習内容：関数について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

関数の定義やそのグラフの意味について学ぶ。さらに、多項式や有理式で定義される関数について学ぶ。

第2回 三角関数（授業形式：講義および演習）

予習内容：三角関数について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

三角比とそれによって定義される三角関数について学ぶ。さらに、三角関数の周期性や加法定理について学ぶ。

第3回 指数・対数関数（授業形式：講義および演習）

予習内容：指数関数と対数関数について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

指数関数とその逆関数である対数関数について学ぶ。さらに、常用対数や自然対数の底について学ぶ。

第4回 関数の極限（授業形式：講義および演習）

予習内容：関数の極限について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

関数の極限について学ぶ。さらに、極限と代入の関係や、有理式で定義される関数の極限の計算例について知る。

第5回 微分係数と導関数（授業形式：講義および演習）

予習内容：微分係数や導関数について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

接線の傾きと微分係数との関係について知る。また、導関数の定義と、多項式によって定義される関数の導関数について学ぶ。

第6回 導関数の性質（授業形式：講義および演習）

予習内容：様々な関数の導関数について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

導関数の満たす性質について学び、それらを用いた計算方法を身に付ける。さらに、様々な関数の導関数について学ぶ。

第7回 導関数の応用（授業形式：講義および演習）

予習内容：増減表とグラフについて調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

関数の増減や極値について学ぶ。さらに、関数の増減表とグラフの書き方を身に付ける。

第8回 不定積分（授業形式：講義および演習）

予習内容：不定積分について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

原始関数や不定積分について学び、その具体的な計算方法を身に付ける。

第9回 定積分（授業形式：講義および演習）

予習内容：定積分について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

定積分について学び、その具体的な計算方法を身に付ける。さらに、定積分と面積の関係について知る。

第10回 1変量データの要約（授業形式：講義および演習）

予習内容：度数分布表・平均・分散について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

(1)データの尺度を区別できるようになる。さらに、度数分布表・ヒストグラムについて学ぶ。(2)代表値と散布度の意味を理解し、計算できるようになる。(3)標準化の計算が出来るようになる。標準化がどのように用いられているか理解する。

第11回 2変量データの要約（授業形式：講義および演習）

予習内容：2変数によって表されるデータについて調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

(1)2変数の関係を見出せるようになる。散布図の問題点を知る。(2)2変数の関係を数値化する方法について学ぶ。共分散の問題点について知る。(3)共分散の標準化する方法について学ぶ。相関係数の性質を知る。

第12回 確率の定義と計算（授業形式：講義および演習）

予習内容：確率の定義について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

(1)試行と事象に関する用語について学ぶ。確率の定義について知る。(2)和事象の確率の計算方法について学ぶ。余事象の確率の計算方法について学ぶ。(3)試行の独立について学ぶ。独立な試行の確率の計算方法について学ぶ。

第13回 反復試行の確率と条件付き確率（授業形式：講義および演習）

予習内容：モンティ・ホール問題について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

(1)反復試行がどのような試行であるのか、さらに、その性質について知る。反復試行の確率の求め方について学ぶ。(2)条件付き確率の定義およびその計算方法について学ぶ。事象の独立とは何かを知る。(3)ベイズの定理について学ぶ。ベイズの定理の応用について学ぶ。

第14回 確率分布（授業形式：講義および演習）

予習内容：確率分布について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

(1)確率変数と確率分布の定義について学ぶ。確率変数の期待値と分散について学ぶ。(2)二項分布の定義について学ぶ。二項分布が適用できる例について知る。(3)ポアソン分布の定義について学ぶ。ポアソン分布が適用できる例について知る。

第15回 正規分布（授業形式：講義および演習）

予習内容：正規分布について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

(1)正規分布の定義について学ぶ。正規分布の特徴について知る。(2)標準正規分布について学ぶ。正規分布における確率の計算方法を知る。(3)二項分布と正規分布の関係について知る。二項分布における確率を正規分布近似で求める。

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	国際化と異文化理解【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Internationalization and Cross Cultural Understanding				
担当者 :	高橋 梓				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（B）に主体的に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に主体的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)に主体的に関与、(C)、(J)、(K)に付随的に関与				

■ 授業概要

この講義では中国・韓国・ドイツ・フランスの文化についての学びを通じ、国際社会の中で他者とともに生きるための方法を見出すことを目的とします。21世紀を生きる我々は、グローバル化の中で多様な価値観に触れています。その一方で各国のローカルな価値観に違和感を覚えたり、異文化圏との積極的な交流に不満を覚えたりする声が目につくようになりました。私たちは「国際化」と「異文化」という大きなテーマを改めて考え直す段階に来ているのではないのでしょうか。そこで本講義では中国・韓国・ドイツ・フランスを専門とする四名の教員が、各国の文化の特徴や問題を解説します。文化を「生きるための工夫」と見なし、他国の日常生活や民族間の摩擦の事例を読み解き、日本文化との共通点や差異を議論することで、国際社会を生きる我々の課題が浮き彫りになるはずで、講義を通じて国際社会を他者とともに生きるための基礎的な能力を獲得しましょう。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

この講義を受講することで、履修者は、

- ① 自分と他者、あるいは自文化と異文化を比較し、違いや共通点を見出す能力が身につく。
- ② 各回の課題やアクティビティを通じて自分の考えをしっかりとした言葉で伝えられるようになる。
- ③ 各国文化（中国・韓国・ドイツ・フランス）について基礎的な知識を得ることができる。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー4（異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること）の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート① 25%

中間レポート② 25%

期末レポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題の提出締切後に「課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

教科書は使用しません。

■ 参考文献

[ISBN]4130322028 『国際文化論』(平野 健一郎, 東京大学出版会: 2000)

[ISBN]4795402310 『国際文化学への第一歩』(静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科, すずさわ書店: 2013)

[ISBN]4469212709 『カルチュラル・スタディーズへの招待』(本橋 哲也, 大修館書店: 2002)

■ 関連科目

すべての外国語科目、国際化と異文化理解

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

研究室: EキャンパスC館5階

メールアドレス: azusa.takahashi@jus.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日 2限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 第1回 イントロダクション～文化とは何か～(担当: 高橋梓) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 文化について自分なりのイメージを持っておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第1回は文化とは何かという点について、先行研究に基づき概念を確認するとともに、本講義の全体像について概要を説明します。

第2回 第2回 国際文化学とは何か(担当: 高橋梓) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 参考文献: 平野健一郎『国際文化論』を読む

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第2回は本講義が立脚する国際文化学について説明します。国際関係を文化で見る試みを具体的にどのように進めるべきか確認しましょう。

第3回 第3回 中国の基礎知識・言語(担当: 阿部慎太郎) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 中国の人口、地域、通貨等についてインターネットやgoogle mapで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第3回目からは本講義の第一部「生きるための工夫(アジア編)」となります。

第3、4回は中国の文化について考えていきます。

第3回は、中国の基礎知識(人口、民族、言語、地域、通貨など)について紹介します。

第4回 第4回 中国の食文化(担当: 阿部慎太郎) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 中華料理について、インターネットで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第3、4回は中国の文化について考えていきます。

第4回は、中国の食文化(中華料理、円卓、習慣など)について紹介します。

第5回 第5回 韓国の基礎知識・食文化(担当: 小島大輝) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 韓国の地理、料理、食習慣について、インターネットで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第5、6回は韓国の文化について考えていきます。

第5回は、韓国の基礎知識と食文化(韓国料理、食習慣など)について紹介します。

第6回 第6回 韓国の住居文化とその周辺(担当: 小島大輝) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 韓国の住居について、インターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第5、6回は韓国の文化について考えていきます。

第6回は、韓国の住居と暮らし、関連する周辺の文化について紹介します。

第7回 第7回 アジア編～まとめ～「小文字の文化」から国際社会を見る（担当：高橋梓、阿部慎太郎、小島大輝）（授業形式：講義および演習）

予習内容：動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出ししておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第3～6回で学んだアジア文化の特徴を題材に、文化から国際社会を見ることの意義を議論します。

第8回 第8回 フランスの基礎知識・フランス語圏（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：フランスの基本情報について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第8回目からは本講義の第二部「文化と文化のあいだ（ヨーロッパ編）」となります。

第8、9回は中国の文化について考えていきます。

第8回はフランスの基礎知識と、フランス以外でフランス語を使用しているフランス語圏の実態や、フランス国内の少数言語について紹介します。

第9回 第9回 フランスの移民問題（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：フランスの移民問題について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第9回はフランスの移民の歴史、現在の状況、社会問題について説明します。

第10回 第10回 ドイツの基礎知識・ドイツ語圏（担当：大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ドイツやドイツ語が話される地域の基本情報について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第10、11回はドイツの文化について考えていきます。

第10回はドイツの基礎知識と、ドイツ以外でドイツ語を使用しているドイツ語圏の実態について、特に多言語国家スイスの言語状況を例にして紹介します。

第11回 第10回 ドイツの移民問題・ドイツ語圏（担当：大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ドイツやドイツ語が話される地域の移民問題について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第10回はドイツやドイツ語が話される地域の移民の歴史、現在の状況、社会問題について説明します。

第12回 第12回 まとめ～ヨーロッパ編～文化と文化のあいだ～（担当：高橋梓、大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出ししておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第8～11回で学んだヨーロッパ文化の特徴を題材に、主に文化触変論に基づき考察します。

第13回 第13回 自文化と異文化① プルーストを読む堀辰雄（前篇）（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：堀辰雄とプルーストについて書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第13回目からは本講義の第三部「文化の接触と変容」となります。

第13回、14回は文学作品を題材として、文化を生きる個人の精神に目を向けます。

第13回は堀辰雄とマルセル・ブルーストが宗教芸術を見る視点に文化の差異を超えた共通点が潜むことを明らかにします。

第14回 第14回 自文化と異文化② ブルーストを読む堀辰雄(後編) (担当:高橋梓) (授業形式:講義および演習)

予習内容:堀辰雄『大和路・信濃路』を読んでおく

予習時間:120分

復習内容:動画で教員の分析を確認する

復習時間:60分

第14回は、前半で明らかにした両文化圏の共通点がなぜ起こるのか、作品分析に基づきながら理由を考察し、自文化と異文化のあいだに潜む普遍的な特性に迫ります。

第15回 第15回 まとめ～国際社会で他者と生きるために(担当:高橋梓、大喜祐太、阿部慎太郎、小島大輝) (授業形式:講義および演習)

予習内容:動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出ししておく

予習時間:120分

復習内容:動画で教員の分析を確認する

復習時間:60分

第15回では、これまでの講義内容を踏まえ、担当教員が日本に根付いた異文化の事例を挙げながら、国際社会の中で他者とともに生きるためのヒントや問題点を議論します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語の技法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Skills of Japanese Language				
担当者 :	森久 国雄				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本講義は、それぞれの専門家によるオムニバス形式となっており、多様な日本語の魅力に触れるものとなっている。多角的な視点で日本語の基礎力を身につけられるようになっている。

授業形態は、オンデマンド形式であり、各自映像で自主学習を行い、その後課題に取り組む主体的な学びを促進するものである。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

「日本語」を使ったコミュニケーションを「話す」「書く」「読む」「聞く」のあらゆる角度から捉え、日本語の特徴や文化的背景も踏まえてその技法を学び、表現力を高めることを目的としている。

またレポート作成をはじめとする大学生活に必要な学びの基礎のみならず、履歴書や自己アピールなどの就職活動、会議やプレゼンテーションなどの社会人生活に必要な実践力をも身につけることを目的としている。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー1.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート 30%

期末レポート 30%

ディスカッション 20%

その他課題 ※必ず各担当のGoogle Classroomに入室し、指示に従い課題等を提出してください。5回以上動画の視聴を行わなかった場合、最終レポートを提出することはできません。 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

GoogleClassroomを活用します。授業期間中の諸課題については、その都度コメントを掲載します。期末レポートについては、提出締切後に解説を掲載します。

■ 教科書

別途指示します。

■ 参考文献

[ISBN]4623078779 『知的技法としてのコミュニケーション:「話す力」は「生きる力」』（児島建次郎, ミネルヴァ書房: 2017)

■ 関連科目

日本語の技法、日本語の表現

■ 授業評価アンケート実施方法

規定に従い行います

■ 研究室・メールアドレス

morihisa_kunio@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

質問等はメールにて随時対応します。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 話すための基礎技術（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第2回 話し上手は聞き上手（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第3回 パブリックスピーキング（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第4回 声は人なり（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第5回 プレゼンテーション（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第6回 日本語の性格1（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第7回 日本語の性格2（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第8回 敬語（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第9回 文法カテゴリーと表現性（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第10回 ことばのバリエーション（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第11回 レポートの書き方①（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第12回 レポートの書き方②（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第13回 レポートの書き方③（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第14回 企画書（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第15回 メール・手紙（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

定期試験を行う

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	日本語の技法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Skills of Japanese Language				
担当者 :	森久 国雄				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育目標（G）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(J)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

本講義は、それぞれの専門家によるオムニバス形式となっており、多様な日本語の魅力に触れるものとなっている。多角的な視点で日本語の基礎力を身につけられるようになっている。

授業形態は、オンデマンド形式であり、各自映像で自主学習を行い、その後課題に取り組む主体的な学びを促進するものである。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

「日本語」を使ったコミュニケーションを「話す」「書く」「読む」「聞く」のあらゆる角度から捉え、日本語の特徴や文化的背景も踏まえてその技法を学び、表現力を高めることを目的としている。

またレポート作成をはじめとする大学生活に必要な学びの基礎のみならず、履歴書や自己アピールなどの就職活動、会議やプレゼンテーションなどの社会人生活に必要な実践力をも身につけることを目的としている。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー1.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート 30%

期末レポート 30%

ディスカッション 20%

その他課題 ※必ず各担当のGoogle Classroomに入室し、指示に従い課題等を提出してください。5回以上動画の視聴を行わなかった場合、最終レポートを提出することはできません。 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

GoogleClassroomを活用します。授業期間中の諸課題については、その都度コメントを掲載します。期末レポートについては、提出締切後に解説を掲載します。

■ 教科書

別途指示します。

■ 参考文献

[ISBN]4623078779 『知的技法としてのコミュニケーション：「話す力」は「生きる力」』（児島建次郎，ミネルヴァ書房：2017）

■ 関連科目

日本語の技法、日本語の表現

■ 授業評価アンケート実施方法

規定に従い行います

■ 研究室・メールアドレス

morihisa_kunio@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

質問等はメールにて随時対応します。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 話すための基礎技術（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第2回 話し上手は聞き上手（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第3回 パブリックスピーキング（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第4回 声は人なり（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第5回 プレゼンテーション（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第6回 日本語の性格1（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第7回 日本語の性格2（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第8回 敬語（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第9回 文法カテゴリーと表現性（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第10回 ことばのバリエーション（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第11回 レポートの書き方①（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第12回 レポートの書き方②（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第13回 レポートの書き方③（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第14回 企画書（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第15回 メール・手紙（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

定期試験を行う

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	日本語の技法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Skills of Japanese Language				
担当者 :	藤井 和子				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育目標（G）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(J)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

本講義は、それぞれの専門家によるオムニバス形式となっており、多様な日本語の魅力に触れるものとなっている。多角的な視点で日本語の基礎力を身につけられるようになっている。

授業形態は、オンデマンド形式であり、各自映像で自主学習を行い、その後課題に取り組む主体的な学びを促進するものである。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

「日本語」を使ったコミュニケーションを「話す」「書く」「読む」「聞く」のあらゆる角度から捉え、日本語の特徴や文化的背景も踏まえてその技法を学び、表現力を高めることを目的としている。

またレポート作成をはじめとする大学生活に必要な学びの基礎のみならず、履歴書や自己アピールなどの就職活動、会議やプレゼンテーションなどの社会人生活に必要な実践力をも身につけることを目的としている。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー1.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート 30%

期末レポート 30%

ディスカッション 20%

その他課題 ※必ず各担当のGoogle Classroom（クラスコードrgbdfoq）に入室し、指示に従い課題等を提出してください。5回以上動画の視聴を行わなかった場合、最終レポートを提出することはできません。20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

中間レポート、ディスカッション、その他課題については、GoogleClassroom（クラスコードrgbdfoq）にてその都度解説します。

期末レポート課題は、提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

別途指示します。

■ 参考文献

[ISBN]4623078779 『知的技法としてのコミュニケーション:「話す力」は「生きる力」』（児島建次郎, ミネルヴァ書房）

2017)

■ 関連科目

日本語の技法、日本語の表現

■ 授業評価アンケート実施方法

規定に従い行います

■ 研究室・メールアドレス

k-fujii@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

メールかクラスルームからお願いします。

(対応しづらい時間帯についてはクラスルームでご連絡する予定です)

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 話すための基礎技術（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第2回 話し上手は聞き上手（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第3回 パブリックスピーキング（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第4回 声は人なり（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第5回 プレゼンテーション（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第6回 日本語の性格1（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第7回 日本語の性格2（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第8回 敬語（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第9回 文法カテゴリーと表現性（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第10回 ことばのバリエーション（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第11回 レポートの書き方①（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第12回 レポートの書き方②（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第13回 レポートの書き方③（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第14回 企画書（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第15回 メール・手紙（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

定期試験を行う

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	日本語の技法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Skills of Japanese Language				
担当者 :	山王丸 有紀				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育目標（G）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(J)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

本講義は、それぞれの専門家によるオムニバス形式となっており、多様な日本語の魅力に触れるものとなっている。多角的な視点で日本語の基礎力を身につけられるようになっている。

授業形態は、オンデマンド形式であり、各自映像で自主学習を行い、その後課題に取り組む主体的な学びを促進するものである。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

「日本語」を使ったコミュニケーションを「話す」「書く」「読む」「聞く」のあらゆる角度から捉え、日本語の特徴や文化的背景も踏まえてその技法を学び、表現力を高めることを目的としている。

またレポート作成をはじめとする大学生活に必要な学びの基礎のみならず、履歴書や自己アピールなどの就職活動、会議やプレゼンテーションなどの社会人生活に必要な実践力をも身につけることを目的としている。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー1.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート 30%

期末レポート 30%

ディスカッション 20%

その他課題 ※必ず各担当のGoogle Classroomに入室し、指示に従い課題等を提出してください。5回以上動画の視聴を行わなかった場合、最終レポートを提出することはできません。 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

中間レポート、ディスカッション、その他課題については、GoogleClassroomにてその都度解説します。

期末レポート課題は、提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

別途指示します。

■ 参考文献

[ISBN]4623078779 『知的技法としてのコミュニケーション：「話す力」は「生きる力」』（児島建次郎，ミネルヴァ書房：2017）

■ 関連科目

日本語の技法、日本語の表現

■ 授業評価アンケート実施方法

規定に従い行います

■ 研究室・メールアドレス

21号館2階講師控室 sannoumaru14@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

メールかクラスルームからお願いします。

(対応しづらい時間帯についてはクラスルームでご連絡する予定です)

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 話すための基礎技術（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第2回 話し上手は聞き上手（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第3回 パブリックスピーキング（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第4回 声は人なり（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第5回 プレゼンテーション（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第6回 日本語の性格1（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第7回 日本語の性格2（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第8回 敬語（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第9回 文法カテゴリーと表現性（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容を復習する
復習時間：30分

第10回 ことばのバリエーション（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容を復習する
復習時間：30分

第11回 レポートの書き方①（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容を復習する
復習時間：30分

第12回 レポートの書き方②（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容を復習する
復習時間：30分

第13回 レポートの書き方③（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容を復習する
復習時間：30分

第14回 企画書（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容を復習する
復習時間：30分

第15回 メール・手紙（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容を復習する
復習時間：30分

定期試験を行う

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	日本語の技法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Skills of Japanese Language				
担当者 :	藤井 和子				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育目標（G）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(J)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

本講義は、それぞれの専門家によるオムニバス形式となっており、多様な日本語の魅力に触れるものとなっている。多角的な視点で日本語の基礎力を身につけられるようになっている。

授業形態は、オンデマンド形式であり、各自映像で自主学習を行い、その後課題に取り組む主体的な学びを促進するものである。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

「日本語」を使ったコミュニケーションを「話す」「書く」「読む」「聞く」のあらゆる角度から捉え、日本語の特徴や文化的背景も踏まえてその技法を学び、表現力を高めることを目的としている。

またレポート作成をはじめとする大学生活に必要な学びの基礎のみならず、履歴書や自己アピールなどの就職活動、会議やプレゼンテーションなどの社会生活に必要な実践力をも身につけることを目的としている。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー1.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート 30%

期末レポート 30%

ディスカッション 20%

その他課題 ※必ず各担当のGoogle Classroom（クラスコードx3lybzt）に入室し、指示に従い課題等を提出してください。5回以上動画の視聴を行わなかった場合、最終レポートを提出することはできません。20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

中間レポート、ディスカッション、その他課題については、GoogleClassroom（クラスコードx3lybzt）にてその都度解説します。

期末レポート課題は、提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

別途指示します。

■ 参考文献

[ISBN]4623078779 『知的技法としてのコミュニケーション：「話す力」は「生きる力」』（児島建次郎，ミネルヴァ書房）

2017)

■ 関連科目

日本語の技法、日本語の表現

■ 授業評価アンケート実施方法

規定に従い行います

■ 研究室・メールアドレス

k-fujii@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

メールかクラスルームからお願いします。

(対応しづらい時間帯についてはクラスルームでご連絡する予定です)

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 話すための基礎技術（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第2回 話し上手は聞き上手（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第3回 パブリックスピーキング（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第4回 声は人なり（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第5回 プレゼンテーション（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第6回 日本語の性格1（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第7回 日本語の性格2（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第8回 敬語（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第9回 文法カテゴリーと表現性（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第10回 ことばのバリエーション（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第11回 レポートの書き方①（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第12回 レポートの書き方②（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第13回 レポートの書き方③（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第14回 企画書（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第15回 メール・手紙（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

定期試験を行う

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	溝渕 昭二				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

■ ディプロマポリシーとの関連

本科目の修得は、本学が定めるディプロマ・ポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

- KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%
- KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
- 練習課題+演習課題（第10回～第15回） 40%
- グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

- 第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
- 第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
- グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

- 教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

- [ISBN]9784065379394 『教養としてのデータサイエンス 改訂第2版 (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2024)

■ 関連科目

- 各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

- 学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

- nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

- 別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会 (担当 : 山元 翔) (授業形式 : 講義および演習)

- 予習内容 : 授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

- 予習時間 : 90分

- 復習内容 : KBマップ課題を完成して提出する。

- 復習時間 : 180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実 (VR)、拡張現実 (AR)
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学 (DS) と人工知能 (AI) への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会 (担当 : 山元 翔) (授業形式 : 講義および演習)

- 予習内容 : 第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること (毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する)。

- 予習時間 : 60分

- 復習内容 : 第2回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること (グループディスカッション用事前課題、事後課題あり)。

- 復習時間 : 180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI活用 (担当 : 山元 翔) (授業形式 : 講義および演習)

- 予習内容 : 第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

- 予習時間 : 60分

- 復習内容 : KBマップ課題を完成して提出する。

- 復習時間 : 180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル

- ・ AI最新技術の活用例
- ・ 人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・ 人工知能、データ科学の社会的課題
- ・ データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ 2進数, 16進数
- ・ 数値, 文字, 画像, 音声
- ・ 1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・ 構造化データ, 非構造化データ
- ・ 非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・ オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ データサイエンスのサイクル
- ・ 個人の不健全な状況の回避：ネット依存症、ゲーム中毒、テクノストレス等
- ・ 被害者・加害者にならないための知識、なったときの対応、誹謗中傷・炎上、ネットいじめ
- ・ 適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差、アクセシビリティ
- ・ プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報の信頼性の判断、デマ・流言、メディアリテラシー
- ・ 社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・ データ・AI活用における負の事例紹介
- ・ データ倫理：データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護
- ・ AI社会原則 (公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)
- ・ データバイアス、アルゴリズムバイアス
- ・ AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 知的財産権：著作権と産業財産権、著作権、創作とライセンス表示、国際化 (ベルヌ条約)
- ・ 肖像権・パブリシティ権
- ・ 個人情報保護：個人情報 (個人識別符号の説明を含む)、匿名加工情報、自己情報コントロール権、OECD プライバシーガイドライン、EU 法 (保護規則) と忘れられる権利、オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報セキュリティ：機密性、完全性、可用性
- ・ 匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取
- ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し、未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	国際化と異文化理解【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Internationalization and Cross Cultural Understanding				
担当者 :	阿部 慎太郎				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（B）に主体的に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に主体的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)に主体的に関与、(C)、(J)、(K)に付随的に関与				

■ 授業概要

この講義では中国・韓国・ドイツ・フランスの文化についての学びを通じ、国際社会の中で他者とともに生きるための方法を見出すことを目的とします。21世紀を生きる我々は、グローバル化の中で多様な価値観に触れています。その一方で各国のローカルな価値観に違和感を覚えたり、異文化圏との積極的な交流に不満を覚えたりする声が目につくようになりました。私たちは「国際化」と「異文化」という大きなテーマを改めて考え直す段階に来ているのではないのでしょうか。そこで本講義では中国・韓国・ドイツ・フランスを専門とする四名の教員が、各国の文化の特徴や問題を解説します。文化を「生きるための工夫」と見なし、他国の日常生活や民族間の摩擦の事例を読み解き、日本文化との共通点や差異を議論することで、国際社会を生きる我々の課題が浮き彫りになるはずで、講義を通じて国際社会を他者とともに生きるための基礎的な能力を獲得しましょう。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

この講義を受講することで、履修者は、

- ① 自分と他者、あるいは自文化と異文化を比較し、違いや共通点を見出す能力が身につく。
- ② 各回の課題やアクティビティを通じて自分の考えをしっかりとした言葉で伝えられるようになる。
- ③ 各国文化（中国・韓国・ドイツ・フランス）について基礎的な知識を得ることができる。

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー4（異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること）の達成に関与しています。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー4（異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること）の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート① 25%
中間レポート② 25%
期末レポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題の提出締切後に「課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

教科書は使用しません。

■参考文献

- [ISBN]4130322028 『国際文化論』（平野 健一郎, 東京大学出版会：2000）
[ISBN]4795402310 『国際文化学への第一歩』（静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科, すずさわ書店：2013）
[ISBN]4469212709 『カルチュラル・スタディーズへの招待』（本橋 哲也, 大修館書店：2002）

■関連科目

すべての外国語科目、国際化と異文化理解

■授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

研究室：EキャンパスC館5階
メールアドレス：shintaro.abe@jus.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜日 2限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 第1回 インタロダクション～文化とは何か～（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：文化について自分なりのイメージを持っておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第1回は文化とは何かという点について、先行研究に基づき概念を確認するとともに、本講義の全体像について概要を説明します。

第2回 第2回 国際文化学とは何か（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：参考文献：平野健一郎『国際文化論』を読む

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第2回は本講義が立脚する国際文化学について説明します。国際関係を文化で見る試みを具体的にどのように進めるべきか確認しましょう。

第3回 第3回 中国の基礎知識・言語（担当：阿部慎太郎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：中国の人口、地域、通貨等についてインターネットやgoogle mapで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第3回目からは本講義の第一部「生きるための工夫（アジア編）」となります。

第3、4回は中国の文化について考えていきます。

第3回は、中国の基礎知識（人口、民族、言語、地域、通貨など）について紹介します。

第4回 第4回 中国の食文化（担当：阿部慎太郎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：中華料理について、インターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第3、4回は中国の文化について考えていきます。

第4回は、中国の食文化（中華料理、円卓、習慣など）について紹介します。

第5回 第5回 韓国の基礎知識・食文化（担当：小島大輝）（授業形式：講義および演習）

予習内容：韓国の地理、料理、食習慣について、インターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第5、6回は韓国の文化について考えていきます。

第5回は、韓国の基礎知識と食文化（韓国料理、食習慣など）について紹介します。

第6回 第6回 韓国の住居文化とその周辺（担当：小島大輝）（授業形式：講義および演習）

予習内容：韓国の住居について、インターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第5、6回は韓国の文化について考えていきます。

第6回は、韓国の住居と暮らし、関連する周辺の文化について紹介します。

第7回 第7回 アジア編～まとめ～「小文字の文化」から国際社会を見る（担当：高橋梓、阿部慎太郎、小島大輝）（授業形式：講義および演習）

予習内容：動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出しておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第3～6回で学んだアジア文化の特徴を題材に、文化から国際社会を見ることの意義を議論します。

第8回 第8回 フランスの基礎知識・フランス語圏（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：フランスの基本情報について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第8回目からは本講義の第二部「文化と文化のあいだ（ヨーロッパ編）」となります。

第8、9回は中国の文化について考えていきます。

第8回はフランスの基礎知識と、フランス以外でフランス語を使用しているフランス語圏の実態や、フランス国内の少数民族言語について紹介します。

第9回 第9回 フランスの移民問題（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：フランスの移民問題について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第9回はフランスの移民の歴史、現在の状況、社会問題について説明します。

第10回 第10回 ドイツの基礎知識・ドイツ語圏（担当：大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ドイツやドイツ語が話される地域の基本情報について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第10、11回はドイツの文化について考えていきます。

第10回はドイツの基礎知識と、ドイツ以外でドイツ語を使用しているドイツ語圏の実態について、特に多言語国家スイスの言語状況を例にして紹介します。

第11回 第10回 ドイツの移民問題・ドイツ語圏（担当：大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ドイツやドイツ語が話される地域の移民問題について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第10回はドイツやドイツ語が話される地域の移民の歴史、現在の状況、社会問題について説明します。

第12回 第12回 まとめ～ヨーロッパ編～文化と文化のあいだ～（担当：高橋梓、大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出しておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第8～11回で学んだヨーロッパ文化の特徴を題材に、主に文化触変論に基づき考察します。

第13回 第13回 自文化と異文化① プルーストを読む堀辰雄（前篇）（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：堀辰雄とプルーストについて書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第13回目からは本講義の第三部「文化の接触と変容」となります。

第13回、14回は文学作品を題材として、文化を生きる個人の精神に目を向けます。

第13回は堀辰雄とマルセル・ブルーストが宗教芸術を見る視点に文化の差異を超えた共通点が潜むことを明らかにします。

第14回 第14回 自文化と異文化② ブルーストを読む堀辰雄(後編) (担当：高橋梓) (授業形式：講義および演習)

予習内容：堀辰雄『大和路・信濃路』を読んでおく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第14回は、前半で明らかにした両文化圏の共通点がなぜ起こるのか、作品分析に基づきながら理由を考察し、自文化と異文化のあいだに潜む普遍的な特性に迫ります。

第15回 第15回 まとめ～国際社会で他者と生きるために(担当：高橋梓、大喜祐太、阿部慎太郎、小島大輝) (授業形式：講義および演習)

予習内容：動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出しておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第15回では、これまでの講義内容を踏まえ、担当教員が日本に寝付いた異文化の事例を挙げながら、国際社会の中で他者とともに生きるためのヒントや問題点を議論します。

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	国際化と異文化理解【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Internationalization and Cross Cultural Understanding				
担当者 :	阿部 慎太郎				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（B）に主体的に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に主体的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)に主体的に関与、(C)、(J)、(K)に付随的に関与				

■ 授業概要

この講義では中国・韓国・ドイツ・フランスの文化についての学びを通じ、国際社会の中で他者とともに生きるための方法を見出すことを目的とします。21世紀を生きる我々は、グローバル化の中で多様な価値観に触れています。その一方で各国のローカルな価値観に違和感を覚えたり、異文化圏との積極的な交流に不満を覚えたりする声が目につくようになりました。私たちは「国際化」と「異文化」という大きなテーマを改めて考え直す段階に来ているのではないのでしょうか。そこで本講義では中国・韓国・ドイツ・フランスを専門とする四名の教員が、各国の文化の特徴や問題を解説します。文化を「生きるための工夫」と見なし、他国の日常生活や民族間の摩擦の事例を読み解き、日本文化との共通点や差異を議論することで、国際社会を生きる我々の課題が浮き彫りになるはずで、講義を通じて国際社会を他者とともに生きるための基礎的な能力を獲得しましょう。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

この講義を受講することで、履修者は、

- ① 自分と他者、あるいは自文化と異文化を比較し、違いや共通点を見出す能力が身につく。
- ② 各回の課題やアクティビティを通じて自分の考えをしっかりとした言葉で伝えられるようになる。
- ③ 各国文化（中国・韓国・ドイツ・フランス）について基礎的な知識を得ることができる。

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー4（異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること）の達成に関与しています。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー4（異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること）の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート① 25%
中間レポート② 25%
期末レポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題の提出締切後に「課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

教科書は使用しません。

■参考文献

- [ISBN]4130322028 『国際文化論』(平野 健一郎, 東京大学出版会: 2000)
[ISBN]4795402310 『国際文化学への第一歩』(静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科, すずさわ書店: 2013)
[ISBN]4469212709 『カルチュラル・スタディーズへの招待』(本橋 哲也, 大修館書店: 2002)

■関連科目

すべての外国語科目、国際化と異文化理解

■授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

研究室: EキャンパスC館5階
メールアドレス: shintaro.abe@jus.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜日 2限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 第1回 インタロダクション～文化とは何か～(担当: 高橋梓)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 文化について自分なりのイメージを持っておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第1回は文化とは何かという点について、先行研究に基づき概念を確認するとともに、本講義の全体像について概要を説明します。

第2回 第2回 国際文化学とは何か(担当: 高橋梓)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 参考文献: 平野健一郎『国際文化論』を読む

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第2回は本講義が立脚する国際文化学について説明します。国際関係を文化で見る試みを具体的にどのように進めるべきか確認しましょう。

第3回 第3回 中国の基礎知識・言語(担当: 阿部慎太郎)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 中国の人口、地域、通貨等についてインターネットやgoogle mapで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第3回目からは本講義の第一部「生きるための工夫(アジア編)」となります。

第3、4回は中国の文化について考えていきます。

第3回は、中国の基礎知識(人口、民族、言語、地域、通貨など)について紹介します。

第4回 第4回 中国の食文化(担当: 阿部慎太郎)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 中華料理について、インターネットで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第3、4回は中国の文化について考えていきます。

第4回は、中国の食文化(中華料理、円卓、習慣など)について紹介します。

第5回 第5回 韓国の基礎知識・食文化(担当: 小島大輝)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 韓国の地理、料理、食習慣について、インターネットで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第5、6回は韓国の文化について考えていきます。

第5回は、韓国の基礎知識と食文化(韓国料理、食習慣など)について紹介します。

第6回 第6回 韓国の住居文化とその周辺（担当：小島大輝）（授業形式：講義および演習）

予習内容：韓国の住居について、インターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第5、6回は韓国の文化について考えていきます。

第6回は、韓国の住居と暮らし、関連する周辺の文化について紹介します。

第7回 第7回 アジア編～まとめ～「小文字の文化」から国際社会を見る（担当：高橋梓、阿部慎太郎、小島大輝）（授業形式：講義および演習）

予習内容：動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出しておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第3～6回で学んだアジア文化の特徴を題材に、文化から国際社会を見ることの意義を議論します。

第8回 第8回 フランスの基礎知識・フランス語圏（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：フランスの基本情報について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第8回目からは本講義の第二部「文化と文化のあいだ（ヨーロッパ編）」となります。

第8、9回は中国の文化について考えていきます。

第8回はフランスの基礎知識と、フランス以外でフランス語を使用しているフランス語圏の実態や、フランス国内の少数民族言語について紹介します。

第9回 第9回 フランスの移民問題（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：フランスの移民問題について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第9回はフランスの移民の歴史、現在の状況、社会問題について説明します。

第10回 第10回 ドイツの基礎知識・ドイツ語圏（担当：大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ドイツやドイツ語が話される地域の基本情報について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第10、11回はドイツの文化について考えていきます。

第10回はドイツの基礎知識と、ドイツ以外でドイツ語を使用しているドイツ語圏の実態について、特に多言語国家スイスの言語状況を例にして紹介します。

第11回 第10回 ドイツの移民問題・ドイツ語圏（担当：大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ドイツやドイツ語が話される地域の移民問題について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第10回はドイツやドイツ語が話される地域の移民の歴史、現在の状況、社会問題について説明します。

第12回 第12回 まとめ～ヨーロッパ編～文化と文化のあいだ～（担当：高橋梓、大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出しておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第8～11回で学んだヨーロッパ文化の特徴を題材に、主に文化触変論に基づき考察します。

第13回 第13回 自文化と異文化① プルーストを読む堀辰雄（前篇）（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：堀辰雄とプルーストについて書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第13回目からは本講義の第三部「文化の接触と変容」となります。

第13回、14回は文学作品を題材として、文化を生きる個人の精神に目を向けます。

第13回は堀辰雄とマルセル・ブルーストが宗教芸術を見る視点に文化の差異を超えた共通点が潜むことを明らかにします。

第14回 第14回 自文化と異文化② ブルーストを読む堀辰雄(後編) (担当:高橋梓) (授業形式:講義および演習)

予習内容:堀辰雄『大和路・信濃路』を読んでおく

予習時間:120分

復習内容:動画で教員の分析を確認する

復習時間:60分

第14回は、前半で明らかにした両文化圏の共通点がなぜ起こるのか、作品分析に基づきながら理由を考察し、自文化と異文化のあいだに潜む普遍的な特性に迫ります。

第15回 第15回 まとめ～国際社会で他者と生きるために(担当:高橋梓、大喜祐太、阿部慎太郎、小島大輝) (授業形式:講義および演習)

予習内容:動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出しておく

予習時間:120分

復習内容:動画で教員の分析を確認する

復習時間:60分

第15回では、これまでの講義内容を踏まえ、担当教員が日本に寝付いた異文化の事例を挙げながら、国際社会の中で他者とともに生きるためのヒントや問題点を議論します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	国際化と異文化理解【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Internationalization and Cross Cultural Understanding				
担当者 :	高橋 梓				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（B）に主体的に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に主体的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)に主体的に関与、(C)、(J)、(K)に付随的に関与				

■ 授業概要

この講義では中国・韓国・ドイツ・フランスの文化についての学びを通じ、国際社会の中で他者とともに生きるための方法を見出すことを目的とします。21世紀を生きる我々は、グローバル化の中で多様な価値観に触れています。その一方で各国のローカルな価値観に違和感を覚えたり、異文化圏との積極的な交流に不満を覚えたりする声が目につくようになりました。私たちは「国際化」と「異文化」という大きなテーマを改めて考え直す段階に来ているのではないのでしょうか。そこで本講義では中国・韓国・ドイツ・フランスを専門とする四名の教員が、各国の文化の特徴や問題を解説します。文化を「生きるための工夫」と見なし、他国の日常生活や民族間の摩擦の事例を読み解き、日本文化との共通点や差異を議論することで、国際社会を生きる我々の課題が浮き彫りになるはずで、講義を通じて国際社会を他者とともに生きるための基礎的な能力を獲得しましょう。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

この講義を受講することで、履修者は、

- ① 自分と他者、あるいは自文化と異文化を比較し、違いや共通点を見出す能力が身につく。
- ② 各回の課題やアクティビティを通じて自分の考えをしっかりとした言葉で伝えられるようになる。
- ③ 各国文化（中国・韓国・ドイツ・フランス）について基礎的な知識を得ることができる。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー4（異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること）の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート① 25%

中間レポート② 25%

期末レポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題の提出締切後に「課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

教科書は使用しません。

■ 参考文献

[ISBN]4130322028 『国際文化論』(平野 健一郎, 東京大学出版会: 2000)

[ISBN]4795402310 『国際文化学への第一歩』(静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科, すずさわ書店: 2013)

[ISBN]4469212709 『カルチュラル・スタディーズへの招待』(本橋 哲也, 大修館書店: 2002)

■ 関連科目

すべての外国語科目、国際化と異文化理解

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

研究室: EキャンパスC館5階

メールアドレス: azusa.takahashi@jus.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日 2限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 第1回 インTRODクシヨン ~ 文化とは何か~ (担当: 高橋梓) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 文化について自分なりのイメージを持っておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第1回は文化とは何かという点について、先行研究に基づき概念を確認するとともに、本講義の全体像について概要を説明します。

第2回 第2回 国際文化学とは何か (担当: 高橋梓) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 参考文献: 平野健一郎『国際文化論』を読む

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第2回は本講義が立脚する国際文化学について説明します。国際関係を文化で見る試みを具体的にどのように進めるべきか確認しましょう。

第3回 第3回 中国の基礎知識・言語 (担当: 阿部慎太郎) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 中国の人口、地域、通貨等についてインターネットやgoogle mapで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第3回目からは本講義の第一部「生きるための工夫(アジア編)」となります。

第3、4回は中国の文化について考えていきます。

第3回は、中国の基礎知識(人口、民族、言語、地域、通貨など)について紹介します。

第4回 第4回 中国の食文化 (担当: 阿部慎太郎) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 中華料理について、インターネットで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第3、4回は中国の文化について考えていきます。

第4回は、中国の食文化(中華料理、円卓、習慣など)について紹介します。

第5回 第5回 韓国の基礎知識・食文化 (担当: 小島大輝) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 韓国の地理、料理、食習慣について、インターネットで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第5、6回は韓国の文化について考えていきます。

第5回は、韓国の基礎知識と食文化(韓国料理、食習慣など)について紹介します。

第6回 第6回 韓国の住居文化とその周辺 (担当: 小島大輝) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 韓国の住居について、インターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第5、6回は韓国の文化について考えていきます。

第6回は、韓国の住居と暮らし、関連する周辺の文化について紹介します。

第7回 第7回 アジア編～まとめ～「小文字の文化」から国際社会を見る（担当：高橋梓、阿部慎太郎、小島大輝）（授業形式：講義および演習）

予習内容：動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出ししておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第3～6回で学んだアジア文化の特徴を題材に、文化から国際社会を見ることの意義を議論します。

第8回 第8回 フランスの基礎知識・フランス語圏（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：フランスの基本情報について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第8回目からは本講義の第二部「文化と文化のあいだ（ヨーロッパ編）」となります。

第8、9回は中国の文化について考えていきます。

第8回はフランスの基礎知識と、フランス以外でフランス語を使用しているフランス語圏の実態や、フランス国内の少数言語について紹介します。

第9回 第9回 フランスの移民問題（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：フランスの移民問題について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第9回はフランスの移民の歴史、現在の状況、社会問題について説明します。

第10回 第10回 ドイツの基礎知識・ドイツ語圏（担当：大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ドイツやドイツ語が話される地域の基本情報について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第10、11回はドイツの文化について考えていきます。

第10回はドイツの基礎知識と、ドイツ以外でドイツ語を使用しているドイツ語圏の実態について、特に多言語国家スイスの言語状況を例にして紹介します。

第11回 第10回 ドイツの移民問題・ドイツ語圏（担当：大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ドイツやドイツ語が話される地域の移民問題について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第10回はドイツやドイツ語が話される地域の移民の歴史、現在の状況、社会問題について説明します。

第12回 第12回 まとめ～ヨーロッパ編～文化と文化のあいだ～（担当：高橋梓、大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出ししておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第8～11回で学んだヨーロッパ文化の特徴を題材に、主に文化触変論に基づき考察します。

第13回 第13回 自文化と異文化① プルーストを読む堀辰雄（前篇）（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：堀辰雄とプルーストについて書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第13回目からは本講義の第三部「文化の接触と変容」となります。

第13回、14回は文学作品を題材として、文化を生きる個人の精神に目を向けます。

第13回は堀辰雄とマルセル・ブルーストが宗教芸術を見る視点に文化の差異を超えた共通点が潜むことを明らかにします。

第14回 第14回 自文化と異文化② ブルーストを読む堀辰雄(後編) (担当:高橋梓) (授業形式:講義および演習)

予習内容:堀辰雄『大和路・信濃路』を読んでおく

予習時間:120分

復習内容:動画で教員の分析を確認する

復習時間:60分

第14回は、前半で明らかにした両文化圏の共通点がなぜ起こるのか、作品分析に基づきながら理由を考察し、自文化と異文化のあいだに潜む普遍的な特性に迫ります。

第15回 第15回 まとめ～国際社会で他者と生きるために(担当:高橋梓、大喜祐太、阿部慎太郎、小島大輝) (授業形式:講義および演習)

予習内容:動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出しておく

予習時間:120分

復習内容:動画で教員の分析を確認する

復習時間:60分

第15回では、これまでの講義内容を踏まえ、担当教員が日本に根付いた異文化の事例を挙げながら、国際社会の中で他者とともに生きるためのヒントや問題点を議論します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	福井 太郎				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

■ ディプロマポリシーとの関連

本科目の修得は、本学が定めるディプロマ・ポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

- KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%
- KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
- 練習課題+演習課題（第10回～第15回） 40%
- グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

- 第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
- 第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
- グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

- 教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

- [ISBN]9784065379394 『教養としてのデータサイエンス 改訂第2版 (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2024)

■ 関連科目

- 各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

- 学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

- nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

- 別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル

- ・ AI最新技術の活用例
- ・ 人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・ 人工知能、データ科学の社会的課題
- ・ データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ 2進数, 16進数
- ・ 数値, 文字, 画像, 音声
- ・ 1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・ 構造化データ, 非構造化データ
- ・ 非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・ オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ データサイエンスのサイクル
- ・ 個人の不健全な状況の回避：ネット依存症、ゲーム中毒、テクノストレス等
- ・ 被害者・加害者にならないための知識、なったときの対応、誹謗中傷・炎上、ネットいじめ
- ・ 適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差、アクセシビリティ
- ・ プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報の信頼性の判断、デマ・流言、メディアリテラシー
- ・ 社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・ データ・AI活用における負の事例紹介
- ・ データ倫理：データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護
- ・ AI社会原則 (公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)
- ・ データバイアス、アルゴリズムバイアス
- ・ AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 知的財産権：著作権と産業財産権、著作権、創作とライセンス表示、国際化 (ベルヌ条約)
- ・ 肖像権・パブリシティ権
- ・ 個人情報保護：個人情報 (個人識別符号の説明を含む)、匿名加工情報、自己情報コントロール権、OECD プライバシーガイドライン、EU 法 (保護規則) と忘れられる権利、オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報セキュリティ：機密性、完全性、可用性
- ・ 匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取
- ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し、未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	谷口 智彦				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

■ ディプロマポリシーとの関連

本科目の修得は、本学が定めるディプロマ・ポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

- KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%
- KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
- 練習課題+演習課題（第10回～第15回） 40%
- グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

- 第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
- 第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
- グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

- 教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

- [ISBN]9784065379394 『教養としてのデータサイエンス 改訂第2版 (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2024)

■ 関連科目

- 各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

- 学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

- nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

- 別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

- 予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

- 予習時間：90分

- 復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

- 復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

- 予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

- 予習時間：60分

- 復習内容：第2回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

- 復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

- 予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

- 予習時間：60分

- 復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

- 復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル

- ・ AI最新技術の活用例
- ・ 人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・ 人工知能、データ科学の社会的課題
- ・ データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ 2進数, 16進数
- ・ 数値, 文字, 画像, 音声
- ・ 1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・ 構造化データ, 非構造化データ
- ・ 非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・ オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ データサイエンスのサイクル
- ・ 個人の不健全な状況の回避：ネット依存症、ゲーム中毒、テクノストレス等
- ・ 被害者・加害者にならないための知識、なったときの対応、誹謗中傷・炎上、ネットいじめ
- ・ 適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差、アクセシビリティ
- ・ プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報の信頼性の判断、デマ・流言、メディアリテラシー
- ・ 社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・ データ・AI活用における負の事例紹介
- ・ データ倫理：データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護
- ・ AI社会原則 (公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)
- ・ データバイアス、アルゴリズムバイアス
- ・ AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 知的財産権：著作権と産業財産権、著作権、創作とライセンス表示、国際化 (ベルヌ条約)
- ・ 肖像権・パブリシティ権
- ・ 個人情報保護：個人情報 (個人識別符号の説明を含む)、匿名加工情報、自己情報コントロール権、OECD プライバシーガイドライン、EU 法 (保護規則) と忘れられる権利、オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報セキュリティ：機密性、完全性、可用性
- ・ 匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取
- ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し、未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布（ヒストグラム）
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名	Introduction to Data Literacy				
担当者	森本 健志				
開講学科	共通教養科目				
単 位	2単位	開講年次		開講期	後期
科目区分	共通教養科目				
備 考	電気電子通信工学科：学習・教育到達目標B3の達成に付随的に関与、応用化学科：学修・教育目標（H）に付随的に関与、社会環境工学科：ディプロマポリシーの(C)に主体的に関与				

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適切に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

■ ディプロマポリシーとの関連

本科目の修得は、本学が定めるディプロマ・ポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

- KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%
- KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
- 練習課題+演習課題（第10回～第15回） 40%
- グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

- 第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
- 第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
- グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

- 教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

- [ISBN]9784065379394 『教養としてのデータサイエンス 改訂第2版 (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2024)

■ 関連科目

- 各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

- 学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

- nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

- 別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル

- ・ AI最新技術の活用例
- ・ 人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・ 人工知能、データ科学の社会的課題
- ・ データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ 2進数, 16進数
- ・ 数値, 文字, 画像, 音声
- ・ 1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・ 構造化データ, 非構造化データ
- ・ 非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・ オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ データサイエンスのサイクル
- ・ 個人の不健全な状況の回避：ネット依存症、ゲーム中毒、テクノストレス等
- ・ 被害者・加害者にならないための知識、なったときの対応、誹謗中傷・炎上、ネットいじめ
- ・ 適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差、アクセシビリティ
- ・ プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報の信頼性の判断、デマ・流言、メディアリテラシー
- ・ 社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・ データ・AI活用における負の事例紹介
- ・ データ倫理：データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護
- ・ AI社会原則 (公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)
- ・ データバイアス、アルゴリズムバイアス
- ・ AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 知的財産権：著作権と産業財産権、著作権、創作とライセンス表示、国際化 (ベルヌ条約)
- ・ 肖像権・パブリシティ権
- ・ 個人情報保護：個人情報 (個人識別符号の説明を含む)、匿名加工情報、自己情報コントロール権、OECD プライバシーガイドライン、EU 法 (保護規則) と忘れられる権利、オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報セキュリティ：機密性、完全性、可用性
- ・ 匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取
- ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し、未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布（ヒストグラム）
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	宮原 克昇				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

■ ディプロマポリシーとの関連

本科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3の達成に關与している。

■ 成績評価方法および基準

- KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%
- KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
- 練習課題+演習課題（第10回～第15回） 40%
- グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

- 第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
- 第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
- グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

- 教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

- [ISBN]9784065238097 『教養としてのデータサイエンス (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2021)

■ 関連科目

- 各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

- 学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

- nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

- 別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI利活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI利活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル
- ・AI最新技術の活用例

- ・人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・人工知能、データ科学の社会的課題
- ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・2進数, 16進数
- ・数値, 文字, 画像, 音声
- ・1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・構造化データ, 非構造化データ
- ・非構造化データ処理：言語処理、画像/動画処理、音声/音楽処理など
- ・オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・データサイエンスのサイクル
- ・個人の不健全な状況の回避：ネット依存症、ゲーム中毒、テクノストレス等
- ・被害者・加害者にならないための知識、なったときの対応、誹謗中傷・炎上、ネットいじめ
- ・適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差、アクセシビリティ
- ・プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・情報の信頼性の判断、デマ・流言、メディアリテラシー
- ・社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・データ・AI活用における負の事例紹介
- ・データ倫理：データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護
- ・AI社会原則 (公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)
- ・データバイアス、アルゴリズムバイアス
- ・AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・知的財産権：著作権と産業財産権、著作権、創作とライセンス表示、国際化 (ベルヌ条約)
- ・肖像権・パブリシティ権
- ・個人情報保護：個人情報 (個人識別符号の説明を含む)、匿名加工情報、自己情報コントロール権、OECD プライバシーガイドライン、EU 法 (保護規則) と忘れられる権利、オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・情報セキュリティ：機密性、完全性、可用性
- ・匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取
- ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し、未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布（ヒストグラム）
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	大内 秀一				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

■ ディプロマポリシーとの関連

本科目の修得は、本学が定めるディプロマ・ポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

- KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%
- KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
- 練習課題+演習課題（第10回～第15回） 40%
- グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

- 第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
- 第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
- グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

- 教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

- [ISBN]9784065379394 『教養としてのデータサイエンス 改訂第2版 (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2024)

■ 関連科目

- 各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

- 学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

- nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

- 別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会 (担当 : 山元 翔) (授業形式 : 講義および演習)

- 予習内容 : 授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

- 予習時間 : 90分

- 復習内容 : KBマップ課題を完成して提出する。

- 復習時間 : 180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実 (VR)、拡張現実 (AR)
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学 (DS) と人工知能 (AI) への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会 (担当 : 山元 翔) (授業形式 : 講義および演習)

- 予習内容 : 第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること (毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する)。

- 予習時間 : 60分

- 復習内容 : 第2回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること (グループディスカッション用事前課題、事後課題あり)。

- 復習時間 : 180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI活用 (担当 : 山元 翔) (授業形式 : 講義および演習)

- 予習内容 : 第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

- 予習時間 : 60分

- 復習内容 : KBマップ課題を完成して提出する。

- 復習時間 : 180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル

- ・ AI最新技術の活用例
- ・ 人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・ 人工知能、データ科学の社会的課題
- ・ データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ 2進数, 16進数
- ・ 数値, 文字, 画像, 音声
- ・ 1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・ 構造化データ, 非構造化データ
- ・ 非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・ オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ データサイエンスのサイクル
- ・ 個人の不健全な状況の回避：ネット依存症、ゲーム中毒、テクノストレス等
- ・ 被害者・加害者にならないための知識、なったときの対応、誹謗中傷・炎上、ネットいじめ
- ・ 適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差、アクセシビリティ
- ・ プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報の信頼性の判断、デマ・流言、メディアリテラシー
- ・ 社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・ データ・AI活用における負の事例紹介
- ・ データ倫理：データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護
- ・ AI社会原則 (公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)
- ・ データバイアス、アルゴリズムバイアス
- ・ AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 知的財産権：著作権と産業財産権、著作権、創作とライセンス表示、国際化 (ベルヌ条約)
- ・ 肖像権・パブリシティ権
- ・ 個人情報保護：個人情報 (個人識別符号の説明を含む)、匿名加工情報、自己情報コントロール権、OECD プライバシーガイドライン、EU 法 (保護規則) と忘れられる権利、オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報セキュリティ：機密性、完全性、可用性
- ・ 匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取
- ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し、未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	鈴木 拓也				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

■ ディプロマポリシーとの関連

本科目の修得は、本学が定めるディプロマ・ポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

- KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%
- KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
- 練習課題+演習課題（第10回～第15回） 40%
- グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

- 第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
- 第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
- グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

- 教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

- [ISBN]9784065379394 『教養としてのデータサイエンス 改訂第2版 (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2024)

■ 関連科目

- 各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

- 学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

- nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

- 別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル

- ・ AI最新技術の活用例
- ・ 人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・ 人工知能、データ科学の社会的課題
- ・ データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ 2進数, 16進数
- ・ 数値, 文字, 画像, 音声
- ・ 1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・ 構造化データ, 非構造化データ
- ・ 非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・ オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ データサイエンスのサイクル
- ・ 個人の不健全な状況の回避：ネット依存症、ゲーム中毒、テクノストレス等
- ・ 被害者・加害者にならないための知識、なったときの対応、誹謗中傷・炎上、ネットいじめ
- ・ 適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差、アクセシビリティ
- ・ プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報の信頼性の判断、デマ・流言、メディアリテラシー
- ・ 社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・ データ・AI活用における負の事例紹介
- ・ データ倫理：データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護
- ・ AI社会原則 (公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)
- ・ データバイアス、アルゴリズムバイアス
- ・ AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 知的財産権：著作権と産業財産権、著作権、創作とライセンス表示、国際化 (ベルヌ条約)
- ・ 肖像権・パブリシティ権
- ・ 個人情報保護：個人情報 (個人識別符号の説明を含む)、匿名加工情報、自己情報コントロール権、OECD プライバシーガイドライン、EU 法 (保護規則) と忘れられる権利、オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報セキュリティ：機密性、完全性、可用性
- ・ 匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取
- ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し、未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	保本 正芳				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

■ ディプロマポリシーとの関連

本科目の修得は、本学が定めるディプロマ・ポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

- KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%
- KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
- 練習課題+演習課題（第10回～第15回） 40%
- グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

- 第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
- 第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
- グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

- 教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

- [ISBN]9784065379394 『教養としてのデータサイエンス 改訂第2版 (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2024)

■ 関連科目

- 各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

- 学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

- nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

- 別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会 (担当 : 山元 翔) (授業形式 : 講義および演習)

予習内容 : 授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間 : 90分

復習内容 : KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間 : 180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実 (VR)、拡張現実 (AR)
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学 (DS) と人工知能 (AI) への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会 (担当 : 山元 翔) (授業形式 : 講義および演習)

予習内容 : 第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること (毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する)。

予習時間 : 60分

復習内容 : 第2回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること (グループディスカッション用事前課題、事後課題あり)。

復習時間 : 180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI活用 (担当 : 山元 翔) (授業形式 : 講義および演習)

予習内容 : 第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間 : 60分

復習内容 : KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間 : 180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル

- ・ AI最新技術の活用例
- ・ 人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・ 人工知能、データ科学の社会的課題
- ・ データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ 2進数, 16進数
- ・ 数値, 文字, 画像, 音声
- ・ 1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・ 構造化データ, 非構造化データ
- ・ 非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・ オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ データサイエンスのサイクル
- ・ 個人の不健全な状況の回避：ネット依存症、ゲーム中毒、テクノストレス等
- ・ 被害者・加害者にならないための知識、なったときの対応、誹謗中傷・炎上、ネットいじめ
- ・ 適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差、アクセシビリティ
- ・ プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報の信頼性の判断、デマ・流言、メディアリテラシー
- ・ 社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・ データ・AI活用における負の事例紹介
- ・ データ倫理：データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護
- ・ AI社会原則 (公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)
- ・ データバイアス、アルゴリズムバイアス
- ・ AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 知的財産権：著作権と産業財産権、著作権、創作とライセンス表示、国際化 (ベルヌ条約)
- ・ 肖像権・パブリシティ権
- ・ 個人情報保護：個人情報 (個人識別符号の説明を含む)、匿名加工情報、自己情報コントロール権、OECD プライバシーガイドライン、EU 法 (保護規則) と忘れられる権利、オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報セキュリティ：機密性、完全性、可用性
- ・ 匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取
- ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し、未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	金澤 雄介				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

■ ディプロマポリシーとの関連

本科目の修得は、本学が定めるディプロマ・ポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

- KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%
- KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
- 練習課題+演習課題（第10回～第15回） 40%
- グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

- 第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
- 第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
- グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

- 教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

- [ISBN]9784065379394 『教養としてのデータサイエンス 改訂第2版 (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2024)

■ 関連科目

- 各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

- 学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

- nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

- 別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル

- ・ AI最新技術の活用例
- ・ 人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・ 人工知能、データ科学の社会的課題
- ・ データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・ 2進数, 16進数
- ・ 数値, 文字, 画像, 音声
- ・ 1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・ 構造化データ, 非構造化データ
- ・ 非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・ オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・ データサイエンスのサイクル
- ・ 個人の不健全な状況の回避: ネット依存症, ゲーム中毒, テクノストレス等
- ・ 被害者・加害者にならないための知識, なったときの対応, 誹謗中傷・炎上, ネットいじめ
- ・ 適切な対象が適切に情報を取得できること: 情報格差, アクセシビリティ
- ・ プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 情報の信頼性の判断, デマ・流言, メディアリテラシー
- ・ 社会としての危機管理: システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・ データ・AI活用における負の事例紹介
- ・ データ倫理: データのねつ造, 改ざん, 盗用, プライバシー保護
- ・ AI社会原則 (公平性, 説明責任, 透明性, 人間中心の判断)
- ・ データバイアス, アルゴリズムバイアス
- ・ AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 知的財産権: 著作権と産業財産権, 著作権, 創作とライセンス表示, 国際化 (ベルヌ条約)
- ・ 肖像権・パブリシティ権
- ・ 個人情報保護: 個人情報 (個人識別符号の説明を含む), 匿名加工情報, 自己情報コントロール権, OECD プライバシーガイドライン, EU 法 (保護規則) と忘れられる権利, オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 情報セキュリティ: 機密性, 完全性, 可用性
- ・ 匿名加工情報, 暗号化, パスワード, 悪意ある情報搾取
- ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し、未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	黒沢 宏和				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

■ ディプロマポリシーとの関連

本科目の修得は、本学が定めるディプロマ・ポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

- KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%
- KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
- 練習課題+演習課題（第10回～第15回） 40%
- グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

- 第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
- 第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
- グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

[ISBN]9784065379394 『教養としてのデータサイエンス 改訂第2版 (データサイエンス入門シリーズ)』（北川 源四郎, 講談社 : 2024)

■ 関連科目

各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル

- ・ AI最新技術の活用例
- ・ 人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・ 人工知能、データ科学の社会的課題
- ・ データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ 2進数, 16進数
- ・ 数値, 文字, 画像, 音声
- ・ 1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・ 構造化データ, 非構造化データ
- ・ 非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・ オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ データサイエンスのサイクル
- ・ 個人の不健全な状況の回避：ネット依存症、ゲーム中毒、テクノストレス等
- ・ 被害者・加害者にならないための知識、なったときの対応、誹謗中傷・炎上、ネットいじめ
- ・ 適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差、アクセシビリティ
- ・ プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報の信頼性の判断、デマ・流言、メディアリテラシー
- ・ 社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・ データ・AI活用における負の事例紹介
- ・ データ倫理：データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護
- ・ AI社会原則 (公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)
- ・ データバイアス、アルゴリズムバイアス
- ・ AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 知的財産権：著作権と産業財産権、著作権、創作とライセンス表示、国際化 (ベルヌ条約)
- ・ 肖像権・パブリシティ権
- ・ 個人情報保護：個人情報 (個人識別符号の説明を含む)、匿名加工情報、自己情報コントロール権、OECD プライバシーガイドライン、EU 法 (保護規則) と忘れられる権利、オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報セキュリティ：機密性、完全性、可用性
- ・ 匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取
- ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し、未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	鶴田 格				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

■ ディプロマポリシーとの関連

本科目の修得は、本学が定めるディプロマ・ポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

- KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%
- KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
- 練習課題+演習課題（第10回～第15回） 40%
- グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

- 第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
- 第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
- グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

- 教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

- [ISBN]9784065379394 『教養としてのデータサイエンス 改訂第2版 (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2024)

■ 関連科目

- 各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

- 学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

- nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

- 別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会 (担当 : 山元 翔) (授業形式 : 講義および演習)

予習内容 : 授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間 : 90分

復習内容 : KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間 : 180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実 (VR)、拡張現実 (AR)
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学 (DS) と人工知能 (AI) への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会 (担当 : 山元 翔) (授業形式 : 講義および演習)

予習内容 : 第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間 : 60分

復習内容 : 第2回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間 : 180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI活用 (担当 : 山元 翔) (授業形式 : 講義および演習)

予習内容 : 第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間 : 60分

復習内容 : KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間 : 180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル

- ・ AI最新技術の活用例
- ・ 人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・ 人工知能、データ科学の社会的課題
- ・ データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ 2進数, 16進数
- ・ 数値, 文字, 画像, 音声
- ・ 1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・ 構造化データ, 非構造化データ
- ・ 非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・ オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ データサイエンスのサイクル
- ・ 個人の不健全な状況の回避：ネット依存症、ゲーム中毒、テクノストレス等
- ・ 被害者・加害者にならないための知識、なったときの対応、誹謗中傷・炎上、ネットいじめ
- ・ 適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差、アクセシビリティ
- ・ プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報の信頼性の判断、デマ・流言、メディアリテラシー
- ・ 社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・ データ・AI活用における負の事例紹介
- ・ データ倫理：データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護
- ・ AI社会原則（公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断）
- ・ データバイアス、アルゴリズムバイアス
- ・ AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 知的財産権：著作権と産業財産権、著作権、創作とライセンス表示、国際化（ベルヌ条約）
- ・ 肖像権・パブリシティ権
- ・ 個人情報保護：個人情報（個人識別符号の説明を含む）、匿名加工情報、自己情報コントロール権、OECD プライバシーガイドライン、EU 法（保護規則）と忘れられる権利、オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報セキュリティ：機密性、完全性、可用性
- ・ 匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取
- ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し、未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	井田 泰人				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

■ ディプロマポリシーとの関連

本科目の修得は、本学が定めるディプロマ・ポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

- KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%
- KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
- 練習課題+演習課題（第10回～第15回） 40%
- グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

- 第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
- 第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
- グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

- 教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

- [ISBN]9784065379394 『教養としてのデータサイエンス 改訂第2版 (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2024)

■ 関連科目

- 各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

- 学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

- nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

- 別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会 (担当 : 山元 翔) (授業形式 : 講義および演習)

予習内容 : 授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間 : 90分

復習内容 : KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間 : 180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実 (VR)、拡張現実 (AR)
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学 (DS) と人工知能 (AI) への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会 (担当 : 山元 翔) (授業形式 : 講義および演習)

予習内容 : 第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること (毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する)。

予習時間 : 60分

復習内容 : 第2回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること (グループディスカッション用事前課題、事後課題あり)。

復習時間 : 180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI活用 (担当 : 山元 翔) (授業形式 : 講義および演習)

予習内容 : 第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間 : 60分

復習内容 : KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間 : 180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル

- ・ AI最新技術の活用例
- ・ 人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・ 人工知能、データ科学の社会的課題
- ・ データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ 2進数, 16進数
- ・ 数値, 文字, 画像, 音声
- ・ 1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・ 構造化データ, 非構造化データ
- ・ 非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・ オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ データサイエンスのサイクル
- ・ 個人の不健全な状況の回避：ネット依存症、ゲーム中毒、テクノストレス等
- ・ 被害者・加害者にならないための知識、なったときの対応、誹謗中傷・炎上、ネットいじめ
- ・ 適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差、アクセシビリティ
- ・ プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報の信頼性の判断、デマ・流言、メディアリテラシー
- ・ 社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・ データ・AI活用における負の事例紹介
- ・ データ倫理：データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護
- ・ AI社会原則 (公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)
- ・ データバイアス、アルゴリズムバイアス
- ・ AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 知的財産権：著作権と産業財産権、著作権、創作とライセンス表示、国際化 (ベルヌ条約)
- ・ 肖像権・パブリシティ権
- ・ 個人情報保護：個人情報 (個人識別符号の説明を含む)、匿名加工情報、自己情報コントロール権、OECD プライバシーガイドライン、EU 法 (保護規則) と忘れられる権利、オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報セキュリティ：機密性、完全性、可用性
- ・ 匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取
- ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し、未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Constitution in Everyday Life				
担当者 :	重村 博美				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

「憲法」と聞いて、みなさんはどのような印象をおもちですか。私たちは普段、憲法の内容を意識して生活することは、ほとんどないかと思います。しかし、その実、憲法は、国の最高法規として、一人ひとりのもつ大事な権利や自由を定め、そしてそれらを守る仕組みを定めている、私たちにはなくてはならない大切な法律です。

そこで本授業では、憲法の基本的な枠組みや考え方を理解していただけるよう、具体的事例（裁判例を含む）の検討を行います。とはいえ、本授業は、暗記中心の学習ではありません。現実に生じている様々な事象の検討を通じて、それら問題を法的にどのように解決すべきか、みなさんには、その法的解決に向けた考え方を習得していただくこととなります。

なお、メディア受講に際しては、受講前の教科書熟読が必須となります。そして受講時は、各自、必要に応じてノートをとってください。と同時に、必要に応じて、条文を参照してください。条文の参照方法は、第1回の授業で説明をしています。

ちなみに、みなさん方の受講に際しては、大学からの受講案内でも示されているように、予め一定の期間を設定して、受講確認がなされる予定です。レポート作成・提出においても、メディア受講は前提（必須）条件となります（単位取得に際しては、10回以上：10回を含む、受講をしていることが必要です。）。加えて、話者の話の内容が判別可能な速度で視聴してください。詳細は、各担当者の案内に従ってください。各自、受講計画を立て、自覚的に、受講いただくことを、切に希望しております。

* この授業はコンテンツ作成者重村が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

受講生は、この授業を受講することにより、①日本国憲法の基本的人権ならびに統治機構の概要を説明し、②憲法問題に対して自身の見解を示すことができるようになります。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー（問いながら学ぶ「学問」習慣を身に付け、専門領域における知識・技能を習得し、それらに裏打ちされた探究心と社会貢献への使命感に目覚めていること）の達成に寄与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題（全3回） 60%

学期末試験（レポート課題） 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784641228658 『目で見える憲法〔第6版〕』（初宿 正典, 有斐閣 : 2024)

■ 参考文献

[ISBN]9784842010885 『判例で学ぶ日本国憲法[第三版]』（西村裕三編, 有信堂高文社 : 2024)

[ISBN]9784865281132 『立憲主義について 成立過程と現代(放送大学叢書)』（佐藤 幸治, 左右社 : 2015)

- [ISBN]9784000616072 『憲法 第八版』(芦部 信喜, 岩波書店: 2023)
[ISBN]9784641227613 『憲法学読本 第3版』(安西 文雄, 有斐閣: 2018)
[ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)
[ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

■ 関連科目

「現代社会と法」など

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

18号館南棟 shigemura@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日 2 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 概要 憲法とはなにか(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

法律の学習を始めるために必要となる法学・憲法の基礎的事項を学ぶ

セクション1 法とは何か セクション概要 法とは何かについて学ぶ

セクション2 憲法とは何か セクション概要 憲法とは何かについて学ぶ

セクション3 日本国憲法概説 セクション概要 憲法制定過程と基本原則を学ぶ

第2回 立法権と行政権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

三権分立のうち、立法権と行政権を学ぶ

セクション1 三権分立とは? セクション概要 三権分立の概説を学ぶ

セクション2 日本の統治機構・立法権 セクション概要 国会の組織と役割を学ぶ

セクション3 日本の統治機構・行政権 セクション概要 内閣の組織と役割を学ぶ

第3回 司法権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 三権分立のうち、司法権について学ぶ

セクション1 司法権とは? セクション概要 司法権の範囲と限界について学ぶ

セクション2 裁判所組織について セクション概要 裁判所組織と審級について学ぶ

セクション3 裁判官 セクション概要 裁判官の身分保障について学ぶ

第4回 司法審査権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 司法審査権について学ぶ

セクション1 司法審査権の目的と方法 セクション概要 司法審査権の目的と方法について学ぶ

セクション2 違憲審査基準 セクション概要 違憲審査基準について学ぶ

セクション3 司法積極主義・消極主義 セクション概要 司法積極主義・消極主義について学ぶ

第5回 基本的人権総論(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 基本的人権の総論部分を学ぶ

セクション1 人権の歴史 セクション概要 人権が確立していった過程を学ぶ

セクション2 人権の分類 セクション概要 日本国憲法の人権規定を概括的に学ぶ

セクション3 人権の限界 セクション概要 基本的人権の限界について学ぶ

第6回 幸福追求権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 幸福追求権を軸に主張される権利や自由について学ぶ

セクション1 幸福追求権とは？ セクション概要 幸福追求権の概説を学ぶ

セクション2 プライバシーの権利 セクション概要 プライバシーの権利について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 プライバシーの権利の判例から学ぶ

第7回 法の下での平等（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が意味する平等とは何かを学ぶ

セクション1 憲法の平等保障規定 セクション概要 日本国憲法が規定する平等規定について学ぶ

セクション2 平等とは？ セクション概要 憲法が示す「平等」の意味について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 平等権に関する基本事例から学ぶ

第8回 信教の自由・政教分離（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

概要 信教の自由が保障する範囲と政教分離について学ぶ

セクション1 信教の自由とは？ セクション概要 信教の自由が規定された背景を学ぶ

セクション2 政教分離 セクション概要 政教分離原則について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 政教分離の基本事例から学ぶ

第9回 表現の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 表現の自由がなぜ「優越的地位」にあるといわれるのか学ぶ

セクション1 表現の自由とは？ セクション概要 表現の自由の優越的地位の原則について学ぶ

セクション2 マス・メディアの取材・報道の自由 セクション概要 マス・メディアの取材・報道の自由について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 取材・報道の自由の基本事例から学ぶ

第10回 学問の自由・教育を受ける権利（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 大学における「学問」とはどういうものか学ぶ

セクション1 学問の自由とは？ セクション概要 学問の自由の保障の範囲と限界を学ぶ

セクション2 大学の自治 セクション概要 大学の自治について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 学問の自由の基本判例から学ぶ

第11回 経済活動の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 私有財産制度について憲法から学ぶ

セクション1 経済活動の自由とは？ セクション概要 経済活動の自由について内容を学ぶ

セクション2 財産権の保障 セクション概要 財産権の保障について学ぶ
セクション3 判例をみる セクション概要 財産権の保障の基本事例から学ぶ

第12回 人身の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 刑事疑義者・被告人の権利について学ぶ

セクション1 罪刑法定主義とは？ セクション概要 罪刑法定主義について学ぶ

セクション2 人身の自由 セクション概要 人身の自由の内容について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 人身の自由の基本事例から学ぶ

第13回 生存権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」とは何かを学ぶ

セクション1 生存権とは？ セクション概要 生存権の法的性格について学ぶ

セクション2 日本の社会保障制度 セクション概要 社会保障制度の種類と内容を概括的に学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 生存権の基本事例から学ぶ

第14回 労働基本権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 労働三権について学ぶ。ここでは特に、公務員の労働基本権について学ぶ

セクション1 勤労の権利とは？ セクション概要 労働三権について学ぶ

セクション2 公務員の労働基本権 セクション概要 公務員の労働基本権について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 公務員の労働基本権の基本事例から学ぶ

第15回 参政権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 選挙の基本原則について学ぶ

セクション1 参政権とは？ セクション概要 参政権の概要について学ぶ

セクション2 選挙制度の基本原則 セクション概要 選挙の5つの基本原則を学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 基本原則に関する基本事例から学ぶ

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Constitution in Everyday Life				
担当者 :	重村 博美				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

「憲法」と聞いて、みなさんはどのような印象をおもちですか。私たちは普段、憲法の内容を意識して生活することは、ほとんどないかと思えます。しかし、その実、憲法は、国の最高法規として、一人ひとりのもつ大事な権利や自由を定め、そしてそれらを守る仕組みを定めている、私たちにはなくてはならない大切な法律です。

そこで本授業では、憲法の基本的な枠組みや考え方を理解していただけるよう、具体的事例（裁判例を含む）の検討を行います。とはいえ、本授業は、暗記中心の学習ではありません。現実に生じている様々な事象の検討を通じて、それら問題を法的にどのように解決すべきか、みなさんには、その法的解決に向けた考え方を習得していただくこととなります。

なお、メディア受講に際しては、受講前の教科書熟読が必須となります。そして受講時は、各自、必要に応じてノートをとってください。と同時に、必要に応じて、条文を参照してください。条文の参照方法は、第1回の授業で説明をしています。

ちなみに、みなさん方の受講に際しては、大学からの受講案内でも示されているように、予め一定の期間を設定して、受講確認がなされる予定です。レポート作成・提出においても、メディア受講は前提（必須）条件となります（単位取得に際しては、10回以上：10回を含む、受講をしていることが必要です。）。加えて、話者の話の内容が判別可能な速度で視聴してください。詳細は、各担当者の案内に従ってください。各自、受講計画を立て、自覚的に、受講いただくことを、切に希望しております。

* この授業はコンテンツ作成者重村が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

受講生は、この授業を受講することにより、①日本国憲法の基本的人権ならびに統治機構の概要を説明し、②憲法問題に対して自身の見解を示すことができるようになります。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー（問いながら学ぶ「学問」習慣を身に付け、専門領域における知識・技能を習得し、それらに裏打ちされた探究心と社会貢献への使命感に目覚めていること）の達成に寄与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題（全3回） 60%

学期末試験（レポート課題） 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784641228658 『目で見える憲法〔第6版〕』（初宿 正典, 有斐閣 : 2024)

■ 参考文献

[ISBN]9784842010885 『判例で学ぶ日本国憲法[第三版]』（西村裕三編, 有信堂高文社 : 2024)

[ISBN]9784865281132 『立憲主義について 成立過程と現代(放送大学叢書)』（佐藤 幸治, 左右社 : 2015)

- [ISBN]9784000616072 『憲法 第八版』(芦部 信喜, 岩波書店: 2023)
[ISBN]9784641227613 『憲法学読本 第3版』(安西 文雄, 有斐閣: 2018)
[ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)
[ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

■ 関連科目

「現代社会と法」など

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

18号館南棟 shigemura@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日 2 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 概要 憲法とはなにか(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

法律の学習を始めるために必要となる法学・憲法の基礎的事項を学ぶ

セクション1 法とは何か セクション概要 法とは何かについて学ぶ

セクション2 憲法とは何か セクション概要 憲法とは何かについて学ぶ

セクション3 日本国憲法概説 セクション概要 憲法制定過程と基本原則を学ぶ

第2回 立法権と行政権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

三権分立のうち、立法権と行政権を学ぶ

セクション1 三権分立とは? セクション概要 三権分立の概説を学ぶ

セクション2 日本の統治機構・立法権 セクション概要 国会の組織と役割を学ぶ

セクション3 日本の統治機構・行政権 セクション概要 内閣の組織と役割を学ぶ

第3回 司法権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 三権分立のうち、司法権について学ぶ

セクション1 司法権とは? セクション概要 司法権の範囲と限界について学ぶ

セクション2 裁判所組織について セクション概要 裁判所組織と審級について学ぶ

セクション3 裁判官 セクション概要 裁判官の身分保障について学ぶ

第4回 司法審査権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 司法審査権について学ぶ

セクション1 司法審査権の目的と方法 セクション概要 司法審査権の目的と方法について学ぶ

セクション2 違憲審査基準 セクション概要 違憲審査基準について学ぶ

セクション3 司法積極主義・消極主義 セクション概要 司法積極主義・消極主義について学ぶ

第5回 基本的人権総論(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 基本的人権の総論部分を学ぶ

セクション1 人権の歴史 セクション概要 人権が確立していった過程を学ぶ

セクション2 人権の分類 セクション概要 日本国憲法の人権規定を概括的に学ぶ

セクション3 人権の限界 セクション概要 基本的人権の限界について学ぶ

第6回 幸福追求権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 幸福追求権を軸に主張される権利や自由について学ぶ

セクション1 幸福追求権とは？ セクション概要 幸福追求権の概説を学ぶ

セクション2 プライバシーの権利 セクション概要 プライバシーの権利について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 プライバシーの権利の判例から学ぶ

第7回 法の下での平等（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が意味する平等とは何かを学ぶ

セクション1 憲法の平等保障規定 セクション概要 日本国憲法が規定する平等規定について学ぶ

セクション2 平等とは？ セクション概要 憲法が示す「平等」の意味について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 平等権に関する基本事例から学ぶ

第8回 信教の自由・政教分離（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

概要 信教の自由が保障する範囲と政教分離について学ぶ

セクション1 信教の自由とは？ セクション概要 信教の自由が規定された背景を学ぶ

セクション2 政教分離 セクション概要 政教分離原則について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 政教分離の基本事例から学ぶ

第9回 表現の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 表現の自由がなぜ「優越的地位」にあるといわれるのか学ぶ

セクション1 表現の自由とは？ セクション概要 表現の自由の優越的地位の原則について学ぶ

セクション2 マス・メディアの取材・報道の自由 セクション概要 マス・メディアの取材・報道の自由について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 取材・報道の自由の基本事例から学ぶ

第10回 学問の自由・教育を受ける権利（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 大学における「学問」とはどういうものか学ぶ

セクション1 学問の自由とは？ セクション概要 学問の自由の保障の範囲と限界を学ぶ

セクション2 大学の自治 セクション概要 大学の自治について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 学問の自由の基本判例から学ぶ

第11回 経済活動の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 私有財産制度について憲法から学ぶ

セクション1 経済活動の自由とは？ セクション概要 経済活動の自由について内容を学ぶ

セクション2 財産権の保障 セクション概要 財産権の保障について学ぶ
セクション3 判例をみる セクション概要 財産権の保障の基本事例から学ぶ

第12回 人身の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 刑事疑義者・被告人の権利について学ぶ

セクション1 罪刑法定主義とは？ セクション概要 罪刑法定主義について学ぶ

セクション2 人身の自由 セクション概要 人身の自由の内容について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 人身の自由の基本事例から学ぶ

第13回 生存権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」とは何かを学ぶ

セクション1 生存権とは？ セクション概要 生存権の法的性格について学ぶ

セクション2 日本の社会保障制度 セクション概要 社会保障制度の種類と内容を概括的に学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 生存権の基本事例から学ぶ

第14回 労働基本権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 労働三権について学ぶ。ここでは特に、公務員の労働基本権について学ぶ

セクション1 勤労の権利とは？ セクション概要 労働三権について学ぶ

セクション2 公務員の労働基本権 セクション概要 公務員の労働基本権について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 公務員の労働基本権の基本事例から学ぶ

第15回 参政権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 選挙の基本原則について学ぶ

セクション1 参政権とは？ セクション概要 参政権の概要について学ぶ

セクション2 選挙制度の基本原則 セクション概要 選挙の5つの基本原則を学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 基本原則に関する基本事例から学ぶ

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Constitution in Everyday Life				
担当者 :	重村 博美				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

「憲法」と聞いて、みなさんはどのような印象をおもちですか。私たちは普段、憲法の内容を意識して生活することは、ほとんどないかと思えます。しかし、その実、憲法は、国の最高法規として、一人ひとりのもつ大事な権利や自由を定め、そしてそれらを守る仕組みを定めている、私たちにはなくてはならない大切な法律です。

そこで本授業では、憲法の基本的な枠組みや考え方を理解していただけるよう、具体的事例（裁判例を含む）の検討を行います。とはいえ、本授業は、暗記中心の学習ではありません。現実に生じている様々な事象の検討を通じて、それら問題を法的にどのように解決すべきか、みなさんには、その法的解決に向けた考え方を習得していただくこととなります。

なお、メディア受講に際しては、受講前の教科書熟読が必須となります。そして受講時は、各自、必要に応じてノートをとってください。と同時に、必要に応じて、条文を参照してください。条文の参照方法は、第1回の授業で説明をしています。

ちなみに、みなさん方の受講に際しては、大学からの受講案内でも示されているように、予め一定の期間を設定して、受講確認がなされる予定です。レポート作成・提出においても、メディア受講は前提（必須）条件となります（単位取得に際しては、10回以上：10回を含む、受講をしていることが必要です。）。加えて、話者の話の内容が判別可能な速度で視聴してください。詳細は、各担当者の案内に従ってください。各自、受講計画を立て、自覚的に、受講いただくことを、切に希望しております。

* この授業はコンテンツ作成者重村が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

受講生は、この授業を受講することにより、①日本国憲法の基本的人権ならびに統治機構の概要を説明し、②憲法問題に対して自身の見解を示すことができるようになります。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー（問いながら学ぶ「学問」習慣を身に付け、専門領域における知識・技能を習得し、それらに裏打ちされた探究心と社会貢献への使命感に目覚めていること）の達成に寄与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題（全3回） 60%

学期末試験（レポート課題） 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784641228658 『目で見える憲法〔第6版〕』（初宿 正典, 有斐閣 : 2024)

■ 参考文献

[ISBN]9784842010885 『判例で学ぶ日本国憲法[第三版]』（西村裕三編, 有信堂高文社 : 2024)

[ISBN]9784865281132 『立憲主義について 成立過程と現代(放送大学叢書)』（佐藤 幸治, 左右社 : 2015)

- [ISBN]9784000616072 『憲法 第八版』(芦部 信喜, 岩波書店: 2023)
[ISBN]9784641227613 『憲法学読本 第3版』(安西 文雄, 有斐閣: 2018)
[ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)
[ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

■ 関連科目

「現代社会と法」など

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

18号館南棟 shigemura@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日 2 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 概要 憲法とはなにか(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

法律の学習を始めるために必要となる法学・憲法の基礎的事項を学ぶ

セクション1 法とは何か セクション概要 法とは何かについて学ぶ

セクション2 憲法とは何か セクション概要 憲法とは何かについて学ぶ

セクション3 日本国憲法概説 セクション概要 憲法制定過程と基本原則を学ぶ

第2回 立法権と行政権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

三権分立のうち、立法権と行政権を学ぶ

セクション1 三権分立とは? セクション概要 三権分立の概説を学ぶ

セクション2 日本の統治機構・立法権 セクション概要 国会の組織と役割を学ぶ

セクション3 日本の統治機構・行政権 セクション概要 内閣の組織と役割を学ぶ

第3回 司法権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 三権分立のうち、司法権について学ぶ

セクション1 司法権とは? セクション概要 司法権の範囲と限界について学ぶ

セクション2 裁判所組織について セクション概要 裁判所組織と審級について学ぶ

セクション3 裁判官 セクション概要 裁判官の身分保障について学ぶ

第4回 司法審査権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 司法審査権について学ぶ

セクション1 司法審査権の目的と方法 セクション概要 司法審査権の目的と方法について学ぶ

セクション2 違憲審査基準 セクション概要 違憲審査基準について学ぶ

セクション3 司法積極主義・消極主義 セクション概要 司法積極主義・消極主義について学ぶ

第5回 基本的人権総論(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 基本的人権の総論部分を学ぶ

セクション1 人権の歴史 セクション概要 人権が確立していった過程を学ぶ

セクション2 人権の分類 セクション概要 日本国憲法の人権規定を概括的に学ぶ

セクション3 人権の限界 セクション概要 基本的人権の限界について学ぶ

第6回 幸福追求権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 幸福追求権を軸に主張される権利や自由について学ぶ

セクション1 幸福追求権とは？ セクション概要 幸福追求権の概説を学ぶ

セクション2 プライバシーの権利 セクション概要 プライバシーの権利について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 プライバシーの権利の判例から学ぶ

第7回 法の下での平等（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が意味する平等とは何かを学ぶ

セクション1 憲法の平等保障規定 セクション概要 日本国憲法が規定する平等規定について学ぶ

セクション2 平等とは？ セクション概要 憲法が示す「平等」の意味について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 平等権に関する基本事例から学ぶ

第8回 信教の自由・政教分離（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

概要 信教の自由が保障する範囲と政教分離について学ぶ

セクション1 信教の自由とは？ セクション概要 信教の自由が規定された背景を学ぶ

セクション2 政教分離 セクション概要 政教分離原則について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 政教分離の基本事例から学ぶ

第9回 表現の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 表現の自由がなぜ「優越的地位」にあるといわれるのか学ぶ

セクション1 表現の自由とは？ セクション概要 表現の自由の優越的地位の原則について学ぶ

セクション2 マス・メディアの取材・報道の自由 セクション概要 マス・メディアの取材・報道の自由について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 取材・報道の自由の基本事例から学ぶ

第10回 学問の自由・教育を受ける権利（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 大学における「学問」とはどういうものか学ぶ

セクション1 学問の自由とは？ セクション概要 学問の自由の保障の範囲と限界を学ぶ

セクション2 大学の自治 セクション概要 大学の自治について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 学問の自由の基本判例から学ぶ

第11回 経済活動の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 私有財産制度について憲法から学ぶ

セクション1 経済活動の自由とは？ セクション概要 経済活動の自由について内容を学ぶ

セクション2 財産権の保障 セクション概要 財産権の保障について学ぶ
セクション3 判例をみる セクション概要 財産権の保障の基本事例から学ぶ

第12回 人身の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 刑事疑義者・被告人の権利について学ぶ

セクション1 罪刑法定主義とは？ セクション概要 罪刑法定主義について学ぶ

セクション2 人身の自由 セクション概要 人身の自由の内容について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 人身の自由の基本事例から学ぶ

第13回 生存権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」とは何かを学ぶ

セクション1 生存権とは？ セクション概要 生存権の法的性格について学ぶ

セクション2 日本の社会保障制度 セクション概要 社会保障制度の種類と内容を概括的に学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 生存権の基本事例から学ぶ

第14回 労働基本権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 労働三権について学ぶ。ここでは特に、公務員の労働基本権について学ぶ

セクション1 勤労の権利とは？ セクション概要 労働三権について学ぶ

セクション2 公務員の労働基本権 セクション概要 公務員の労働基本権について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 公務員の労働基本権の基本事例から学ぶ

第15回 参政権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 選挙の基本原則について学ぶ

セクション1 参政権とは？ セクション概要 参政権の概要について学ぶ

セクション2 選挙制度の基本原則 セクション概要 選挙の5つの基本原則を学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 基本原則に関する基本事例から学ぶ

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Constitution in Everyday Life				
担当者 :	重村 博美				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

「憲法」と聞いて、みなさんはどのような印象をおもちですか。私たちは普段、憲法の内容を意識して生活することは、ほとんどないかと思います。しかし、その実、憲法は、国の最高法規として、一人ひとりのもつ大事な権利や自由を定め、そしてそれらを守る仕組みを定めている、私たちにはなくてはならない大切な法律です。

そこで本授業では、憲法の基本的な枠組みや考え方を理解していただけるよう、具体的事例（裁判例を含む）の検討を行います。とはいえ、本授業は、暗記中心の学習ではありません。現実に生じている様々な事象の検討を通じて、それら問題を法的にどのように解決すべきか、みなさんには、その法的解決に向けた考え方を習得していただくこととなります。

なお、メディア受講に際しては、受講前の教科書熟読が必須となります。そして受講時は、各自、必要に応じてノートをとってください。と同時に、必要に応じて、条文を参照してください。条文の参照方法は、第1回の授業で説明をしています。

ちなみに、みなさん方の受講に際しては、大学からの受講案内でも示されているように、予め一定の期間を設定して、受講確認がなされる予定です。レポート作成・提出においても、メディア受講は前提（必須）条件となります（単位取得に際しては、10回以上：10回を含む、受講をしていることが必要です。）。加えて、話者の話の内容が判別可能な速度で視聴してください。詳細は、各担当者の案内に従ってください。各自、受講計画を立て、自覚的に、受講いただくことを、切に希望しております。

* この授業はコンテンツ作成者重村が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

受講生は、この授業を受講することにより、①日本国憲法の基本的人権ならびに統治機構の概要を説明し、②憲法問題に対して自身の見解を示すことができるようになります。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー（問いながら学ぶ「学問」習慣を身に付け、専門領域における知識・技能を習得し、それらに裏打ちされた探究心と社会貢献への使命感に目覚めていること）の達成に寄与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題（全3回） 60%

学期末試験（レポート課題） 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784641228658 『目で見える憲法〔第6版〕』（初宿 正典, 有斐閣 : 2024)

■ 参考文献

[ISBN]9784842010885 『判例で学ぶ日本国憲法[第三版]』（西村裕三編, 有信堂高文社 : 2024)

[ISBN]9784865281132 『立憲主義について 成立過程と現代(放送大学叢書)』（佐藤 幸治, 左右社 : 2015)

- [ISBN]9784000616072 『憲法 第八版』(芦部 信喜, 岩波書店: 2023)
[ISBN]9784641227613 『憲法学読本 第3版』(安西 文雄, 有斐閣: 2018)
[ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)
[ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

■ 関連科目

「現代社会と法」など

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

18号館南棟 shigemura@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日 2 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 概要 憲法とはなにか(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

法律の学習を始めるために必要となる法学・憲法の基礎的事項を学ぶ

セクション1 法とは何か セクション概要 法とは何かについて学ぶ

セクション2 憲法とは何か セクション概要 憲法とは何かについて学ぶ

セクション3 日本国憲法概説 セクション概要 憲法制定過程と基本原則を学ぶ

第2回 立法権と行政権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

三権分立のうち、立法権と行政権を学ぶ

セクション1 三権分立とは? セクション概要 三権分立の概説を学ぶ

セクション2 日本の統治機構・立法権 セクション概要 国会の組織と役割を学ぶ

セクション3 日本の統治機構・行政権 セクション概要 内閣の組織と役割を学ぶ

第3回 司法権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 三権分立のうち、司法権について学ぶ

セクション1 司法権とは? セクション概要 司法権の範囲と限界について学ぶ

セクション2 裁判所組織について セクション概要 裁判所組織と審級について学ぶ

セクション3 裁判官 セクション概要 裁判官の身分保障について学ぶ

第4回 司法審査権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 司法審査権について学ぶ

セクション1 司法審査権の目的と方法 セクション概要 司法審査権の目的と方法について学ぶ

セクション2 違憲審査基準 セクション概要 違憲審査基準について学ぶ

セクション3 司法積極主義・消極主義 セクション概要 司法積極主義・消極主義について学ぶ

第5回 基本的人権総論(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 基本的人権の総論部分を学ぶ

セクション1 人権の歴史 セクション概要 人権が確立していった過程を学ぶ

セクション2 人権の分類 セクション概要 日本国憲法の人権規定を概括的に学ぶ

セクション3 人権の限界 セクション概要 基本的人権の限界について学ぶ

第6回 幸福追求権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 幸福追求権を軸に主張される権利や自由について学ぶ

セクション1 幸福追求権とは？ セクション概要 幸福追求権の概説を学ぶ

セクション2 プライバシーの権利 セクション概要 プライバシーの権利について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 プライバシーの権利の判例から学ぶ

第7回 法の下での平等（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が意味する平等とは何かを学ぶ

セクション1 憲法の平等保障規定 セクション概要 日本国憲法が規定する平等規定について学ぶ

セクション2 平等とは？ セクション概要 憲法が示す「平等」の意味について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 平等権に関する基本事例から学ぶ

第8回 信教の自由・政教分離（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

概要 信教の自由が保障する範囲と政教分離について学ぶ

セクション1 信教の自由とは？ セクション概要 信教の自由が規定された背景を学ぶ

セクション2 政教分離 セクション概要 政教分離原則について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 政教分離の基本事例から学ぶ

第9回 表現の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 表現の自由がなぜ「優越的地位」にあるといわれるのか学ぶ

セクション1 表現の自由とは？ セクション概要 表現の自由の優越的地位の原則について学ぶ

セクション2 マス・メディアの取材・報道の自由 セクション概要 マス・メディアの取材・報道の自由について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 取材・報道の自由の基本事例から学ぶ

第10回 学問の自由・教育を受ける権利（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 大学における「学問」とはどういうものか学ぶ

セクション1 学問の自由とは？ セクション概要 学問の自由の保障の範囲と限界を学ぶ

セクション2 大学の自治 セクション概要 大学の自治について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 学問の自由の基本判例から学ぶ

第11回 経済活動の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 私有財産制度について憲法から学ぶ

セクション1 経済活動の自由とは？ セクション概要 経済活動の自由について内容を学ぶ

セクション2 財産権の保障 セクション概要 財産権の保障について学ぶ
セクション3 判例をみる セクション概要 財産権の保障の基本事例から学ぶ

第12回 人身の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 刑事疑義者・被告人の権利について学ぶ

セクション1 罪刑法定主義とは？ セクション概要 罪刑法定主義について学ぶ

セクション2 人身の自由 セクション概要 人身の自由の内容について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 人身の自由の基本事例から学ぶ

第13回 生存権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」とは何かを学ぶ

セクション1 生存権とは？ セクション概要 生存権の法的性格について学ぶ

セクション2 日本の社会保障制度 セクション概要 社会保障制度の種類と内容を概括的に学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 生存権の基本事例から学ぶ

第14回 労働基本権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 労働三権について学ぶ。ここでは特に、公務員の労働基本権について学ぶ

セクション1 勤労の権利とは？ セクション概要 労働三権について学ぶ

セクション2 公務員の労働基本権 セクション概要 公務員の労働基本権について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 公務員の労働基本権の基本事例から学ぶ

第15回 参政権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 選挙の基本原則について学ぶ

セクション1 参政権とは？ セクション概要 参政権の概要について学ぶ

セクション2 選挙制度の基本原則 セクション概要 選挙の5つの基本原則を学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 基本原則に関する基本事例から学ぶ

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	心理と行動【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Psychology and Action				
担当者 :	小原 宏基				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本講義は、15回の授業のうち、心理系専攻の専任教員12名が1回ないしは2回の講義を担当して作成した動画を教材とします。それぞれの専門領域から、心理学の面白さを伝えます。

各回は、3つ程度のセクションに分かれており、それぞれのセクションについて簡単な確認テストがあります。また、中間期に2回のレポート課題があり、すべての回を視聴した後に、最終レポートの提出が課されています。

オンデマンドですので、配信された後は最終日までの間に、いつでも観ることは可能ですが、配信から2週間を期日に出席を取ります。本授業のルールとして、欠席5回以上で単位不認定としますので、週1回のペースで1回ずつ学びを進めることを強くお勧めします。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

心理学における多様な領域での研究知見について、理解すること。

それらの知見によって、自分自身の経験や社会でのできごとを新たな視点で眺めるようになること。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

第1回レポート課題 30%

第2回レポート課題 30%

第3回レポート課題 30%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

ClassroomまたはUNIPAを通して、フィードバックをします。

■ 教科書

特に指定しない。

■ 参考文献

[ISBN]9784641221451 『はじめて出会う心理学〔第3版〕(有斐閣アルマ)』(寿一, 長谷川, 有斐閣 : 2020)

[ISBN]9784641220034 『臨床心理学入門 -- 多様なアプローチを越境する(有斐閣アルマ)』(岩壁 茂, 有斐閣 : 2013)

[ISBN]9784781912431 『学習の心理—行動のメカニズムを探る(コンパクト新心理学ライブラリ)』(正子, 実森, サイエンス社 : 2019)

[ISBN]9784762830570 『発達心理学15講』(高橋 一公, 北大路書房 : 2019)

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

KICSルールに従う。

■ 研究室・メールアドレス

総合社会学部6階H研究室
shiozaki@socio.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜日5限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 心理学とは (担当:堀田 美保)

予習内容: シラバスを見ておく。

予習時間: 30分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

心と行動に関する学問である, 心理学とは何をどのように研究するのかについて, 概要を説明します。

第2回 感覚・知覚・注意 (担当:遠藤 信貴)

予習内容: 感覚・知覚心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの心と外界をつなぐ感覚, 外界を捉える知覚の仕組みについて概説します。

第3回 記憶 (担当:遠藤 信貴)

予習内容: 認知心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの日常的な行動を根底で支える記憶について, その種類や役割について概説します。

第4回 学習 (担当:漆原 宏次)

予習内容: 学習心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの行動がどのように変わるのか, なぜ変わるのか。経験による行動の変化=学習について概説します。

第5回 感情 (担当:大対 香奈子)

予習内容: 感情心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

感情が心理学でどのように研究されてきたのか, また感情の働きやそのコントロールの方法について概説します。

第6回 神経・生理 (担当:佐藤 望)

予習内容: 神経・生理心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

こころの働きをつかさどる仕組みについて, 生物学的観点から解説します。

第7回 遺伝・進化 (担当:上野 将敬)

予習内容: 遺伝・進化心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

人の生物学的側面に注目し, 人や人以外の動物の行動における遺伝子や進化の影響について紹介します。

第8回 対人 (担当:堀田 美保)

予習内容: 対人心理学について調べておく.

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく.

復習時間: 60分

人と人の中で起こっているやりとり (相互作用) うち, 対人行動についての心理を紹介します.

第9回 集団 (担当:中川 知宏)

予習内容: 集団心理学について調べておく.

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく.

復習時間: 60分

一人である時と集団にいる時では, 私たちの行動が変化します. これに関する社会心理学的研究を紹介します.

第10回 生涯発達1 (担当:奥野 洋子)

予習内容: 発達心理学について調べておく.

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく.

復習時間: 60分

生涯発達の概要と乳児期から児童期の発達の特徴を説明します.

第11回 生涯発達2 (担当:塩崎 麻里子)

予習内容: 生涯発達心理学について調べておく.

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく.

復習時間: 60分

青年期から老年期のこころの発達について紹介します.

第12回 パーソナリティ (担当:小泉 隆平)

予習内容: パーソナリティ心理学について調べておく.

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく.

復習時間: 60分

パーソナリティ・知能がどのように理解されてきたか, その理解がどのように役立っているか説明します.

第13回 健康 (担当:直井 愛里)

予習内容: 健康心理学について調べておく.

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく.

復習時間: 60分

健康行動に関連する要因を説明し, 生活習慣と心身の健康について紹介します.

第14回 臨床 (担当:本岡 寛子)

予習内容: 臨床心理学について調べておく.

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく.

復習時間: 60分

こころの問題の理解と解決を助けるためのアセスメントとアプローチについて紹介します.

第15回 産業 (担当:佐藤 望)

予習内容: 産業心理学について調べておく.

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく.

復習時間: 60分

心理学で得られている知見を産業場面に応用する例について紹介します.

最終レポート

15回の授業から, 数問を出題するので, 選択して解答のこと.

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	暮らしのなかの起業入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introductory Course on Entrepreneurship				
担当者 :	文能 照之				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（B）に付随的に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)に主体的に関与				

■ 授業概要

インターネットが普及したことにより、私たちの生活は利便性が一層高まり、豊かさを実感できるものとなっています。大学教育のなかにメディア授業が取り入れられたことは、学生の皆さんの自由度を高めているのではないのでしょうか。インターネットは、「時間」と「場所」の制約を取り除いてくれるため、自由な時間を有効に活用することができる時代になっているのです。また、特技や専門的知識を持った多くの方と繋がることもインターネットはいとも容易に実現してくれます。そのため、アイディア、経験や趣味を活かして起業に取り組む方も増えています。

本授業は、「起業」を特別なものとして取り扱うのではなく、誰もがチャレンジできるものとして位置付け、その基本的な事項を学修することを目的とします。企業に勤務することになった場合でも、常に新しい製品・サービスを創造することが求められる今、起業の仕組みや留意点について理解しておくことは、新事業創出の任務を担う際に有効となります。その意味で、起業は今後の生活を豊かなものとするための選択の幅を広げてくれるのです。授業では、起業についての知識とともに、事業活動を通して自らの夢を実現している起業家の実践例を通して、受講者が自身のキャリアについても検討することを期待しています。

【受講に当たっての留意点】

15回すべての受講を終えなかった場合、レポートを提出しても単位は付与しません。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

受講者は、この授業を履修することによって、

- 1) 起業や新事業創出の意味と必要性
- 2) 起業や新事業創出を実現するために求められる基本的な事項
- 3) 起業家の実践例とキャリア

について学び、起業と社会・経済とのかかわりについて理解できるようになります。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー1（大学での種々の学びを通じて、「人に愛され、信頼され、尊敬される」人格へと自らを成長させ続ける自己教育力を培っていること）の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

学生間ディスカッション 20%

レポート 80%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

各回資料を配布します。

■参考文献

- [ISBN]9784502178412 『アントレプレナーシップ教科書』(松重 和美, 中央経済社 : 2016)
[ISBN]9784822259754 『起業の科学 スタートアップサイエンス』(田所 雅之, 日経BP : 2017)
[ISBN]9784478109502 『起業大全 スタートアップを科学する9つのフレームワーク』(田所 雅之, ダイヤモンド社 : 2020)
[ISBN]9784830949708 『はじめて学ぶ人のための経営学入門 [バージョン 2]』(文真堂ブックス) (信之, 片岡, 文真堂 : 2018)
[ISBN]9784502394713 『新しいビジネスをつくる』(加護野 忠男, 碩学舎 : 2021)
[ISBN]9784798167381 『ビジネスモデル・キャンパス徹底攻略ガイド 企業、チーム、個人を成功に導く「ビジネスモデル設計書」』(今津 美樹, 翔泳社 : 2020)
上記のほか必要に応じて紹介します。

■関連科目

現代社会と倫理、現代社会と法、ビジネス実務講座、国際化と異文化理解、情報処理基礎、データリテラシー入門、キャリアデザイン

■授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

東大阪キャンパス 2 1 号館 8 階・tbunno<at>bus.kindai.ac.jp、送信時には<at>を@に変換してください。

■オフィスアワー

月曜日 5 時限 (質問がある場合は、メールを通じて受け付けます)

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 授業総論 (授業形式 : 講義および演習)

予習内容 : 起業の意味や必要性について調べる。

予習時間 : 90分

復習内容 : 大学における起業家教育の目的についてまとめる。

復習時間 : 90分

【講師 : 経営学部教授 文能 照之】

- ・ 授業内容と学修方法

【外部講師 : 株式会社パースベクティブ・メディア 代表取締役 小口 日出彦氏】

- ・ 起業とは
- ・ 起業というライフスタイル

第2回 起業家マインドの重要性 (授業形式 : 講義および演習)

予習内容 : アントレプレナーシップについて調べる。

予習時間 : 90分

復習内容 : イノベーションの事例についてまとめる。

復習時間 : 90分

【外部講師 : 株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・ アントレプレナーシップ (起業家精神) とは
- ・ イノベーションとは
- ・ 起業とイノベーション

第3回 企業の役割と経営指針 (授業形式 : 講義および演習)

予習内容 : 企業の役割について調べる。

予習時間 : 90分

復習内容 : 企業のミッション・ビジョン・バリューについてまとめる。

復習時間 : 90分

【外部講師 : 株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・ 企業の社会的役割
- ・ 企業の社会的責任
- ・ ミッション、ビジョン、バリューとは

第4回 経営に必要とされる資源 (授業形式 : 講義および演習)

予習内容 : 経営に必要とされる、ヒト・モノ・カネについて調べる。

予習時間 : 90分

復習内容：経営を続けるために経営資源の活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・経営の基本とは
- ・経営資源とは

第5回 アイデアをビジネスに変える（授業形式：講義および演習）

予習内容：アイデアの出し方について調べる。

予習時間：90分

復習内容：効果的なアイデアの発想法やアイデアの膨らませ方、収束の仕方についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・ビジネスを生み出すために
- ・ビジネスアイデアの発想法
- ・オズボーンのチェックリストを活用した事例

第6回 チーム作りと評価（授業形式：講義および演習）

予習内容：経営にチーム作りが必要な理由、及びチーム作りの方法について調べる。

予習時間：90分

復習内容：メンバーの有する能力を生かすためのチーム作りの方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・サイドプロジェクトではじめる
- ・スタートアップに必要な人材
- ・解決したい課題について

第7回 事業構想（前半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事業アイデアを形にするための方法について調べる。

予習時間：90分

復習内容：ビジネスモデル・キャンパスの活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・事業アイデアを形にするビジネスモデル・キャンパスとは
- ・ビジネスモデル・キャンパスの要素を理解する【お客様にかかわる収入】

第8回 事業構想（後半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事例企業のビジネスモデルについて調べ、ビジネスモデル・キャンパスを作成する。

予習時間：90分

復習内容：授業で提示されたビジネスモデル・キャンパスをもとに、その活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・ビジネスモデル・キャンパスの要素を理解する。【活動とコスト】
- ・事例企業を参考にしてビジネスモデル・キャンパスを作成する

第9回 事業の実現①（内製）（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業内部において必要となるコミュニケーションについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：コミュニケーションを高めるための方策についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：グッドニュース情報発信塾 塾長 大谷 邦郎氏】

- ・賛同を得て、応援してもらうためのコミュニケーション
- ・事業協力者に向けたプレゼンテーション

第10回 事業の実現②（外注）（授業形式：講義および演習）

予習内容：外部企業等との関係において必要となるコミュニケーションについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：コミュニケーションを高めるための方策についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社パーシヴァル ファウンダー 川辺 友之氏】

- ・外部資源の有効活用
- ・クラウドファンディングの活用

第11回 近畿大学卒起業家体験談①（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：180株式会社 代表取締役 上仲 昌吾氏】

個性（DNA）を磨く

- ・個性を理解する
- ・個性のを見つけ方
- ・個性をデザインする

第12回 近畿大学卒起業家体験談②（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社音動 代表取締役 鳥山 郷氏】

起業というエゴイズムから社会との共創まで

- ・起業する機会と環境
- ・起業する機会と環境
- ・多様性とこれから

第13回 近畿大学卒起業家体験談③（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：事業承継の動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：錦城護謨株式会社 代表取締役社長 太田 泰造氏】

経営現場のリアル（価値創造）

- ・錦城護謨の事業内容ご紹介
- ・老舗企業が取り組む新規事業
- ・企業にとって一番大事なもの

第14回 近畿大学卒起業家体験談④（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：リノベる株式会社 代表取締役社長 山下 智弘氏、株式会社 Schoo 代表取締役社長CEO 森 健志郎氏】

- ・リノベる株式会社・・・「リノベる」の起業まで
- ・株式会社Schoo・・・起業のきっかけ・起業からこれまで
- ・起業家対談

第15回 授業総括（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの学修内容について復習する。

予習時間：90分

復習内容：社会・経済における起業の意味、必要性についてまとめる。

復習時間：90分

【講師：経営学部教授 文能 照之】

- ・起業に必要とされるマインドと基礎知識
- ・起業の目的とライフプラン
- ・起業の実現に向けて

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて行う授業

科目名 :	心理と行動【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Psychology and Action				
担当者 :	中道 希容				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本講義は、15回の授業のうち、心理系専攻の専任教員12名が1回ないしは2回の講義を担当して作成した動画を教材とします。それぞれの専門領域から、心理学の面白さを伝えます。

各回は、3つ程度のセクションに分かれており、それぞれのセクションについて簡単な確認テストがあります。また、中間期に2回のレポート課題があり、すべての回を視聴した後に、最終レポートの提出が課されています。

オンデマンドですので、配信された後は最終日までの間に、いつでも観ることは可能ですが、配信から2週間を期日に出席を取ります。本授業のルールとして、欠席5回以上で単位不認定としますので、週1回のペースで1回ずつ学びを進めることを強くお勧めします。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

心理学における多様な領域での研究知見について、理解すること。

それらの知見によって、自分自身の経験や社会でのできごとを新たな視点で眺めるようになること。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

第1回レポート課題 30%

第2回レポート課題 30%

第3回レポート課題 30%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

ClassroomまたはUNIPAを通して、フィードバックをします。

■ 教科書

特に指定しない。

■ 参考文献

[ISBN]9784641221451 『はじめて出会う心理学〔第3版〕(有斐閣アルマ)』(寿一, 長谷川, 有斐閣 : 2020)

[ISBN]9784641220034 『臨床心理学入門 -- 多様なアプローチを越境する(有斐閣アルマ)』(岩壁 茂, 有斐閣 : 2013)

[ISBN]9784781912431 『学習の心理—行動のメカニズムを探る(コンパクト新心理学ライブラリ)』(正子, 実森, サイエンス社 : 2019)

[ISBN]9784762830570 『発達心理学15講』(高橋 一公, 北大路書房 : 2019)

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

KICSルールに従う。

■ 研究室・メールアドレス

nakamichi@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

上記メールアドレス宛にご連絡ください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 心理学とは (担当: 堀田 美保)

予習内容: シラバスを見ておく。

予習時間: 30分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

心と行動に関する学問である, 心理学とは何をどのように研究するのかについて, 概要を説明します。

第2回 感覚・知覚・注意 (担当: 遠藤 信貴)

予習内容: 感覚・知覚心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの心と外界をつなぐ感覚, 外界を捉える知覚の仕組みについて概説します。

第3回 記憶 (担当: 遠藤 信貴)

予習内容: 認知心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの日常的な行動を根底で支える記憶について, その種類や役割について概説します。

第4回 学習 (担当: 漆原 宏次)

予習内容: 学習心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの行動がどのように変わるのか, なぜ変わるのか。経験による行動の変化=学習について概説します。

第5回 感情 (担当: 大対 香奈子)

予習内容: 感情心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

感情が心理学でどのように研究されてきたのか, また感情の働きやそのコントロールの方法について概説します。

第6回 神経・生理 (担当: 佐藤 望)

予習内容: 神経・生理心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

こころの働きをつかさどる仕組みについて, 生物学的観点から解説します。

第7回 遺伝・進化 (担当: 上野 将敬)

予習内容: 遺伝・進化心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

人の生物学的側面に注目し, 人や人以外の動物の行動における遺伝子や進化の影響について紹介します。

第8回 対人 (担当: 堀田 美保)

予習内容：対人心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

人と人の中で起こっているやりとり（相互作用）うち、対人行動についての心理を紹介します。

第9回 集団（担当：中川 知宏）

予習内容：集団心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

一人でいる時と集団にいる時では、私たちの行動が変化します。これに関する社会心理学的研究を紹介します。

第10回 生涯発達1（担当：奥野 洋子）

予習内容：発達心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

生涯発達の概要と乳児期から児童期の発達の特徴を説明します。

第11回 生涯発達2（担当：塩崎 麻里子）

予習内容：生涯発達心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

青年期から老年期のこころの発達について紹介します。

第12回 パーソナリティ（担当：小泉 隆平）

予習内容：パーソナリティ心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

パーソナリティ・知能がどのように理解されてきたか、その理解がどのように役立っているか説明します。

第13回 健康（担当：直井 愛里）

予習内容：健康心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

健康行動に関連する要因を説明し、生活習慣と心身の健康について紹介します。

第14回 臨床（担当：本岡 寛子）

予習内容：臨床心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

こころの問題の理解と解決を助けるためのアセスメントとアプローチについて紹介します。

第15回 産業（担当：佐藤 望）

予習内容：産業心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

心理学で得られている知見を産業場面に応用する例について紹介します。

最終レポート

15回の授業から、数問を出題するので、選択して解答のこと。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	谷口 智彦				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

■ ディプロマポリシーとの関連

本科目の修得は、本学が定めるディプロマ・ポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

- KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%
- KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
- 練習課題+演習課題（第10回～第15回） 40%
- グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

- 第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
- 第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
- グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

- 教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

- [ISBN]9784065379394 『教養としてのデータサイエンス 改訂第2版 (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2024)

■ 関連科目

- 各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

- 学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

- nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

- 別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル

- ・ AI最新技術の活用例
- ・ 人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・ 人工知能、データ科学の社会的課題
- ・ データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ 2進数, 16進数
- ・ 数値, 文字, 画像, 音声
- ・ 1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・ 構造化データ, 非構造化データ
- ・ 非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・ オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ データサイエンスのサイクル
- ・ 個人の不健全な状況の回避：ネット依存症、ゲーム中毒、テクノストレス等
- ・ 被害者・加害者にならないための知識、なったときの対応、誹謗中傷・炎上、ネットいじめ
- ・ 適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差、アクセシビリティ
- ・ プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報の信頼性の判断、デマ・流言、メディアリテラシー
- ・ 社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・ データ・AI活用における負の事例紹介
- ・ データ倫理：データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護
- ・ AI社会原則 (公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)
- ・ データバイアス、アルゴリズムバイアス
- ・ AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 知的財産権：著作権と産業財産権、著作権、創作とライセンス表示、国際化 (ベルヌ条約)
- ・ 肖像権・パブリシティ権
- ・ 個人情報保護：個人情報 (個人識別符号の説明を含む)、匿名加工情報、自己情報コントロール権、OECD プライバシーガイドライン、EU 法 (保護規則) と忘れられる権利、オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報セキュリティ：機密性、完全性、可用性
- ・ 匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取
- ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し、未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布（ヒストグラム）
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	井田 泰人				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	(通信) メディア科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

■ ディプロマポリシーとの関連

本科目の修得は、本学が定めるディプロマ・ポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

- KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%
- KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
- 練習課題+演習課題（第10回～第15回） 40%
- グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

- 第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
- 第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
- グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

- 教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

- [ISBN]9784065379394 『教養としてのデータサイエンス 改訂第2版 (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2024)

■ 関連科目

- 各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

- 学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

- nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

- 別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

- 予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

- 予習時間：90分

- 復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

- 復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

- 予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

- 予習時間：60分

- 復習内容：第2回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

- 復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

- 予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

- 予習時間：60分

- 復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

- 復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル

- ・ AI最新技術の活用例
- ・ 人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・ 人工知能、データ科学の社会的課題
- ・ データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・ 2進数, 16進数
- ・ 数値, 文字, 画像, 音声
- ・ 1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・ 構造化データ, 非構造化データ
- ・ 非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・ オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・ データサイエンスのサイクル
- ・ 個人の不健全な状況の回避: ネット依存症, ゲーム中毒, テクノストレス等
- ・ 被害者・加害者にならないための知識, なったときの対応, 誹謗中傷・炎上, ネットいじめ
- ・ 適切な対象が適切に情報を取得できること: 情報格差, アクセシビリティ
- ・ プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 情報の信頼性の判断, デマ・流言, メディアリテラシー
- ・ 社会としての危機管理: システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・ データ・AI活用における負の事例紹介
- ・ データ倫理: データのねつ造, 改ざん, 盗用, プライバシー保護
- ・ AI社会原則 (公平性, 説明責任, 透明性, 人間中心の判断)
- ・ データバイアス, アルゴリズムバイアス
- ・ AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 知的財産権: 著作権と産業財産権, 著作権, 創作とライセンス表示, 国際化 (ベルヌ条約)
- ・ 肖像権・パブリシティ権
- ・ 個人情報保護: 個人情報 (個人識別符号の説明を含む), 匿名加工情報, 自己情報コントロール権, OECD プライバシーガイドライン, EU 法 (保護規則) と忘れられる権利, オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 情報セキュリティ: 機密性, 完全性, 可用性
- ・ 匿名加工情報, 暗号化, パスワード, 悪意ある情報搾取
- ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し、未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	井田 泰人				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	(通信) メディア科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

■ ディプロマポリシーとの関連

本科目の修得は、本学が定めるディプロマ・ポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

- KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%
- KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
- 練習課題+演習課題（第10回～第15回） 40%
- グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

- 第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
- 第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
- グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

- 教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

- [ISBN]9784065379394 『教養としてのデータサイエンス 改訂第2版 (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2024)

■ 関連科目

- 各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

- 学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

- nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

- 別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会 (担当 : 山元 翔) (授業形式 : 講義および演習)

- 予習内容 : 授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

- 予習時間 : 90分

- 復習内容 : KBマップ課題を完成して提出する。

- 復習時間 : 180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実 (VR)、拡張現実 (AR)
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学 (DS) と人工知能 (AI) への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会 (担当 : 山元 翔) (授業形式 : 講義および演習)

- 予習内容 : 第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること (毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する)。

- 予習時間 : 60分

- 復習内容 : 第2回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること (グループディスカッション用事前課題、事後課題あり)。

- 復習時間 : 180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI活用 (担当 : 山元 翔) (授業形式 : 講義および演習)

- 予習内容 : 第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

- 予習時間 : 60分

- 復習内容 : KBマップ課題を完成して提出する。

- 復習時間 : 180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル

- ・ AI最新技術の活用例
- ・ 人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・ 人工知能、データ科学の社会的課題
- ・ データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ 2進数, 16進数
- ・ 数値, 文字, 画像, 音声
- ・ 1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・ 構造化データ, 非構造化データ
- ・ 非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・ オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ データサイエンスのサイクル
- ・ 個人の不健全な状況の回避：ネット依存症、ゲーム中毒、テクノストレス等
- ・ 被害者・加害者にならないための知識、なったときの対応、誹謗中傷・炎上、ネットいじめ
- ・ 適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差、アクセシビリティ
- ・ プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報の信頼性の判断、デマ・流言、メディアリテラシー
- ・ 社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・ データ・AI活用における負の事例紹介
- ・ データ倫理：データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護
- ・ AI社会原則 (公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)
- ・ データバイアス、アルゴリズムバイアス
- ・ AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 知的財産権：著作権と産業財産権、著作権、創作とライセンス表示、国際化 (ベルヌ条約)
- ・ 肖像権・パブリシティ権
- ・ 個人情報保護：個人情報 (個人識別符号の説明を含む)、匿名加工情報、自己情報コントロール権、OECD プライバシーガイドライン、EU 法 (保護規則) と忘れられる権利、オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報セキュリティ：機密性、完全性、可用性
- ・ 匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取
- ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し、未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	福田 健太郎				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	(通信) メディア科目				
備 考 :					

- 授業概要
- 授業形態
- アクティブ・ラーニングの要素
- ICTを活用したアクティブ・ラーニング
- 使用言語
- 学修到達目標
- ディプロマポリシーとの関連
- 成績評価方法および基準
- 試験・課題に対するフィードバック方法
- 教科書
- 参考文献
- 関連科目
- 授業評価アンケート実施方法
- 研究室・メールアドレス
- オフィスアワー
- 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間
- ホームページ
- 実践的な教育内容

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	福田 健太郎				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	(通信) メディア科目				
備 考 :					

- 授業概要
- 授業形態
- アクティブ・ラーニングの要素
- ICTを活用したアクティブ・ラーニング
- 使用言語
- 学修到達目標
- ディプロマポリシーとの関連
- 成績評価方法および基準
- 試験・課題に対するフィードバック方法
- 教科書
- 参考文献
- 関連科目
- 授業評価アンケート実施方法
- 研究室・メールアドレス
- オフィスアワー
- 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間
- ホームページ
- 実践的な教育内容

科目名	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名	Introduction to Data Literacy				
担当者	森本 健志				
開講学科	共通教養科目				
単 位	2単位	開講年次		開講期	前期
科目区分	共通教養科目				
備 考	電気電子通信工学科：学習・教育到達目標B3の達成に付随的に関与、 応用化学科：学修・教育目標（H）に付随的に関与、 社会環境工学科：ディプロマポリシーの(C)に主体的に関与				

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

■ ディプロマポリシーとの関連

本科目の修得は、本学が定めるディプロマ・ポリシー3の達成に關与している。

■ 成績評価方法および基準

- KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%
- KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
- 練習課題+演習課題（第10回～第15回） 40%
- グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

[ISBN]9784065379394 『教養としてのデータサイエンス 改訂第2版 (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2024)

■ 関連科目

各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間: 90分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実 (VR)、拡張現実 (AR)
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学 (DS) と人工知能 (AI) への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間: 60分

復習内容: 第2回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間: 180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI利活用 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・ AI等を活用した新しいビジネスモデル
- ・ AI最新技術の活用例
- ・ 人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・ 人工知能、データ科学の社会的課題
- ・ データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ 2進数, 16進数
- ・ 数値, 文字, 画像, 音声
- ・ 1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・ 構造化データ, 非構造化データ
- ・ 非構造化データ処理：言語処理、画像/動画処理、音声/音楽処理など
- ・ オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ データサイエンスのサイクル
- ・ 個人の不健全な状況の回避：ネット依存症、ゲーム中毒、テクノストレス等
- ・ 被害者・加害者にならないための知識、なったときの対応、誹謗中傷・炎上、ネットいじめ
- ・ 適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差、アクセシビリティ
- ・ プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報の信頼性の判断、デマ・流言、メディアリテラシー
- ・ 社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・ データ・AI活用における負の事例紹介
- ・ データ倫理：データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護
- ・ AI社会原則 (公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)
- ・ データバイアス、アルゴリズムバイアス
- ・ AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 知的財産権：著作権と産業財産権、著作権、創作とライセンス表示、国際化 (ベルヌ条約)
- ・ 肖像権・パブリシティ権
- ・ 個人情報保護：個人情報 (個人識別符号の説明を含む)、匿名加工情報、自己情報コントロール権、OECD プライバシーガイドライン、EU 法 (保護規則) と忘れられる権利、オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報セキュリティ：機密性、完全性、可用性
- ・ 匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取
- ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識（テスト課題）（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し、未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	宮原 克昇				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

■ ディプロマポリシーとの関連

本科目の修得は、本学が定めるディプロマ・ポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

- KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%
- KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
- 練習課題+演習課題（第10回～第15回） 40%
- グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

- 第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
- 第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
- グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

- 教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

- [ISBN]9784065379394 『教養としてのデータサイエンス 改訂第2版 (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2024)

■ 関連科目

- 各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

- 学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

- nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

- 別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル

- ・ AI最新技術の活用例
- ・ 人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・ 人工知能、データ科学の社会的課題
- ・ データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ 2進数, 16進数
- ・ 数値, 文字, 画像, 音声
- ・ 1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・ 構造化データ, 非構造化データ
- ・ 非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・ オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ データサイエンスのサイクル
- ・ 個人の不健全な状況の回避：ネット依存症、ゲーム中毒、テクノストレス等
- ・ 被害者・加害者にならないための知識、なったときの対応、誹謗中傷・炎上、ネットいじめ
- ・ 適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差、アクセシビリティ
- ・ プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報の信頼性の判断、デマ・流言、メディアリテラシー
- ・ 社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・ データ・AI活用における負の事例紹介
- ・ データ倫理：データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護
- ・ AI社会原則 (公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)
- ・ データバイアス、アルゴリズムバイアス
- ・ AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 知的財産権：著作権と産業財産権、著作権、創作とライセンス表示、国際化 (ベルヌ条約)
- ・ 肖像権・パブリシティ権
- ・ 個人情報保護：個人情報 (個人識別符号の説明を含む)、匿名加工情報、自己情報コントロール権、OECD プライバシーガイドライン、EU 法 (保護規則) と忘れられる権利、オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報セキュリティ：機密性、完全性、可用性
- ・ 匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取
- ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し、未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	鶴田 格				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

■ ディプロマポリシーとの関連

本科目の修得は、本学が定めるディプロマ・ポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

- KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%
- KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
- 練習課題+演習課題（第10回～第15回） 40%
- グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

- 第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
- 第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
- グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

[ISBN]9784065379394 『教養としてのデータサイエンス 改訂第2版 (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2024)

■ 関連科目

各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会 (担当 : 山元 翔) (授業形式 : 講義および演習)

予習内容 : 授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間 : 90分

復習内容 : KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間 : 180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実 (VR)、拡張現実 (AR)
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学 (DS) と人工知能 (AI) への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会 (担当 : 山元 翔) (授業形式 : 講義および演習)

予習内容 : 第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間 : 60分

復習内容 : 第2回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間 : 180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI活用 (担当 : 山元 翔) (授業形式 : 講義および演習)

予習内容 : 第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間 : 60分

復習内容 : KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間 : 180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル

- ・ AI最新技術の活用例
- ・ 人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・ 人工知能、データ科学の社会的課題
- ・ データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ 2進数, 16進数
- ・ 数値, 文字, 画像, 音声
- ・ 1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・ 構造化データ, 非構造化データ
- ・ 非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・ オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ データサイエンスのサイクル
- ・ 個人の不健全な状況の回避：ネット依存症、ゲーム中毒、テクノストレス等
- ・ 被害者・加害者にならないための知識、なったときの対応、誹謗中傷・炎上、ネットいじめ
- ・ 適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差、アクセシビリティ
- ・ プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報の信頼性の判断、デマ・流言、メディアリテラシー
- ・ 社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・ データ・AI活用における負の事例紹介
- ・ データ倫理：データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護
- ・ AI社会原則 (公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)
- ・ データバイアス、アルゴリズムバイアス
- ・ AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 知的財産権：著作権と産業財産権、著作権、創作とライセンス表示、国際化 (ベルヌ条約)
- ・ 肖像権・パブリシティ権
- ・ 個人情報保護：個人情報 (個人識別符号の説明を含む)、匿名加工情報、自己情報コントロール権、OECD プライバシーガイドライン、EU 法 (保護規則) と忘れられる権利、オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報セキュリティ：機密性、完全性、可用性
- ・ 匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取
- ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し、未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	井田 泰人				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

■ ディプロマポリシーとの関連

本科目の修得は、本学が定めるディプロマ・ポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

- KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%
- KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
- 練習課題+演習課題（第10回～第15回） 40%
- グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

- 第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
- 第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
- グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

- 教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

- [ISBN]9784065379394 『教養としてのデータサイエンス 改訂第2版 (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2024)

■ 関連科目

- 各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

- 学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

- nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

- 別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会 (担当 : 山元 翔) (授業形式 : 講義および演習)

予習内容 : 授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間 : 90分

復習内容 : KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間 : 180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実 (VR)、拡張現実 (AR)
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学 (DS) と人工知能 (AI) への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会 (担当 : 山元 翔) (授業形式 : 講義および演習)

予習内容 : 第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること (毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する)。

予習時間 : 60分

復習内容 : 第2回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること (グループディスカッション用事前課題、事後課題あり)。

復習時間 : 180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI活用 (担当 : 山元 翔) (授業形式 : 講義および演習)

予習内容 : 第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間 : 60分

復習内容 : KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間 : 180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル

- ・ AI最新技術の活用例
- ・ 人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・ 人工知能、データ科学の社会的課題
- ・ データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ 2進数, 16進数
- ・ 数値, 文字, 画像, 音声
- ・ 1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・ 構造化データ, 非構造化データ
- ・ 非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・ オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ データサイエンスのサイクル
- ・ 個人の不健全な状況の回避：ネット依存症、ゲーム中毒、テクノストレス等
- ・ 被害者・加害者にならないための知識、なったときの対応、誹謗中傷・炎上、ネットいじめ
- ・ 適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差、アクセシビリティ
- ・ プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報の信頼性の判断、デマ・流言、メディアリテラシー
- ・ 社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・ データ・AI活用における負の事例紹介
- ・ データ倫理：データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護
- ・ AI社会原則 (公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)
- ・ データバイアス、アルゴリズムバイアス
- ・ AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 知的財産権：著作権と産業財産権、著作権、創作とライセンス表示、国際化 (ベルヌ条約)
- ・ 肖像権・パブリシティ権
- ・ 個人情報保護：個人情報 (個人識別符号の説明を含む)、匿名加工情報、自己情報コントロール権、OECD プライバシーガイドライン、EU 法 (保護規則) と忘れられる権利、オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報セキュリティ：機密性、完全性、可用性
- ・ 匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取
- ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し、未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布（ヒストグラム）
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	暮らしのなかの起業入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introductory Course on Entrepreneurship				
担当者 :	芝先 恵介				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	開講年次 :	開講期 :	前期	必修選択の別 :	
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（B）に付随的に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)に主体的に関与				

■ 授業概要

インターネットが普及したことにより、私たちの生活は利便性が一層高まり、豊かさを実感できるものとなっています。大学教育のなかにメディア授業が取り入れられたことは、学生の皆さんの自由度を高めているのではないのでしょうか。インターネットは、「時間」と「場所」の制約を取り除いてくれるため、自由な時間を有効に活用することができる時代になっているのです。また、特技や専門的知識を持った多くの方と繋がることもインターネットはいとも容易に実現してくれます。そのため、アイデア、経験や趣味を活かして起業に取り組む方も増えています。

本授業は、「起業」を特別なものとして取り扱うのではなく、誰もがチャレンジできるものとして位置付け、その基本的な事項を学修することを目的とします。企業に勤務することになった場合でも、常に新しい製品・サービスを創造することが求められる今、起業の仕組みや留意点について理解しておくことは、新事業創出の任務を担う際に有効となります。その意味で、起業は今後の生活を豊かなものとするための選択の幅を広げてくれるのです。授業では、起業についての知識とともに、事業活動を通して自らの夢を実現している起業家の実践例を通して、受講者が自身のキャリアについても検討することを期待しています。

【受講に当たっての留意点】

15回すべての受講を終えなかった場合、レポートを提出しても単位は付与しません。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

受講者は、この授業を履修することによって、

- 1) 起業や新事業創出の意味と必要性
- 2) 起業や新事業創出を実現するために求められる基本的な事項
- 3) 起業家の実践例とキャリア

について学び、起業と社会・経済とのかかわりについて理解できるようになります。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー1（大学での種々の学びを通じて、「人に愛され、信頼され、尊敬される」人格へと自らを成長させ続ける自己教育力を培っていること）の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

学生間ディスカッション 20%

レポート 80%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後にGoogleClassroomに各人のコメントを掲載します。

■ 教科書

各回資料を配布します。

■参考文献

- [ISBN]9784502178412 『アントレプレナーシップ教科書』(松重 和美, 中央経済社 : 2016)
[ISBN]9784822259754 『起業の科学 スタートアップサイエンス』(田所 雅之, 日経BP : 2017)
[ISBN]9784478109502 『起業大全 スタートアップを科学する9つのフレームワーク』(田所 雅之, ダイヤモンド社 : 2020)
[ISBN]9784830949708 『はじめて学ぶ人のための経営学入門 [バージョン 2] (文真堂ブックス)』(信之, 片岡, 文真堂 : 2018)
[ISBN]9784502394713 『新しいビジネスをつくる』(加護野 忠男, 碩学舎 : 2021)
[ISBN]9784798167381 『ビジネスモデル・キャンパス徹底攻略ガイド 企業、チーム、個人を成功に導く「ビジネスモデル設計書」』(今津 美樹, 翔泳社 : 2020)
上記のほか必要に応じて紹介します。

■関連科目

現代社会と倫理、現代社会と法、ビジネス実務講座、国際化と異文化理解、情報処理基礎、データリテラシー入門、キャリアデザイン

■授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

240068@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

質問がある場合は、Google Classroomにて受け付けます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 授業総論（授業形式：講義および演習）

予習内容：起業の意味や必要性について調べる。

予習時間：90分

復習内容：大学における起業家教育の目的についてまとめる。

復習時間：90分

【講師：経営学部教授 文能 照之】

- ・授業内容と学修方法

【外部講師：株式会社パースベクティブ・メディア 代表取締役 小口 日出彦氏】

- ・起業とは
- ・起業というライフスタイル

第2回 起業家マインドの重要性（授業形式：講義および演習）

予習内容：アントレプレナーシップについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：イノベーションの事例についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・アントレプレナーシップ（起業家精神）とは
- ・イノベーションとは
- ・起業とイノベーション

第3回 企業の役割と経営指針（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の役割について調べる。

予習時間：90分

復習内容：企業のミッション・ビジョン・バリューについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・企業の社会的役割
- ・企業の社会的責任
- ・ミッション、ビジョン、バリューとは

第4回 経営に必要とされる資源（授業形式：講義および演習）

予習内容：経営に必要とされる、ヒト・モノ・カネについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：経営を続けるために経営資源の活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・経営の基本とは
- ・経営資源とは

第5回 アイデアをビジネスに変える（授業形式：講義および演習）

予習内容：アイデアの出し方について調べる。

予習時間：90分

復習内容：効果的なアイデアの発想法やアイデアの膨らませ方、収束の仕方についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・ビジネスを生み出すために
- ・ビジネスアイデアの発想法
- ・オズボーンのチェックリストを活用した事例

第6回 チーム作りと評価（授業形式：講義および演習）

予習内容：経営にチーム作りが必要な理由、及びチーム作りの方法について調べる。

予習時間：90分

復習内容：メンバーの有する能力を生かすためのチーム作りの方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・サイドプロジェクトではじめる
- ・スタートアップに必要な人材
- ・解決したい課題について

第7回 事業構想（前半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事業アイデアを形にするための方法について調べる。

予習時間：90分

復習内容：ビジネスモデル・キャンパスの活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・事業アイデアを形にするビジネスモデル・キャンパスとは
- ・ビジネスモデル・キャンパスの要素を理解する【お客様にかかわる収入】

第8回 事業構想（後半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事例企業のビジネスモデルについて調べ、ビジネスモデル・キャンパスを作成する。

予習時間：90分

復習内容：授業で提示されたビジネスモデル・キャンパスをもとに、その活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・ビジネスモデル・キャンパスの要素を理解する。【活動とコスト】
- ・事例企業を参考にしてビジネスモデル・キャンパスを作成する

第9回 事業の実現①（内製）（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業内部において必要となるコミュニケーションについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：コミュニケーションを高めるための方策についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：グッドニュース情報発信塾 塾長 大谷 邦郎氏】

- ・賛同を得て、応援してもらうためのコミュニケーション
- ・事業協力者に向けたプレゼンテーション

第10回 事業の実現②（外注）（授業形式：講義および演習）

予習内容：外部企業等との関係において必要となるコミュニケーションについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：コミュニケーションを高めるための方策についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社パーシヴァル ファウンダー 川辺 友之氏】

- ・外部資源の有効活用
- ・クラウドファンディングの活用

第11回 近畿大学卒起業家体験談①（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：180株式会社 代表取締役 上仲 昌吾氏】

個性（DNA）を磨く

- ・個性を理解する
- ・個性のを見つけ方
- ・個性をデザインする

第12回 近畿大学卒起業家体験談②（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社音動 代表取締役 鳥山 郷氏】

起業というエゴイズムから社会との共創まで

- ・起業する機会と環境
- ・起業する機会と環境
- ・多様性とこれから

第13回 近畿大学卒起業家体験談③（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：事業承継の動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：錦城護謨株式会社 代表取締役社長 太田 泰造氏】

経営現場のリアル（価値創造）

- ・錦城護謨の事業内容ご紹介
- ・老舗企業が取り組む新規事業
- ・企業にとって一番大事なもの

第14回 近畿大学卒起業家体験談④（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：リノベる株式会社 代表取締役社長 山下 智弘氏、株式会社 Schoo 代表取締役社長CEO 森 健志郎氏】

- ・リノベる株式会社・・・「リノベる」の起業まで
- ・株式会社Schoo・・・起業のきっかけ・起業からこれまで
- ・起業家対談

第15回 授業総括（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの学修内容について復習する。

予習時間：90分

復習内容：社会・経済における起業の意味、必要性についてまとめる。

復習時間：90分

【講師：経営学部教授 文能 照之】

- ・起業に必要とされるマインドと基礎知識
- ・起業の目的とライフプラン
- ・起業の実現に向けて

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて行う授業

科目名 :	住みよい社会と福祉【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Welfare and Society Better to Live in				
担当者 :	馬淵 敦士				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（A）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に主体的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

「住みよい社会」とはどのような社会でしょうか。また、「福祉」とはどのようなイメージをもっているでしょうか。

「住みよい社会」を目指すには、現状がどうであるのかを理解し、その課題を把握し、解決していく視点が必要です。

さまざまな視点からの困りごとや、その解決について考えていくことができるようになってもらいたいと考えています。

なお、話の内容が判別可能な速度で視聴してください。各自、受講計画を立て、自主的に受講いただきたいです。

また、成績評価に際しては10回以上受講（出席）をしていることが条件となります。

（5回以上の欠席があった場合はレポートで合格点となっても不合格（0点）となりますので計画的に受講してください。）

（この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。）

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

我々の身近にある福祉という概念を幅広く知ることにより、他人を思いやり、豊かな人間関係の形成ができるようになる。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1（個人の自由と平等を尊重し、社会において担うべき責任を理解し、公正に判断する能力を養う。）の達成に関与する。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート 50%

期末レポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

指定しない

■ 参考文献

特になし

■関連科目

なし

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

mabuchi@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

メールにて受け付けます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション/合理的配慮について

予習内容：シラバスを読む

予習時間：5分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：5分

オリエンテーション

全15回に行う内容の概略を説明する。

セクション1 福祉とは

セクション2 合理的配慮とは

セクション3 差別解消への取り組み

第2回 視覚障がい者と福祉

予習内容：視覚障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 視覚障がい者とは？

セクション2 視覚障がい者への支援

セクション3 盲導犬の理解

第3回 聴覚障がい者と福祉

予習内容：聴覚障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 聴覚障がいとは？

セクション2 聴覚障がい者の困りごとと支援

セクション3 電話リレーサービスとは

第4回 肢体不自由者と福祉

予習内容：肢体不自由者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 肢体不自由とは？

セクション2 肢体不自由者の困りごとと支援

セクション3 車いすでの旅行

第5回 知的障がい者と福祉

予習内容：知的障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 知的障がい者とは？

セクション2 知的障がい者の困りごとと支援

セクション3 インクルーシブ教育とは

第6回 精神障がい者と福祉

予習内容：精神障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 精神障がいとは？

セクション2 精神障がい者の現状

セクション3 精神障がい者への対応

第7回 発達障がい者と福祉その1

予習内容：発達障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 発達障がいとは？

セクション2 小児期のADHD事例

セクション3 小児期のADHD事例その後

第8回 発達障がい者と福祉その2

予習内容：発達障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 成人期のADHD事例

セクション2 ASDの事例

セクション3 発達障がいへの合理的配慮

第9回 虐待について

予習内容：虐待全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 虐待とは？

セクション2 不適切なケア

セクション3 虐待防止への取り組み

第10回 認知症高齢者について

予習内容：認知症に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 認知症の原因疾患について

セクション2 認知症の症状について

セクション3 認知症高齢者への接し方

第11回 生活困窮者に関する取り組み

予習内容：生活困窮者に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 生活困窮者とは？

セクション2 生活困窮者の現状

セクション3 生活困窮者への支援

第12回 ヤングケアラーに関する取り組み

予習内容：ヤングケアラーに関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 ヤングケアラーとは？

セクション2 ヤングケアラーの現状

セクション3 ヤングケアラーへの支援

第13回 LGBTに関する取り組み

予習内容：LGBTに関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 LGBTとは？

セクション2 SOGIとは？

セクション3 LGBTへの具体的な取り組み

第14回 バリアフリーとユニバーサルデザイン

予習内容：バリアフリーとユニバーサルデザインに関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 物理的バリアフリーとは？

セクション2 心のバリアフリーとは？

セクション3 ユニバーサルデザインとは？

第15回 まとめ・地域福祉について

予習内容：地域福祉に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 地域福祉とは？

セクション2 地域福祉コーディネーターとは？

セクション3 地域で支え合うということ

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	暮らしのなかの起業入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introductory Course on Entrepreneurship				
担当者 :	文能 照之				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（B）に付随的に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)に主体的に関与				

■ 授業概要

インターネットが普及したことにより、私たちの生活は利便性が一層高まり、豊かさを実感できるものとなっています。大学教育のなかにメディア授業が取り入れられたことは、学生の皆さんの自由度を高めているのではないのでしょうか。インターネットは、「時間」と「場所」の制約を取り除いてくれるため、自由な時間を有効に活用することができる時代になっているのです。また、特技や専門的知識を持った多くの方と繋がることもインターネットはいとも容易に実現してくれます。そのため、アイデア、経験や趣味を活かして起業に取り組む方も増えています。

本授業は、「起業」を特別なものとして取り扱うのではなく、誰もがチャレンジできるものとして位置付け、その基本的な事項を学修することを目的とします。企業に勤務することになった場合でも、常に新しい製品・サービスを創造することが求められる今、起業の仕組みや留意点について理解しておくことは、新事業創出の任務を担う際に有効となります。その意味で、起業は今後の生活を豊かなものとするための選択の幅を広げてくれるのです。授業では、起業についての知識とともに、事業活動を通して自らの夢を実現している起業家の実践例を通して、受講者が自身のキャリアについても検討することを期待しています。

【受講に当たっての留意点】

15回すべての受講を終えなかった場合、レポートを提出しても単位は付与しません。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

受講者は、この授業を履修することによって、

- 1) 起業や新事業創出の意味と必要性
- 2) 起業や新事業創出を実現するために求められる基本的な事項
- 3) 起業家の実践例とキャリア

について学び、起業と社会・経済とのかかわりについて理解できるようになります。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー1（大学での種々の学びを通じて、「人に愛され、信頼され、尊敬される」人格へと自らを成長させ続ける自己教育力を培っていること）の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

学生間ディスカッション 20%

レポート 80%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

各回資料を配布します。

■参考文献

- [ISBN]9784502178412 『アントレプレナーシップ教科書』(松重 和美, 中央経済社 : 2016)
[ISBN]9784822259754 『起業の科学 スタートアップサイエンス』(田所 雅之, 日経BP : 2017)
[ISBN]9784478109502 『起業大全 スタートアップを科学する9つのフレームワーク』(田所 雅之, ダイヤモンド社 : 2020)
[ISBN]9784830949708 『はじめて学ぶ人のための経営学入門 [バージョン 2] (文真堂ブックス)』(信之, 片岡, 文真堂 : 2018)
[ISBN]9784502394713 『新しいビジネスをつくる』(加護野 忠男, 碩学舎 : 2021)
[ISBN]9784798167381 『ビジネスモデル・キャンパス徹底攻略ガイド 企業、チーム、個人を成功に導く「ビジネスモデル設計書」』(今津 美樹, 翔泳社 : 2020)
上記のほか必要に応じて紹介します。

■関連科目

現代社会と倫理、現代社会と法、ビジネス実務講座、国際化と異文化理解、情報処理基礎、データリテラシー入門、キャリアデザイン

■授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

東大阪キャンパス 2 1 号館 8 階・tbunno<at>bus.kindai.ac.jp、送信時には<at>を@に変換してください。

■オフィスアワー

月曜日 5 時限 (質問がある場合は、メールを通じて受け付けます)

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 授業総論 (授業形式 : 講義および演習)

予習内容 : 起業の意味や必要性について調べる。

予習時間 : 90分

復習内容 : 大学における起業家教育の目的についてまとめる。

復習時間 : 90分

【講師 : 経営学部教授 文能 照之】

- ・ 授業内容と学修方法

【外部講師 : 株式会社パースバクティブ・メディア 代表取締役 小口 日出彦氏】

- ・ 起業とは
- ・ 起業というライフスタイル

第2回 起業家マインドの重要性 (授業形式 : 講義および演習)

予習内容 : アントレプレナーシップについて調べる。

予習時間 : 90分

復習内容 : イノベーションの事例についてまとめる。

復習時間 : 90分

【外部講師 : 株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・ アントレプレナーシップ (起業家精神) とは
- ・ イノベーションとは
- ・ 起業とイノベーション

第3回 企業の役割と経営指針 (授業形式 : 講義および演習)

予習内容 : 企業の役割について調べる。

予習時間 : 90分

復習内容 : 企業のミッション・ビジョン・バリューについてまとめる。

復習時間 : 90分

【外部講師 : 株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・ 企業の社会的役割
- ・ 企業の社会的責任
- ・ ミッション、ビジョン、バリューとは

第4回 経営に必要とされる資源 (授業形式 : 講義および演習)

予習内容 : 経営に必要とされる、ヒト・モノ・カネについて調べる。

予習時間 : 90分

復習内容：経営を続けるために経営資源の活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・経営の基本とは
- ・経営資源とは

第5回 アイデアをビジネスに変える（授業形式：講義および演習）

予習内容：アイデアの出し方について調べる。

予習時間：90分

復習内容：効果的なアイデアの発想法やアイデアの膨らませ方、収束の仕方についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・ビジネスを生み出すために
- ・ビジネスアイデアの発想法
- ・オズボーンのチェックリストを活用した事例

第6回 チーム作りと評価（授業形式：講義および演習）

予習内容：経営にチーム作りが必要な理由、及びチーム作りの方法について調べる。

予習時間：90分

復習内容：メンバーの有する能力を生かすためのチーム作りの方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・サイドプロジェクトではじめる
- ・スタートアップに必要な人材
- ・解決したい課題について

第7回 事業構想（前半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事業アイデアを形にするための方法について調べる。

予習時間：90分

復習内容：ビジネスモデル・キャンパスの活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・事業アイデアを形にするビジネスモデル・キャンパスとは
- ・ビジネスモデル・キャンパスの要素を理解する【お客様にかかわる収入】

第8回 事業構想（後半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事例企業のビジネスモデルについて調べ、ビジネスモデル・キャンパスを作成する。

予習時間：90分

復習内容：授業で提示されたビジネスモデル・キャンパスをもとに、その活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・ビジネスモデル・キャンパスの要素を理解する。【活動とコスト】
- ・事例企業を参考にしてビジネスモデル・キャンパスを作成する

第9回 事業の実現①（内製）（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業内部において必要となるコミュニケーションについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：コミュニケーションを高めるための方策についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：グッドニュース情報発信塾 塾長 大谷 邦郎氏】

- ・賛同を得て、応援してもらうためのコミュニケーション
- ・事業協力者に向けたプレゼンテーション

第10回 事業の実現②（外注）（授業形式：講義および演習）

予習内容：外部企業等との関係において必要となるコミュニケーションについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：コミュニケーションを高めるための方策についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社パーシヴァル ファウンダー 川辺 友之氏】

- ・外部資源の有効活用
- ・クラウドファンディングの活用

第11回 近畿大学卒起業家体験談①（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：180株式会社 代表取締役 上仲 昌吾氏】

個性（DNA）を磨く

- ・個性を理解する
- ・個性のを見つけ方
- ・個性をデザインする

第12回 近畿大学卒起業家体験談②（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社音動 代表取締役 鳥山 郷氏】

起業というエゴイズムから社会との共創まで

- ・起業する機会と環境
- ・起業する機会と環境
- ・多様性とこれから

第13回 近畿大学卒起業家体験談③（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：事業承継の動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：錦城護謨株式会社 代表取締役社長 太田 泰造氏】

経営現場のリアル（価値創造）

- ・錦城護謨の事業内容ご紹介
- ・老舗企業が取り組む新規事業
- ・企業にとって一番大事なもの

第14回 近畿大学卒起業家体験談④（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：リノベる株式会社 代表取締役社長 山下 智弘氏、株式会社 Schoo 代表取締役社長CEO 森 健志郎氏】

- ・リノベる株式会社・・・「リノベる」の起業まで
- ・株式会社Schoo・・・起業のきっかけ・起業からこれまで
- ・起業家対談

第15回 授業総括（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの学修内容について復習する。

予習時間：90分

復習内容：社会・経済における起業の意味、必要性についてまとめる。

復習時間：90分

【講師：経営学部教授 文能 照之】

- ・起業に必要とされるマインドと基礎知識
- ・起業の目的とライフプラン
- ・起業の実現に向けて

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて行う授業

科目名 :	住みよい社会と福祉【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Welfare and Society Better to Live in				
担当者 :	広瀬 美千代				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

「住みよい社会」とはどのような社会でしょうか。また、「福祉」とはどのようなイメージをもっているでしょうか。

「住みよい社会」を目指すには、現状がどうであるのかを理解し、その課題を把握し、解決していく視点が必要です。

さまざまな視点からの困りごとや、その解決について考えていくことができるようになってもらいたいと考えています。

なお、話の内容が判別可能な速度で視聴してください。各自、受講計画を立て、自主的に、受講いただきたいです。
(この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。)

■ 授業形態

メディア授業（授業回の半数以上がメディア授業／それ以外は、対面授業）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1（個人の自由と平等を尊重し、社会において担うべき責任を理解し、公正に判断する能力を養う。）の達成に關与する。

■ ディプロマポリシーとの関連

社会問題に関する考察力を養う

■ 成績評価方法および基準

中間レポート 50%

期末レポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

指定しない

■ 参考文献

特になし

■ 関連科目

なし

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行う。

■ 研究室・メールアドレス

■ オフィスアワー

メールにて受け付けます。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション/合理的配慮について

予習内容：シラバスを読む

予習時間：5分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：5分

オリエンテーション

全15回に行う内容の概略を説明する。

セクション1 福祉とは

セクション2 合理的配慮とは

セクション3 差別解消への取り組み

第2回 視覚障がい者と福祉

予習内容：視覚障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 視覚障がい者とは？

セクション2 視覚障がい者への支援

セクション3 盲導犬の理解

第3回 聴覚障がい者と福祉

予習内容：聴覚障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 聴覚障がいとは？

セクション2 聴覚障がい者の困りごとと支援

セクション3 電話リレーサービスとは

第4回 肢体不自由者と福祉

予習内容：肢体不自由者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 肢体不自由とは？

セクション2 肢体不自由者の困りごとと支援

セクション3 車いすでの旅行

第5回 知的障がい者と福祉

予習内容：知的障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 知的障がい者とは？

セクション2 知的障がい者の困りごとと支援

セクション3 インクルーシブ教育とは

第6回 精神障がい者と福祉

予習内容：精神障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 精神障がいとは？

セクション2 精神障がい者の現状

セクション3 精神障がい者への対応

第7回 発達障がい者と福祉その1

予習内容：発達障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 発達障がいとは？

セクション2 小児期のADHD事例

セクション3 小児期のADHD事例その後

第8回 発達障がい者と福祉その2

予習内容：発達障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 成人期のADHD事例

セクション2 ASDの事例

セクション3 発達障がいへの合理的配慮

第9回 虐待について

予習内容：虐待全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 虐待とは？

セクション2 不適切なケア

セクション3 虐待防止への取り組み

第10回 認知症高齢者について

予習内容：認知症に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 認知症の原因疾患について

セクション2 認知症の症状について

セクション3 認知症高齢者への接し方

第11回 生活困窮者に関する取り組み

予習内容：生活困窮者に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 生活困窮者とは？

セクション2 生活困窮者の現状

セクション3 生活困窮者への支援

第12回 ヤングケアラーに関する取り組み

予習内容：ヤングケアラーに関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 ヤングケアラーとは？

セクション2 ヤングケアラーの現状

セクション3 ヤングケアラーへの支援

第13回 LGBTに関する取り組み

予習内容：LGBTに関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 LGBTとは？

- セクション2 SOGIとは？
セクション3 LGBTへの具体的な取り組み

第14回 バリアフリーとユニバーサルデザイン

予習内容：バリアフリーとユニバーサルデザインに関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

- セクション1 物理的バリアフリーとは？
セクション2 心のバリアフリーとは？
セクション3 ユニバーサルデザインとは？

第15回 まとめ・地域福祉について

予習内容：地域福祉に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

- セクション1 地域福祉とは？
セクション2 地域福祉コーディネーターとは？
セクション3 地域で支え合うということ

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	住みよい社会と福祉【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Welfare and Society Better to Live in				
担当者 :	馬淵 敦士				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工学部応用化学科：学修・教育到達目標（A）に主体的に関与、 理工学部機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与、 理工学部電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に主体的に関与、 理工学部社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

「住みよい社会」とはどのような社会でしょうか。また、「福祉」とはどのようなイメージをもっているでしょうか。

「住みよい社会」を目指すには、現状がどうであるのかを理解し、その課題を把握し、解決していく視点が必要です。

さまざまな視点からの困りごとや、その解決について考えていくことができるようになってもらいたいと考えています。

なお、話の内容が判別可能な速度で視聴してください。各自、受講計画を立て、自主的に受講いただきたいです。

また、成績評価に際しては10回以上受講（出席）をしていることが条件となります。

（5回以上の欠席があった場合はレポートで合格点となっても不合格（0点）となりますので計画的に受講してください。）

（この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。）

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

我々の身近にある福祉という概念を幅広く知ることにより、他人を思いやり、豊かな人間関係の形成ができるようになる。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1（個人の自由と平等を尊重し、社会において担うべき責任を理解し、公正に判断する能力を養う。）の達成に関与する。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート 50%

期末レポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

指定しない

■ 参考文献

特になし

■関連科目

なし

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

mabuchi@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

メールにて受け付けます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション/合理的配慮について

予習内容：シラバスを読む

予習時間：5分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：5分

オリエンテーション

全15回に行う内容の概略を説明する。

セクション1 福祉とは

セクション2 合理的配慮とは

セクション3 差別解消への取り組み

第2回 視覚障がい者と福祉

予習内容：視覚障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 視覚障がい者とは？

セクション2 視覚障がい者への支援

セクション3 盲導犬の理解

第3回 聴覚障がい者と福祉

予習内容：聴覚障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 聴覚障がいとは？

セクション2 聴覚障がい者の困りごとと支援

セクション3 電話リレーサービスとは

第4回 肢体不自由者と福祉

予習内容：肢体不自由者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 肢体不自由とは？

セクション2 肢体不自由者の困りごとと支援

セクション3 車いすでの旅行

第5回 知的障がい者と福祉

予習内容：知的障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 知的障がい者とは？

セクション2 知的障がい者の困りごとと支援

セクション3 インクルーシブ教育とは

第6回 精神障がい者と福祉

予習内容：精神障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 精神障がいとは？

セクション2 精神障がい者の現状

セクション3 精神障がい者への対応

第7回 発達障がい者と福祉その1

予習内容：発達障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 発達障がいとは？

セクション2 小児期のADHD事例

セクション3 小児期のADHD事例その後

第8回 発達障がい者と福祉その2

予習内容：発達障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 成人期のADHD事例

セクション2 ASDの事例

セクション3 発達障がいへの合理的配慮

第9回 虐待について

予習内容：虐待全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 虐待とは？

セクション2 不適切なケア

セクション3 虐待防止への取り組み

第10回 認知症高齢者について

予習内容：認知症に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 認知症の原因疾患について

セクション2 認知症の症状について

セクション3 認知症高齢者への接し方

第11回 生活困窮者に関する取り組み

予習内容：生活困窮者に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 生活困窮者とは？

セクション2 生活困窮者の現状

セクション3 生活困窮者への支援

第12回 ヤングケアラーに関する取り組み

予習内容：ヤングケアラーに関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 ヤングケアラーとは？

セクション2 ヤングケアラーの現状

セクション3 ヤングケアラーへの支援

第13回 LGBTに関する取り組み

予習内容：LGBTに関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 LGBTとは？

セクション2 SOGIとは？

セクション3 LGBTへの具体的な取り組み

第14回 バリアフリーとユニバーサルデザイン

予習内容：バリアフリーとユニバーサルデザインに関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 物理的バリアフリーとは？

セクション2 心のバリアフリーとは？

セクション3 ユニバーサルデザインとは？

第15回 まとめ・地域福祉について

予習内容：地域福祉に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 地域福祉とは？

セクション2 地域福祉コーディネーターとは？

セクション3 地域で支え合うということ

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Constitution in Everyday Life				
担当者 :	西塚 直之				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科:学修・教育到達目標(A)に主体的に関与 理工電気電子通信工学科:学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科:ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)に主体的に関与、(C)、(I)に付随的に関与				

■ 授業概要

「憲法」と聞いて、みなさんはどのような印象をおもちですか。私たちは普段、憲法が存在を意識して生活することは、ほとんどないかと思えます。しかし、その実、憲法は、国の最高法規として、一人ひとりのもつ大事な権利や自由を定め、そしてそれらを守る仕組みを定めている、私たちにはなくてはならない大切な法律です。

そこで本授業では、憲法の基本的な枠組みや考え方などを理解していただけるよう、具体的事例(裁判例を含む)の検討を行います。とはいえ、本授業は、暗記中心の学習ではありません。現実生じている様々な事象の検討を通じて、それら問題を法的にどのように解決すべきか、みなさんには、その法的解決に向けた考え方を習得していただくこととなります。

なお、メディア受講に際しては、受講前の教科書熟読が必須となります。そして受講時は、各自、必要に応じてノートをとってください。と同時に、必要に応じて、条文を参照してください。条文の参照方法は、第1回の授業で説明をしています。

ちなみに、みなさん方の受講に際しては、大学からの受講案内でも示されているように、予め一定の期間を設定して、受講確認がなされる予定です。レポート作成・提出においても、メディア受講は前提(必須)条件となります(単位取得に際しては、10回以上:10回を含む、受講をしていることが必要です。)。加えて、話者の話の内容が判別可能な速度で視聴してください。詳細は、各担当者の案内に従ってください。各自、受講計画を立て、自覚的に、受講いただくことを、切に希望しております。

*この授業はコンテンツ作成者重村が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業(全授業回)

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業(クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用)

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

受講生は、この授業を受講することにより、①日本国憲法の基本的人権ならびに統治機構の概要を説明し、②憲法問題に対して自身の見解を示すことができるようになります。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー(問いながら学ぶ「学問」習慣を身に付け、専門領域における知識・技能を習得し、それらに裏打ちされた探究心と社会貢献への使命感に目覚めていること)の達成に寄与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題(全3回) 60%

学期末試験(レポート課題) 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784641228658 『目で見える憲法〔第6版〕』(初宿 正典, 有斐閣:2024)

■ 参考文献

- [ISBN]9784842010885 『判例で学ぶ日本国憲法[第三版]』(西村裕三編, 有信堂高文社: 2024)
[ISBN]9784865281132 『立憲主義について 成立過程と現代(放送大学叢書)』(佐藤 幸治, 左右社: 2015)
[ISBN]9784000616072 『憲法 第八版』(芦部 信喜, 岩波書店: 2023)
[ISBN]9784641227613 『憲法学読本 第3版』(安西 文雄, 有斐閣: 2018)
[ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)
[ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

■ 関連科目

「現代社会と法」など

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

研究室はありません。
1265g8@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

オフィスアワーはありません。質問はメールで受け付けます。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 概要 憲法とはなにか(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

法律の学習を始めるために必要となる法学・憲法の基礎的事項を学ぶ

セクション1 法とは何か セクション概要 法とは何かについて学ぶ

セクション2 憲法とは何か セクション概要 憲法とは何かについて学ぶ

セクション3 日本国憲法概説 セクション概要 憲法制定過程と基本原則を学ぶ

第2回 立法権と行政権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

三権分立のうち、立法権と行政権を学ぶ

セクション1 三権分立とは? セクション概要 三権分立の概説を学ぶ

セクション2 日本の統治機構・立法権 セクション概要 国会の組織と役割を学ぶ

セクション3 日本の統治機構・行政権 セクション概要 内閣の組織と役割を学ぶ

第3回 司法権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 三権分立のうち、司法権について学ぶ

セクション1 司法権とは? セクション概要 司法権の範囲と限界について学ぶ

セクション2 裁判所組織について セクション概要 裁判所組織と審級について学ぶ

セクション3 裁判官 セクション概要 裁判官の身分保障について学ぶ

第4回 司法審査権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 司法審査権について学ぶ

セクション1 司法審査権の目的と方法 セクション概要 司法審査権の目的と方法について学ぶ

セクション2 違憲審査基準 セクション概要 違憲審査基準について学ぶ

セクション3 司法積極主義・消極主義 セクション概要 司法積極主義・消極主義について学ぶ

第5回 基本的人権総論(授業形式: 講義および演習)

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 基本的人権の総論部分を学ぶ

セクション1 人権の歴史 セクション概要 人権が確立していった過程を学ぶ

セクション2 人権の分類 セクション概要 日本国憲法の人権規定を概括的に学ぶ

セクション3 人権の限界 セクション概要 基本的人権の限界について学ぶ

第6回 幸福追求権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 幸福追求権を軸に主張される権利や自由について学ぶ

セクション1 幸福追求権とは？ セクション概要 幸福追求権の概説を学ぶ

セクション2 プライバシーの権利 セクション概要 プライバシーの権利について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 プライバシーの権利の判例から学ぶ

第7回 法の下での平等（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が意味する平等とは何かを学ぶ

セクション1 憲法の平等保障規定 セクション概要 日本国憲法が規定する平等規定について学ぶ

セクション2 平等とは？ セクション概要 憲法が示す「平等」の意味について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 平等権に関する基本事例から学ぶ

第8回 信教の自由・政教分離（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

概要 信教の自由が保障する範囲と政教分離について学ぶ

セクション1 信教の自由とは？ セクション概要 信教の自由が規定された背景を学ぶ

セクション2 政教分離 セクション概要 政教分離原則について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 政教分離の基本事例から学ぶ

第9回 表現の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 表現の自由がなぜ「優越的地位」にあるといわれるのか学ぶ

セクション1 表現の自由とは？ セクション概要 表現の自由の優越的地位の原則について学ぶ

セクション2 マス・メディアの取材・報道の自由 セクション概要 マス・メディアの取材・報道の自由について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 取材・報道の自由の基本事例から学ぶ

第10回 学問の自由・教育を受ける権利（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 大学における「学問」とはどういうものか学ぶ

セクション1 学問の自由とは？ セクション概要 学問の自由の保障の範囲と限界を学ぶ

セクション2 大学の自治 セクション概要 大学の自治について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 学問の自由の基本判例から学ぶ

第11回 経済活動の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 私有財産制度について憲法から学ぶ

セクション1 経済活動の自由とは？ セクション概要 経済活動の自由について内容を学ぶ

セクション2 財産権の保障 セクション概要 財産権の保障について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 財産権の保障の基本事例から学ぶ

第12回 人身の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 刑事疑義者・被告人の権利について学ぶ

セクション1 罪刑法定主義とは？ セクション概要 罪刑法定主義について学ぶ

セクション2 人身の自由 セクション概要 人身の自由の内容について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 人身の自由の基本事例から学ぶ

第13回 生存権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」とは何かを学ぶ

セクション1 生存権とは？ セクション概要 生存権の法的性格について学ぶ

セクション2 日本の社会保障制度 セクション概要 社会保障制度の種類と内容を概括的に学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 生存権の基本事例から学ぶ

第14回 労働基本権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 労働三権について学ぶ。ここでは特に、公務員の労働基本権について学ぶ

セクション1 勤労の権利とは？ セクション概要 労働三権について学ぶ

セクション2 公務員の労働基本権 セクション概要 公務員の労働基本権について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 公務員の労働基本権の基本事例から学ぶ

第15回 参政権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 選挙の基本原則について学ぶ

セクション1 参政権とは？ セクション概要 参政権の概要について学ぶ

セクション2 選挙制度の基本原則 セクション概要 選挙の5つの基本原則を学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 基本原則に関する基本事例から学ぶ

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Constitution in Everyday Life				
担当者 :	西塚 直之				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科:学修・教育到達目標(A)に主体的に関与 理工電気電子通信工学科:学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科:ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)に主体的に関与、(C)、(I)に付随的に関与				

■ 授業概要

「憲法」と聞いて、みなさんはどのような印象をおもちですか。私たちは普段、憲法が存在を意識して生活することは、ほとんどないかと思えます。しかし、その実、憲法は、国の最高法規として、一人ひとりのもつ大事な権利や自由を定め、そしてそれらを守る仕組みを定めている、私たちにはなくてはならない大切な法律です。

そこで本授業では、憲法の基本的な枠組みや考え方などを理解していただけるよう、具体的事例（裁判例を含む）の検討を行います。とはいえ、本授業は、暗記中心の学習ではありません。現実生じている様々な事象の検討を通じて、それら問題を法的にどのように解決すべきか、みなさんには、その法的解決に向けた考え方を習得していただくこととなります。

なお、メディア受講に際しては、受講前の教科書熟読が必須となります。そして受講時は、各自、必要に応じてノートをとってください。と同時に、必要に応じて、条文を参照してください。条文の参照方法は、第1回の授業で説明をしています。

ちなみに、みなさん方の受講に際しては、大学からの受講案内でも示されているように、予め一定の期間を設定して、受講確認がなされる予定です。レポート作成・提出においても、メディア受講は前提（必須）条件となります（単位取得に際しては、10回以上：10回を含む、受講をしていることが必要です。）。加えて、話者の話の内容が判別可能な速度で視聴してください。詳細は、各担当者の案内に従ってください。各自、受講計画を立て、自覚的に、受講いただくことを、切に希望しております。

*この授業はコンテンツ作成者重村が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

受講生は、この授業を受講することにより、①日本国憲法の基本的人権ならびに統治機構の概要を説明し、②憲法問題に対して自身の見解を示すことができるようになります。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー（問いながら学ぶ「学問」習慣を身に付け、専門領域における知識・技能を習得し、それらに裏打ちされた探究心と社会貢献への使命感に目覚めていること）の達成に寄与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題（全3回） 60%

学期末試験（レポート課題） 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784641228658 『目で見える憲法〔第6版〕』（初宿 正典, 有斐閣：2024）

■ 参考文献

- [ISBN]9784842010885 『判例で学ぶ日本国憲法[第三版]』(西村裕三編, 有信堂高文社: 2024)
 [ISBN]9784865281132 『立憲主義について 成立過程と現代(放送大学叢書)』(佐藤 幸治, 左右社: 2015)
 [ISBN]9784000616072 『憲法 第八版』(芦部 信喜, 岩波書店: 2023)
 [ISBN]9784641227613 『憲法学読本 第3版』(安西 文雄, 有斐閣: 2018)
 [ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)
 [ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

■ 関連科目

「現代社会と法」など

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

研究室はありません。
 1265g8@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

オフィスアワーはありません。質問はメールで受け付けます。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 概要 憲法とはなにか(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

法律の学習を始めるために必要となる法学・憲法の基礎的事項を学ぶ

セクション1 法とは何か セクション概要 法とは何かについて学ぶ

セクション2 憲法とは何か セクション概要 憲法とは何かについて学ぶ

セクション3 日本国憲法概説 セクション概要 憲法制定過程と基本原則を学ぶ

第2回 立法権と行政権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

三権分立のうち、立法権と行政権を学ぶ

セクション1 三権分立とは? セクション概要 三権分立の概説を学ぶ

セクション2 日本の統治機構・立法権 セクション概要 国会の組織と役割を学ぶ

セクション3 日本の統治機構・行政権 セクション概要 内閣の組織と役割を学ぶ

第3回 司法権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 三権分立のうち、司法権について学ぶ

セクション1 司法権とは? セクション概要 司法権の範囲と限界について学ぶ

セクション2 裁判所組織について セクション概要 裁判所組織と審級について学ぶ

セクション3 裁判官 セクション概要 裁判官の身分保障について学ぶ

第4回 司法審査権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 司法審査権について学ぶ

セクション1 司法審査権の目的と方法 セクション概要 司法審査権の目的と方法について学ぶ

セクション2 違憲審査基準 セクション概要 違憲審査基準について学ぶ

セクション3 司法積極主義・消極主義 セクション概要 司法積極主義・消極主義について学ぶ

第5回 基本的人権総論(授業形式: 講義および演習)

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 基本的人権の総論部分を学ぶ

セクション1 人権の歴史 セクション概要 人権が確立していった過程を学ぶ

セクション2 人権の分類 セクション概要 日本国憲法の人権規定を概括的に学ぶ

セクション3 人権の限界 セクション概要 基本的人権の限界について学ぶ

第6回 幸福追求権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 幸福追求権を軸に主張される権利や自由について学ぶ

セクション1 幸福追求権とは？ セクション概要 幸福追求権の概説を学ぶ

セクション2 プライバシーの権利 セクション概要 プライバシーの権利について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 プライバシーの権利の判例から学ぶ

第7回 法の下での平等（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が意味する平等とは何かを学ぶ

セクション1 憲法の平等保障規定 セクション概要 日本国憲法が規定する平等規定について学ぶ

セクション2 平等とは？ セクション概要 憲法が示す「平等」の意味について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 平等権に関する基本事例から学ぶ

第8回 信教の自由・政教分離（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

概要 信教の自由が保障する範囲と政教分離について学ぶ

セクション1 信教の自由とは？ セクション概要 信教の自由が規定された背景を学ぶ

セクション2 政教分離 セクション概要 政教分離原則について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 政教分離の基本事例から学ぶ

第9回 表現の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 表現の自由がなぜ「優越的地位」にあるといわれるのか学ぶ

セクション1 表現の自由とは？ セクション概要 表現の自由の優越的地位の原則について学ぶ

セクション2 マス・メディアの取材・報道の自由 セクション概要 マス・メディアの取材・報道の自由について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 取材・報道の自由の基本事例から学ぶ

第10回 学問の自由・教育を受ける権利（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 大学における「学問」とはどういうものか学ぶ

セクション1 学問の自由とは？ セクション概要 学問の自由の保障の範囲と限界を学ぶ

セクション2 大学の自治 セクション概要 大学の自治について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 学問の自由の基本判例から学ぶ

第11回 経済活動の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 私有財産制度について憲法から学ぶ

セクション1 経済活動の自由とは？ セクション概要 経済活動の自由について内容を学ぶ

セクション2 財産権の保障 セクション概要 財産権の保障について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 財産権の保障の基本事例から学ぶ

第12回 人身の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 刑事疑義者・被告人の権利について学ぶ

セクション1 罪刑法定主義とは？ セクション概要 罪刑法定主義について学ぶ

セクション2 人身の自由 セクション概要 人身の自由の内容について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 人身の自由の基本事例から学ぶ

第13回 生存権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」とは何かを学ぶ

セクション1 生存権とは？ セクション概要 生存権の法的性格について学ぶ

セクション2 日本の社会保障制度 セクション概要 社会保障制度の種類と内容を概括的に学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 生存権の基本事例から学ぶ

第14回 労働基本権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 労働三権について学ぶ。ここでは特に、公務員の労働基本権について学ぶ

セクション1 勤労の権利とは？ セクション概要 労働三権について学ぶ

セクション2 公務員の労働基本権 セクション概要 公務員の労働基本権について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 公務員の労働基本権の基本事例から学ぶ

第15回 参政権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 選挙の基本原則について学ぶ

セクション1 参政権とは？ セクション概要 参政権の概要について学ぶ

セクション2 選挙制度の基本原則 セクション概要 選挙の5つの基本原則を学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 基本原則に関する基本事例から学ぶ

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	心理と行動【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Psychology and Action				
担当者 :	佐藤 望				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本講義は、15回の授業のうち、心理系専攻の専任教員12名が1回ないしは2回の講義を担当して作成した動画を教材とします。それぞれの専門領域から、心理学の面白さを伝えます。

各回は、3つ程度のセクションに分かれており、それぞれのセクションについて簡単な確認テストがあります。また、中間期に2回のレポート課題があり、すべての回を視聴した後に、最終レポートの提出が課されています。

オンデマンドですので、配信された後は最終日までの間に、いつでも観ることは可能ですが、配信から2週間を期日に出席を取ります。本授業のルールとして、欠席5回以上で単位不認定としますので、週1回のペースで1回ずつ学びを進めることを強くお勧めします。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

心理学における多様な領域での研究知見について、理解すること。

それらの知見によって、自分自身の経験や社会でのできごとを新たな視点で眺めるようになること。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

第1回レポート課題 30%

第2回レポート課題 30%

第3回レポート課題 30%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

ClassroomまたはUNIPAを通して、フィードバックをします。

■ 教科書

特に指定しない。

■ 参考文献

[ISBN]9784641221451 『はじめて出会う心理学〔第3版〕(有斐閣アルマ)』(寿一, 長谷川, 有斐閣 : 2020)

[ISBN]9784641220034 『臨床心理学入門 -- 多様なアプローチを越境する(有斐閣アルマ)』(岩壁 茂, 有斐閣 : 2013)

[ISBN]9784781912431 『学習の心理—行動のメカニズムを探る(コンパクト新心理学ライブラリ)』(正子, 実森, サイエンス社 : 2019)

[ISBN]9784762830570 『発達心理学15講』(高橋 一公, 北大路書房 : 2019)

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

KICSルールに従う。

■ 研究室・メールアドレス

総合社会学部7階7C研究室

nozomi.satoh@socio.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日5限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 心理学とは (担当:堀田 美保)

予習内容: シラバスを見ておく。

予習時間: 30分

復習内容: 確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

心と行動に関する学問である、心理学とは何をどのように研究するのかについて、概要を説明します。

第2回 感覚・知覚・注意 (担当:遠藤 信貴)

予習内容: 感覚・知覚心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの心と外界をつなぐ感覚、外界を捉える知覚の仕組みについて概説します。

第3回 記憶 (担当:遠藤 信貴)

予習内容: 認知心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの日常的な行動を根底で支える記憶について、その種類や役割について概説します。

第4回 学習 (担当:漆原 宏次)

予習内容: 学習心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの行動がどのように変わるのか、なぜ変わるのか。経験による行動の変化=学習について概説します。

第5回 感情 (担当:大対 香奈子)

予習内容: 感情心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

感情が心理学でどのように研究されてきたのか、また感情の働きやそのコントロールの方法について概説します。

第6回 神経・生理 (担当:佐藤 望)

予習内容: 神経・生理心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

こころの働きをつかさどる仕組みについて、生物学的観点から解説します。

第7回 遺伝・進化 (担当:上野 将敬)

予習内容: 遺伝・進化心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

人の生物学的側面に注目し、人や人以外の動物の行動における遺伝子や進化の影響について紹介します。

第8回 対人 (担当:堀田 美保)

予習内容: 対人心理学について調べておく.

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく.

復習時間: 60分

人と人の中で起こっているやりとり (相互作用) うち, 対人行動についての心理を紹介します.

第9回 集団 (担当:中川 知宏)

予習内容: 集団心理学について調べておく.

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく.

復習時間: 60分

一人である時と集団にいる時では, 私たちの行動が変化します. これに関する社会心理学的研究を紹介します.

第10回 生涯発達1 (担当:奥野 洋子)

予習内容: 発達心理学について調べておく.

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく.

復習時間: 60分

生涯発達の概要と乳児期から児童期の発達の特徴を説明します.

第11回 生涯発達2 (担当:塩崎 麻里子)

予習内容: 生涯発達心理学について調べておく.

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく.

復習時間: 60分

青年期から老年期のこころの発達について紹介します.

第12回 パーソナリティ (担当:小泉 隆平)

予習内容: パーソナリティ心理学について調べておく.

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく.

復習時間: 60分

パーソナリティ・知能がどのように理解されてきたか, その理解がどのように役立っているか説明します.

第13回 健康 (担当:直井 愛里)

予習内容: 健康心理学について調べておく.

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく.

復習時間: 60分

健康行動に関連する要因を説明し, 生活習慣と心身の健康について紹介します.

第14回 臨床 (担当:本岡 寛子)

予習内容: 臨床心理学について調べておく.

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく.

復習時間: 60分

こころの問題の理解と解決を助けるためのアセスメントとアプローチについて紹介します.

第15回 産業 (担当:佐藤 望)

予習内容: 産業心理学について調べておく.

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく.

復習時間: 60分

心理学で得られている知見を産業場面に応用する例について紹介します.

最終レポート

15回の授業から, 数問を出題するので, 選択して解答のこと.

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	国際化と異文化理解【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Internationalization and Cross Cultural Understanding				
担当者 :	西村 英希				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（B）に主体的に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に主体的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)に主体的に関与、(C)、(J)、(K)に付随的に関与				

■ 授業概要

この講義では中国・韓国・ドイツ・フランスの文化についての学びを通じ、国際社会の中で他者とともに生きるための方法を見出すことを目的とします。21世紀を生きる我々は、グローバル化の中で多様な価値観に触れています。その一方で各国のローカルな価値観に違和感を覚えたり、異文化圏との積極的な交流に不満を覚えたりする声が目につくようになりました。私たちは「国際化」と「異文化」という大きなテーマを改めて考え直す段階に来ているのではないのでしょうか。そこで本講義では中国・韓国・ドイツ・フランスを専門とする四名の教員が、各国の文化の特徴や問題を解説します。文化を「生きるための工夫」と見なし、他国の日常生活や民族間の摩擦の事例を読み解き、日本文化との共通点や差異を議論することで、国際社会を生きる我々の課題が浮き彫りになるはずで、講義を通じて国際社会を他者とともに生きるための基礎的な能力を獲得しましょう。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

この講義を受講することで、履修者は、

- ① 自分と他者、あるいは自文化と異文化を比較し、違いや共通点を見出す能力が身につく。
- ② 各回の課題やアクティビティを通じて自分の考えをしっかりとした言葉で伝えられるようになる。
- ③ 各国文化（中国・韓国・ドイツ・フランス）について基礎的な知識を得ることができる。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー4（異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること）の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート① 25%

中間レポート② 25%

期末レポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題の提出締切後に「課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

教科書は使用しません。

■ 参考文献

[ISBN]4130322028 『国際文化論』(平野 健一郎, 東京大学出版会: 2000)
[ISBN]4795402310 『国際文化学への第一歩』(静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科, すずさわ書店: 2013)
[ISBN]4469212709 『カルチュラル・スタディーズへの招待』(本橋 哲也, 大修館書店: 2002)

■関連科目

すべての外国語科目、国際化と異文化理解

■授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

研究室: EキャンパスB館7J研究室
メールアドレス: hknishimur@eco.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜 2 限、昼休み
木曜 2 限、昼休み

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 第1回 インタロダクション～文化とは何か～(担当: 高橋梓)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 文化について自分なりのイメージを持っておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第1回は文化とは何かという点について、先行研究に基づき概念を確認するとともに、本講義の全体像について概要を説明します。

第2回 第2回 国際文化学とは何か(担当: 高橋梓)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 参考文献: 平野健一郎『国際文化論』を読む

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第2回は本講義が立脚する国際文化学について説明します。国際関係を文化で見る試みを具体的にどのように進めるべきか確認しましょう。

第3回 第3回 中国の基礎知識・言語(担当: 阿部慎太郎)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 中国の人口、地域、通貨等についてインターネットやgoogle mapで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第3回目からは本講義の第一部「生きるための工夫(アジア編)」となります。

第3、4回は中国の文化について考えていきます。

第3回は、中国の基礎知識(人口、民族、言語、地域、通貨など)について紹介します。

第4回 第4回 中国の食文化(担当: 阿部慎太郎)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 中華料理について、インターネットで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第3、4回は中国の文化について考えていきます。

第4回は、中国の食文化(中華料理、円卓、習慣など)について紹介します。

第5回 第5回 韓国の基礎知識・食文化(担当: 小島大輝)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 韓国の地理、料理、食習慣について、インターネットで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第5、6回は韓国の文化について考えていきます。

第5回は、韓国の基礎知識と食文化(韓国料理、食習慣など)について紹介します。

第6回 第6回 韓国の住居文化とその周辺(担当: 小島大輝)(授業形式: 講義および演習)

予習内容：韓国の住居について、インターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第5、6回は韓国の文化について考えていきます。

第6回は、韓国の住居と暮らし、関連する周辺の文化について紹介します。

第7回 第7回 アジア編～まとめ～「小文字の文化」から国際社会を見る（担当：高橋梓、阿部慎太郎、小島大輝）（授業形式：講義および演習）

予習内容：動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出しておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第3～6回で学んだアジア文化の特徴を題材に、文化から国際社会を見ることの意義を議論します。

第8回 第8回 フランスの基礎知識・フランス語圏（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：フランスの基本情報について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第8回目からは本講義の第二部「文化と文化のあいだ（ヨーロッパ編）」となります。

第8、9回は中国の文化について考えていきます。

第8回はフランスの基礎知識と、フランス以外でフランス語を使用しているフランス語圏の実態や、フランス国内の少数言語について紹介します。

第9回 第9回 フランスの移民問題（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：フランスの移民問題について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第9回はフランスの移民の歴史、現在の状況、社会問題について説明します。

第10回 第10回 ドイツの基礎知識・ドイツ語圏（担当：大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ドイツやドイツ語が話される地域の基本情報について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第10、11回はドイツの文化について考えていきます。

第10回はドイツの基礎知識と、ドイツ以外でドイツ語を使用しているドイツ語圏の実態について、特に多言語国家スイスの言語状況を例にして紹介します。

第11回 第10回 ドイツの移民問題・ドイツ語圏（担当：大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ドイツやドイツ語が話される地域の移民問題について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第10回はドイツやドイツ語が話される地域の移民の歴史、現在の状況、社会問題について説明します。

第12回 第12回 まとめ～ヨーロッパ編～文化と文化のあいだ～（担当：高橋梓、大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出しておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第8～11回で学んだヨーロッパ文化の特徴を題材に、主に文化触変論に基づき考察します。

第13回 第13回 自文化と異文化① プルーストを読む堀辰雄（前篇）（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：堀辰雄とプルーストについて書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第13回目からは本講義の第三部「文化の接触と変容」となります。

第13回、14回は文学作品を題材として、文化を生きる個人の精神に目を向けます。

第13回は堀辰雄とマルセル・ブルーストが宗教芸術を見る視点に文化の差異を超えた共通点が潜むことを明らかにします。

第14回 第14回 自文化と異文化② ブルーストを読む堀辰雄(後編) (担当:高橋梓) (授業形式:講義および演習)

予習内容:堀辰雄『大和路・信濃路』を読んでおく

予習時間:120分

復習内容:動画で教員の分析を確認する

復習時間:60分

第14回は、前半で明らかにした両文化圏の共通点がなぜ起こるのか、作品分析に基づきながら理由を考察し、自文化と異文化のあいだに潜む普遍的な特性に迫ります。

第15回 第15回 まとめ～国際社会で他者と生きるために(担当:高橋梓、大喜祐太、阿部慎太郎、小島大輝) (授業形式:講義および演習)

予習内容:動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出ししておく

予習時間:120分

復習内容:動画で教員の分析を確認する

復習時間:60分

第15回では、これまでの講義内容を踏まえ、担当教員が日本に根付いた異文化の事例を挙げながら、国際社会の中で他者とともに生きるためのヒントや問題点を議論します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	国際化と異文化理解【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Internationalization and Cross Cultural Understanding				
担当者 :	西村 英希				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（B）に主体的に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に主体的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)に主体的に関与、(C)、(J)、(K)に付随的に関与				

■ 授業概要

この講義では中国・韓国・ドイツ・フランスの文化についての学びを通じ、国際社会の中で他者とともに生きるための方法を見出すことを目的とします。21世紀を生きる我々は、グローバル化の中で多様な価値観に触れています。その一方で各国のローカルな価値観に違和感を覚えたり、異文化圏との積極的な交流に不満を覚えたりする声が目につくようになりました。私たちは「国際化」と「異文化」という大きなテーマを改めて考え直す段階に来ているのではないのでしょうか。そこで本講義では中国・韓国・ドイツ・フランスを専門とする四名の教員が、各国の文化の特徴や問題を解説します。文化を「生きるための工夫」と見なし、他国の日常生活や民族間の摩擦の事例を読み解き、日本文化との共通点や差異を議論することで、国際社会を生きる我々の課題が浮き彫りになるはずで、講義を通じて国際社会を他者とともに生きるための基礎的な能力を獲得しましょう。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

この講義を受講することで、履修者は、

- ① 自分と他者、あるいは自文化と異文化を比較し、違いや共通点を見出す能力が身につく。
- ② 各回の課題やアクティビティを通じて自分の考えをしっかりとした言葉で伝えられるようになる。
- ③ 各国文化（中国・韓国・ドイツ・フランス）について基礎的な知識を得ることができる。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー4（異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること）の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート① 25%

中間レポート② 25%

期末レポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題の提出締切後に「課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

教科書は使用しません。

■ 参考文献

[ISBN]4130322028 『国際文化論』(平野 健一郎, 東京大学出版会: 2000)

[ISBN]4795402310 『国際文化学への第一歩』(静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科, すずさわ書店: 2013)

[ISBN]4469212709 『カルチュラル・スタディーズへの招待』(本橋 哲也, 大修館書店: 2002)

■関連科目

すべての外国語科目、国際化と異文化理解

■授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

研究室: EキャンパスB館7J研究室

メールアドレス: hknishimur@eco.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜 2 限、昼休み

木曜 2 限、昼休み

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 第1回 インタロダクション～文化とは何か～(担当: 高橋梓)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 文化について自分なりのイメージを持っておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第1回は文化とは何かという点について、先行研究に基づき概念を確認するとともに、本講義の全体像について概要を説明します。

第2回 第2回 国際文化学とは何か(担当: 高橋梓)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 参考文献: 平野健一郎『国際文化論』を読む

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第2回は本講義が立脚する国際文化学について説明します。国際関係を文化で見る試みを具体的にどのように進めるべきか確認しましょう。

第3回 第3回 中国の基礎知識・言語(担当: 阿部慎太郎)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 中国の人口、地域、通貨等についてインターネットやgoogle mapで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第3回目からは本講義の第一部「生きるための工夫(アジア編)」となります。

第3、4回は中国の文化について考えていきます。

第3回は、中国の基礎知識(人口、民族、言語、地域、通貨など)について紹介します。

第4回 第4回 中国の食文化(担当: 阿部慎太郎)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 中華料理について、インターネットで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第3、4回は中国の文化について考えていきます。

第4回は、中国の食文化(中華料理、円卓、習慣など)について紹介します。

第5回 第5回 韓国の基礎知識・食文化(担当: 小島大輝)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 韓国の地理、料理、食習慣について、インターネットで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第5、6回は韓国の文化について考えていきます。

第5回は、韓国の基礎知識と食文化(韓国料理、食習慣など)について紹介します。

第6回 第6回 韓国の住居文化とその周辺(担当: 小島大輝)(授業形式: 講義および演習)

予習内容：韓国の住居について、インターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第5、6回は韓国の文化について考えていきます。

第6回は、韓国の住居と暮らし、関連する周辺の文化について紹介します。

第7回 第7回 アジア編～まとめ～「小文字の文化」から国際社会を見る（担当：高橋梓、阿部慎太郎、小島大輝）（授業形式：講義および演習）

予習内容：動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出しておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第3～6回で学んだアジア文化の特徴を題材に、文化から国際社会を見ることの意義を議論します。

第8回 第8回 フランスの基礎知識・フランス語圏（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：フランスの基本情報について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第8回目からは本講義の第二部「文化と文化のあいだ（ヨーロッパ編）」となります。

第8、9回は中国の文化について考えていきます。

第8回はフランスの基礎知識と、フランス以外でフランス語を使用しているフランス語圏の実態や、フランス国内の少数言語について紹介します。

第9回 第9回 フランスの移民問題（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：フランスの移民問題について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第9回はフランスの移民の歴史、現在の状況、社会問題について説明します。

第10回 第10回 ドイツの基礎知識・ドイツ語圏（担当：大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ドイツやドイツ語が話される地域の基本情報について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第10、11回はドイツの文化について考えていきます。

第10回はドイツの基礎知識と、ドイツ以外でドイツ語を使用しているドイツ語圏の実態について、特に多言語国家スイスの言語状況を例にして紹介します。

第11回 第10回 ドイツの移民問題・ドイツ語圏（担当：大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ドイツやドイツ語が話される地域の移民問題について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第10回はドイツやドイツ語が話される地域の移民の歴史、現在の状況、社会問題について説明します。

第12回 第12回 まとめ～ヨーロッパ編～文化と文化のあいだ～（担当：高橋梓、大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出しておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第8～11回で学んだヨーロッパ文化の特徴を題材に、主に文化触変論に基づき考察します。

第13回 第13回 自文化と異文化① プルーストを読む堀辰雄（前篇）（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：堀辰雄とプルーストについて書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第13回目からは本講義の第三部「文化の接触と変容」となります。

第13回、14回は文学作品を題材として、文化を生きる個人の精神に目を向けます。

第13回は堀辰雄とマルセル・ブルーストが宗教芸術を見る視点に文化の差異を超えた共通点が潜むことを明らかにします。

第14回 第14回 自文化と異文化② ブルーストを読む堀辰雄(後編) (担当:高橋梓) (授業形式:講義および演習)

予習内容:堀辰雄『大和路・信濃路』を読んでおく

予習時間:120分

復習内容:動画で教員の分析を確認する

復習時間:60分

第14回は、前半で明らかにした両文化圏の共通点がなぜ起こるのか、作品分析に基づきながら理由を考察し、自文化と異文化のあいだに潜む普遍的な特性に迫ります。

第15回 第15回 まとめ～国際社会で他者と生きるために(担当:高橋梓、大喜祐太、阿部慎太郎、小島大輝) (授業形式:講義および演習)

予習内容:動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出ししておく

予習時間:120分

復習内容:動画で教員の分析を確認する

復習時間:60分

第15回では、これまでの講義内容を踏まえ、担当教員が日本に根付いた異文化の事例を挙げながら、国際社会の中で他者とともに生きるためのヒントや問題点を議論します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	保本 正芳				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

■ ディプロマポリシーとの関連

本科目の修得は、本学が定めるディプロマ・ポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

- KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%
- KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
- 練習課題+演習課題（第10回～第15回） 40%
- グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

- 第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
- 第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
- グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

- 教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

- [ISBN]9784065379394 『教養としてのデータサイエンス 改訂第2版 (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2024)

■ 関連科目

- 各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

- 学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

- nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

- 別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル

- ・ AI最新技術の活用例
- ・ 人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・ 人工知能、データ科学の社会的課題
- ・ データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ 2進数, 16進数
- ・ 数値, 文字, 画像, 音声
- ・ 1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・ 構造化データ, 非構造化データ
- ・ 非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・ オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・ データサイエンスのサイクル
- ・ 個人の不健全な状況の回避：ネット依存症、ゲーム中毒、テクノストレス等
- ・ 被害者・加害者にならないための知識、なったときの対応、誹謗中傷・炎上、ネットいじめ
- ・ 適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差、アクセシビリティ
- ・ プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報の信頼性の判断、デマ・流言、メディアリテラシー
- ・ 社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・ データ・AI活用における負の事例紹介
- ・ データ倫理：データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護
- ・ AI社会原則 (公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)
- ・ データバイアス、アルゴリズムバイアス
- ・ AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 知的財産権：著作権と産業財産権、著作権、創作とライセンス表示、国際化 (ベルヌ条約)
- ・ 肖像権・パブリシティ権
- ・ 個人情報保護：個人情報 (個人識別符号の説明を含む)、匿名加工情報、自己情報コントロール権、OECD プライバシーガイドライン、EU 法 (保護規則) と忘れられる権利、オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・ 情報セキュリティ：機密性、完全性、可用性
- ・ 匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取
- ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し、未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布（ヒストグラム）
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	暮らしのなかの起業入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introductory Course on Entrepreneurship				
担当者 :	玉井 由樹				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :		開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（B）に付随的に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)に主体的に関与				

■ 授業概要

インターネットが普及したことにより、私たちの生活は利便性が一層高まり、豊かさを実感できるものとなっています。大学教育のなかにメディア授業が取り入れられたことは、学生の皆さんの自由度を高めているのではないのでしょうか。インターネットは、「時間」と「場所」の制約を取り除いてくれるため、自由な時間を有効に活用することができる時代になっているのです。また、特技や専門的知識を持った多くの方と繋がることもインターネットはいとも容易に実現してくれます。そのため、アイデア、経験や趣味を活かして起業に取り組む方も増えています。

本授業は、「起業」を特別なものとして取り扱うのではなく、誰もがチャレンジできるものとして位置付け、その基本的な事項を学修することを目的とします。企業に勤務することになった場合でも、常に新しい製品・サービスを創造することが求められる今、起業の仕組みや留意点について理解しておくことは、新事業創出の任務を担う際に有効となります。その意味で、起業は今後の生活を豊かなものとするための選択の幅を広げてくれるのです。授業では、起業についての知識とともに、事業活動を通して自らの夢を実現している起業家の実践例を通して、受講者が自身のキャリアについても検討することを期待しています。

【受講に当たっての留意点】

15回すべての受講を終えなかった場合、レポートを提出しても単位は付与しません。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

受講者は、この授業を履修することによって、

- 1) 起業や新事業創出の意味と必要性
- 2) 起業や新事業創出を実現するために求められる基本的な事項
- 3) 起業家の実践例とキャリア

について学び、起業と社会・経済とのかかわりについて理解できるようになります。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー1（大学での種々の学びを通じて、「人に愛され、信頼され、尊敬される」人格へと自らを成長させ続ける自己教育力を培っていること）の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

学生間ディスカッション 20%

レポート 80%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

各回資料を配布します。

■参考文献

- [ISBN]9784502178412 『アントレプレナーシップ教科書』(松重 和美, 中央経済社 : 2016)
[ISBN]9784822259754 『起業の科学 スタートアップサイエンス』(田所 雅之, 日経BP : 2017)
[ISBN]9784478109502 『起業大全 スタートアップを科学する9つのフレームワーク』(田所 雅之, ダイヤモンド社 : 2020)
[ISBN]9784830949708 『はじめて学ぶ人のための経営学入門 [バージョン 2] (文真堂ブックス)』(信之, 片岡, 文真堂 : 2018)
[ISBN]9784502394713 『新しいビジネスをつくる』(加護野 忠男, 碩学舎 : 2021)
[ISBN]9784798167381 『ビジネスモデル・キャンパス徹底攻略ガイド 企業、チーム、個人を成功に導く「ビジネスモデル設計書」』(今津 美樹, 翔泳社 : 2020)
上記のほか必要に応じて紹介します。

■関連科目

現代社会と倫理、現代社会と法、ビジネス実務講座、国際化と異文化理解、情報処理基礎、データリテラシー入門、キャリアデザイン

■授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

東大阪キャンパス 2 1 号館・y-tamai<at> bus.kindai.ac.jp、送信時には<at>を@に変換してください。

■オフィスアワー

木曜日4時限(質問がある場合は、メールを通じて受け付けます)

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 授業総論(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 起業の意味や必要性について調べる。

予習時間: 90分

復習内容: 大学における起業家教育の目的についてまとめる。

復習時間: 90分

【講師: 経営学部教授 文能 照之】

- ・授業内容と学修方法

【外部講師: 株式会社パースバクティブ・メディア 代表取締役 小口 日出彦氏】

- ・起業とは
- ・起業というライフスタイル

第2回 起業家マインドの重要性(授業形式: 講義および演習)

予習内容: アントレプレナーシップについて調べる。

予習時間: 90分

復習内容: イノベーションの事例についてまとめる。

復習時間: 90分

【外部講師: 株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・アントレプレナーシップ(起業家精神)とは
- ・イノベーションとは
- ・起業とイノベーション

第3回 企業の役割と経営指針(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 企業の役割について調べる。

予習時間: 90分

復習内容: 企業のミッション・ビジョン・バリューについてまとめる。

復習時間: 90分

【外部講師: 株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・企業の社会的役割
- ・企業の社会的責任
- ・ミッション、ビジョン、バリューとは

第4回 経営に必要とされる資源(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 経営に必要とされる、ヒト・モノ・カネについて調べる。

予習時間: 90分

復習内容：経営を続けるために経営資源の活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・経営の基本とは
- ・経営資源とは

第5回 アイデアをビジネスに変える（授業形式：講義および演習）

予習内容：アイデアの出し方について調べる。

予習時間：90分

復習内容：効果的なアイデアの発想法やアイデアの膨らませ方、収束の仕方についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・ビジネスを生み出すために
- ・ビジネスアイデアの発想法
- ・オズボーンのチェックリストを活用した事例

第6回 チーム作りと評価（授業形式：講義および演習）

予習内容：経営にチーム作りが必要な理由、及びチーム作りの方法について調べる。

予習時間：90分

復習内容：メンバーの有する能力を生かすためのチーム作りの方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・サイドプロジェクトではじめる
- ・スタートアップに必要な人材
- ・解決したい課題について

第7回 事業構想（前半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事業アイデアを形にするための方法について調べる。

予習時間：90分

復習内容：ビジネスモデル・キャンパスの活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・事業アイデアを形にするビジネスモデル・キャンパスとは
- ・ビジネスモデル・キャンパスの要素を理解する【お客様にかかわる収入】

第8回 事業構想（後半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事例企業のビジネスモデルについて調べ、ビジネスモデル・キャンパスを作成する。

予習時間：90分

復習内容：授業で提示されたビジネスモデル・キャンパスをもとに、その活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・ビジネスモデル・キャンパスの要素を理解する。【活動とコスト】
- ・事例企業を参考にしてビジネスモデル・キャンパスを作成する

第9回 事業の実現①（内製）（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業内部において必要となるコミュニケーションについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：コミュニケーションを高めるための方策についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：グッドニュース情報発信塾 塾長 大谷 邦郎氏】

- ・賛同を得て、応援してもらうためのコミュニケーション
- ・事業協力者に向けたプレゼンテーション

第10回 事業の実現②（外注）（授業形式：講義および演習）

予習内容：外部企業等との関係において必要となるコミュニケーションについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：コミュニケーションを高めるための方策についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社パーシヴァル ファウンダー 川辺 友之氏】

- ・外部資源の有効活用
- ・クラウドファンディングの活用

第11回 近畿大学卒起業家体験談①（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：180株式会社 代表取締役 上仲 昌吾氏】

個性（DNA）を磨く

- ・個性を理解する
- ・個性のを見つけ方
- ・個性をデザインする

第12回 近畿大学卒起業家体験談②（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社音動 代表取締役 鳥山 郷氏】

起業というエゴイズムから社会との共創まで

- ・起業する機会と環境
- ・起業する機会と環境
- ・多様性とこれから

第13回 近畿大学卒起業家体験談③（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：事業承継の動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：錦城護謨株式会社 代表取締役社長 太田 泰造氏】

経営現場のリアル（価値創造）

- ・錦城護謨の事業内容ご紹介
- ・老舗企業が取り組む新規事業
- ・企業にとって一番大事なもの

第14回 近畿大学卒起業家体験談④（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：リノベる株式会社 代表取締役社長 山下 智弘氏、株式会社 Schoo 代表取締役社長CEO 森 健志郎氏】

- ・リノベる株式会社・・・「リノベる」の起業まで
- ・株式会社Schoo・・・起業のきっかけ・起業からこれまで
- ・起業家対談

第15回 授業総括（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの学修内容について復習する。

予習時間：90分

復習内容：社会・経済における起業の意味、必要性についてまとめる。

復習時間：90分

【講師：経営学部教授 文能 照之】

- ・起業に必要とされるマインドと基礎知識
- ・起業の目的とライフプラン
- ・起業の実現に向けて

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて行う授業

科目名 :	暮らしのなかの起業入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introductory Course on Entrepreneurship				
担当者 :	玉井 由樹				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（B）に付随的に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)に主体的に関与				

■ 授業概要

インターネットが普及したことにより、私たちの生活は利便性が一層高まり、豊かさを実感できるものとなっています。大学教育のなかにメディア授業が取り入れられたことは、学生の皆さんの自由度を高めているのではないのでしょうか。インターネットは、「時間」と「場所」の制約を取り除いてくれるため、自由な時間を有効に活用することができる時代になっているのです。また、特技や専門的知識を持った多くの方と繋がることもインターネットはいとも容易に実現してくれます。そのため、アイデア、経験や趣味を活かして起業に取り組む方も増えています。

本授業は、「起業」を特別なものとして取り扱うのではなく、誰もがチャレンジできるものとして位置付け、その基本的な事項を学修することを目的とします。企業に勤務することになった場合でも、常に新しい製品・サービスを創造することが求められる今、起業の仕組みや留意点について理解しておくことは、新事業創出の任務を担う際に有効となります。その意味で、起業は今後の生活を豊かなものとするための選択の幅を広げてくれるのです。授業では、起業についての知識とともに、事業活動を通して自らの夢を実現している起業家の実践例を通して、受講者が自身のキャリアについても検討することを期待しています。

【受講に当たっての留意点】

15回すべての受講を終えなかった場合、レポートを提出しても単位は付与しません。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

受講者は、この授業を履修することによって、

- 1) 起業や新事業創出の意味と必要性
- 2) 起業や新事業創出を実現するために求められる基本的な事項
- 3) 起業家の実践例とキャリア

について学び、起業と社会・経済とのかかわりについて理解できるようになります。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー1（大学での種々の学びを通じて、「人に愛され、信頼され、尊敬される」人格へと自らを成長させ続ける自己教育力を培っていること）の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

学生間ディスカッション 20%

レポート 80%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

各回資料を配布します。

■参考文献

- [ISBN]9784502178412 『アントレプレナーシップ教科書』(松重 和美, 中央経済社 : 2016)
[ISBN]9784822259754 『起業の科学 スタートアップサイエンス』(田所 雅之, 日経BP : 2017)
[ISBN]9784478109502 『起業大全 スタートアップを科学する9つのフレームワーク』(田所 雅之, ダイヤモンド社 : 2020)
[ISBN]9784830949708 『はじめて学ぶ人のための経営学入門 [バージョン 2] (文真堂ブックス)』(信之, 片岡, 文真堂 : 2018)
[ISBN]9784502394713 『新しいビジネスをつくる』(加護野 忠男, 碩学舎 : 2021)
[ISBN]9784798167381 『ビジネスモデル・キャンパス徹底攻略ガイド 企業、チーム、個人を成功に導く「ビジネスモデル設計書」』(今津 美樹, 翔泳社 : 2020)
上記のほか必要に応じて紹介します。

■関連科目

現代社会と倫理、現代社会と法、ビジネス実務講座、国際化と異文化理解、情報処理基礎、データリテラシー入門、キャリアデザイン

■授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

東大阪キャンパス 2 1 号館・y-tamai<at> bus.kindai.ac.jp、送信時には<at>を@に変換してください。

■オフィスアワー

木曜日4時限(質問がある場合は、メールを通じて受け付けます)

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 授業総論(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 起業の意味や必要性について調べる。

予習時間: 90分

復習内容: 大学における起業家教育の目的についてまとめる。

復習時間: 90分

【講師: 経営学部教授 文能 照之】

- ・授業内容と学修方法

【外部講師: 株式会社パースベクティブ・メディア 代表取締役 小口 日出彦氏】

- ・起業とは
- ・起業というライフスタイル

第2回 起業家マインドの重要性(授業形式: 講義および演習)

予習内容: アントレプレナーシップについて調べる。

予習時間: 90分

復習内容: イノベーションの事例についてまとめる。

復習時間: 90分

【外部講師: 株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・アントレプレナーシップ(起業家精神)とは
- ・イノベーションとは
- ・起業とイノベーション

第3回 企業の役割と経営指針(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 企業の役割について調べる。

予習時間: 90分

復習内容: 企業のミッション・ビジョン・バリューについてまとめる。

復習時間: 90分

【外部講師: 株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・企業の社会的役割
- ・企業の社会的責任
- ・ミッション、ビジョン、バリューとは

第4回 経営に必要とされる資源(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 経営に必要とされる、ヒト・モノ・カネについて調べる。

予習時間: 90分

復習内容：経営を続けるために経営資源の活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・経営の基本とは
- ・経営資源とは

第5回 アイデアをビジネスに変える（授業形式：講義および演習）

予習内容：アイデアの出し方について調べる。

予習時間：90分

復習内容：効果的なアイデアの発想法やアイデアの膨らませ方、収束の仕方についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・ビジネスを生み出すために
- ・ビジネスアイデアの発想法
- ・オズボーンのチェックリストを活用した事例

第6回 チーム作りと評価（授業形式：講義および演習）

予習内容：経営にチーム作りが必要な理由、及びチーム作りの方法について調べる。

予習時間：90分

復習内容：メンバーの有する能力を生かすためのチーム作りの方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・サイドプロジェクトではじめる
- ・スタートアップに必要な人材
- ・解決したい課題について

第7回 事業構想（前半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事業アイデアを形にするための方法について調べる。

予習時間：90分

復習内容：ビジネスモデル・キャンパスの活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・事業アイデアを形にするビジネスモデル・キャンパスとは
- ・ビジネスモデル・キャンパスの要素を理解する【お客様にかかわる収入】

第8回 事業構想（後半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事例企業のビジネスモデルについて調べ、ビジネスモデル・キャンパスを作成する。

予習時間：90分

復習内容：授業で提示されたビジネスモデル・キャンパスをもとに、その活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・ビジネスモデル・キャンパスの要素を理解する。【活動とコスト】
- ・事例企業を参考にしてビジネスモデル・キャンパスを作成する

第9回 事業の実現①（内製）（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業内部において必要となるコミュニケーションについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：コミュニケーションを高めるための方策についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：グッドニュース情報発信塾 塾長 大谷 邦郎氏】

- ・賛同を得て、応援してもらうためのコミュニケーション
- ・事業協力者に向けたプレゼンテーション

第10回 事業の実現②（外注）（授業形式：講義および演習）

予習内容：外部企業等との関係において必要となるコミュニケーションについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：コミュニケーションを高めるための方策についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社パーシヴァル ファウンダー 川辺 友之氏】

- ・外部資源の有効活用
- ・クラウドファンディングの活用

第11回 近畿大学卒起業家体験談①（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：180株式会社 代表取締役 上仲 昌吾氏】

個性（DNA）を磨く

- ・個性を理解する
- ・個性のを見つけ方
- ・個性をデザインする

第12回 近畿大学卒起業家体験談②（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社音動 代表取締役 鳥山 郷氏】

起業というエゴイズムから社会との共創まで

- ・起業する機会と環境
- ・起業する機会と環境
- ・多様性とこれから

第13回 近畿大学卒起業家体験談③（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：事業承継の動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：錦城護謨株式会社 代表取締役社長 太田 泰造氏】

経営現場のリアル（価値創造）

- ・錦城護謨の事業内容ご紹介
- ・老舗企業が取り組む新規事業
- ・企業にとって一番大事なもの

第14回 近畿大学卒起業家体験談④（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：リノベる株式会社 代表取締役社長 山下 智弘氏、株式会社 Schoo 代表取締役社長CEO 森 健志郎氏】

- ・リノベる株式会社・・・「リノベる」の起業まで
- ・株式会社Schoo・・・起業のきっかけ・起業からこれまで
- ・起業家対談

第15回 授業総括（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの学修内容について復習する。

予習時間：90分

復習内容：社会・経済における起業の意味、必要性についてまとめる。

復習時間：90分

【講師：経営学部教授 文能 照之】

- ・起業に必要とされるマインドと基礎知識
- ・起業の目的とライフプラン
- ・起業の実現に向けて

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて行う授業

科目名 :	暮らしのなかの起業入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introductory Course on Entrepreneurship				
担当者 :	芝先 恵介				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :		開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（B）に付随的に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)に主体的に関与				

■ 授業概要

インターネットが普及したことにより、私たちの生活は利便性が一層高まり、豊かさを実感できるものとなっています。大学教育のなかにメディア授業が取り入れられたことは、学生の皆さんの自由度を高めているのではないのでしょうか。インターネットは、「時間」と「場所」の制約を取り除いてくれるため、自由な時間を有効に活用することができる時代になっているのです。また、特技や専門的知識を持った多くの方と繋がることもインターネットはいとも容易に実現してくれます。そのため、アイデア、経験や趣味を活かして起業に取り組む方も増えています。

本授業は、「起業」を特別なものとして取り扱うのではなく、誰もがチャレンジできるものとして位置付け、その基本的な事項を学修することを目的とします。企業に勤務することになった場合でも、常に新しい製品・サービスを創造することが求められる今、起業の仕組みや留意点について理解しておくことは、新事業創出の任務を担う際に有効となります。その意味で、起業は今後の生活を豊かなものとするための選択の幅を広げてくれるのです。授業では、起業についての知識とともに、事業活動を通して自らの夢を実現している起業家の実践例を通して、受講者が自身のキャリアについても検討することを期待しています。

【受講に当たっての留意点】

15回すべての受講を終えなかった場合、レポートを提出しても単位は付与しません。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの要素

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学修到達目標

受講者は、この授業を履修することによって、

- 1) 起業や新事業創出の意味と必要性
- 2) 起業や新事業創出を実現するために求められる基本的な事項
- 3) 起業家の実践例とキャリア

について学び、起業と社会・経済とのかかわりについて理解できるようになります。

■ ディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー1（大学での種々の学びを通じて、「人に愛され、信頼され、尊敬される」人格へと自らを成長させ続ける自己教育力を培っていること）の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

学生間ディスカッション 20%

レポート 80%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後にGoogleClassroomに各人に対するコメントを掲載します。

■ 教科書

各回資料を配布します。

■参考文献

- [ISBN]9784502178412 『アントレプレナーシップ教科書』(松重 和美, 中央経済社 : 2016)
[ISBN]9784822259754 『起業の科学 スタートアップサイエンス』(田所 雅之, 日経BP : 2017)
[ISBN]9784478109502 『起業大全 スタートアップを科学する9つのフレームワーク』(田所 雅之, ダイヤモンド社 : 2020)
[ISBN]9784830949708 『はじめて学ぶ人のための経営学入門 [バージョン 2] (文真堂ブックス)』(信之, 片岡, 文真堂 : 2018)
[ISBN]9784502394713 『新しいビジネスをつくる』(加護野 忠男, 碩学舎 : 2021)
[ISBN]9784798167381 『ビジネスモデル・キャンパス徹底攻略ガイド 企業、チーム、個人を成功に導く「ビジネスモデル設計書」』(今津 美樹, 翔泳社 : 2020)
上記のほか必要に応じて紹介します。

■関連科目

現代社会と倫理、現代社会と法、ビジネス実務講座、国際化と異文化理解、情報処理基礎、データリテラシー入門、キャリアデザイン

■授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

240068@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

質問がある場合は、Google Classroomで受け付けます

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 授業総論（授業形式：講義および演習）

予習内容：起業の意味や必要性について調べる。

予習時間：90分

復習内容：大学における起業家教育の目的についてまとめる。

復習時間：90分

【講師：経営学部教授 文能 照之】

- ・授業内容と学修方法

【外部講師：株式会社パースベクティブ・メディア 代表取締役 小口 日出彦氏】

- ・起業とは
- ・起業というライフスタイル

第2回 起業家マインドの重要性（授業形式：講義および演習）

予習内容：アントレプレナーシップについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：イノベーションの事例についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・アントレプレナーシップ（起業家精神）とは
- ・イノベーションとは
- ・起業とイノベーション

第3回 企業の役割と経営指針（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の役割について調べる。

予習時間：90分

復習内容：企業のミッション・ビジョン・バリューについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・企業の社会的役割
- ・企業の社会的責任
- ・ミッション、ビジョン、バリューとは

第4回 経営に必要とされる資源（授業形式：講義および演習）

予習内容：経営に必要とされる、ヒト・モノ・カネについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：経営を続けるために経営資源の活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・経営の基本とは
- ・経営資源とは

第5回 アイデアをビジネスに変える（授業形式：講義および演習）

予習内容：アイデアの出し方について調べる。

予習時間：90分

復習内容：効果的なアイデアの発想法やアイデアの膨らませ方、収束の仕方についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・ビジネスを生み出すために
- ・ビジネスアイデアの発想法
- ・オズボーンのチェックリストを活用した事例

第6回 チーム作りと評価（授業形式：講義および演習）

予習内容：経営にチーム作りが必要な理由、及びチーム作りの方法について調べる。

予習時間：90分

復習内容：メンバーの有する能力を生かすためのチーム作りの方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・サイドプロジェクトではじめる
- ・スタートアップに必要な人材
- ・解決したい課題について

第7回 事業構想（前半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事業アイデアを形にするための方法について調べる。

予習時間：90分

復習内容：ビジネスモデル・キャンパスの活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・事業アイデアを形にするビジネスモデル・キャンパスとは
- ・ビジネスモデル・キャンパスの要素を理解する【お客様にかかわる収入】

第8回 事業構想（後半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事例企業のビジネスモデルについて調べ、ビジネスモデル・キャンパスを作成する。

予習時間：90分

復習内容：授業で提示されたビジネスモデル・キャンパスをもとに、その活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・ビジネスモデル・キャンパスの要素を理解する。【活動とコスト】
- ・事例企業を参考にしてビジネスモデル・キャンパスを作成する

第9回 事業の実現①（内製）（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業内部において必要となるコミュニケーションについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：コミュニケーションを高めるための方策についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：グッドニュース情報発信塾 塾長 大谷 邦郎氏】

- ・賛同を得て、応援してもらうためのコミュニケーション
- ・事業協力者に向けたプレゼンテーション

第10回 事業の実現②（外注）（授業形式：講義および演習）

予習内容：外部企業等との関係において必要となるコミュニケーションについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：コミュニケーションを高めるための方策についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社パーシヴァル ファウンダー 川辺 友之氏】

- ・外部資源の有効活用
- ・クラウドファンディングの活用

第11回 近畿大学卒起業家体験談①（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：180株式会社 代表取締役 上仲 昌吾氏】

個性（DNA）を磨く

- ・個性を理解する
- ・個性のを見つけ方
- ・個性をデザインする

第12回 近畿大学卒起業家体験談②（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社音動 代表取締役 鳥山 郷氏】

起業というエゴイズムから社会との共創まで

- ・起業する機会と環境
- ・起業する機会と環境
- ・多様性とこれから

第13回 近畿大学卒起業家体験談③（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：事業承継の動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：錦城護謨株式会社 代表取締役社長 太田 泰造氏】

経営現場のリアル（価値創造）

- ・錦城護謨の事業内容ご紹介
- ・老舗企業が取り組む新規事業
- ・企業にとって一番大事なもの

第14回 近畿大学卒起業家体験談④（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：リノベる株式会社 代表取締役社長 山下 智弘氏、株式会社 Schoo 代表取締役社長CEO 森 健志郎氏】

- ・リノベる株式会社・・・「リノベる」の起業まで
- ・株式会社Schoo・・・起業のきっかけ・起業からこれまで
- ・起業家対談

第15回 授業総括（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの学修内容について復習する。

予習時間：90分

復習内容：社会・経済における起業の意味、必要性についてまとめる。

復習時間：90分

【講師：経営学部教授 文能 照之】

- ・起業に必要とされるマインドと基礎知識
- ・起業の目的とライフプラン
- ・起業の実現に向けて

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて行う授業